

PLEX/TALK

PLEX/TALK Producer

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の取り扱いかたと重要な注意事項を示しています。

この取扱説明書をお読みの上、本製品をお使いください。

目次

目次	2
はじめに	10
安全にお使いいただくために	10
警告および注意事項について	10
同梱品	11
動作環境	11
本取扱説明書に関するご注意	12
ソフトウェア使用許諾契約書	12
1章 本ソフトウェアの特長と用語解説	15
1章 1 PLEXTALKProducer の特長	15
1章 2 簡単取り込みオプション（別売）の特長	16
1章 3 DAISY について	16
1章 4 EPUB について	17
1章 5 その他用語説明	18
2章 セットアップ	22
2章 1 関連するソフトウェアをインストールする	22
2.1.1 .NET Framework 4.6 をインストールする	22
2.1.2 SQL Server 2019 Express をインストールする	24
2.1.3 Java をインストールする	25
2.1.4 Microsoft Visual C++ランタイムをインストールする	25
2章 2 PLEXTALKProducer をインストールする	26
2章 3 PLEXTALKProducer をアンインストールする	28
2章 4 ライセンスを認証する	29
2章 5 ライセンス認証を解除する	31
3章 図書の製作について	33
3章 1 プロジェクトについて	33
3章 2 図書製作の流れについて	33
4章 起動と終了	36
4章 1 起動する	36
4章 2 終了する	37
4章 3 各部名称と働きについて	38

4.3.1	メイン画面について	38
4.3.2	ファイルタブについて	39
4.3.3	ホームタブについて	39
4.3.4	再生・録音タブについて	40
4.3.5	設定タブについて	40
5章	プロジェクト	41
5章 1	新規にプロジェクトを作成する	41
5.1.1	空のプロジェクトを作成する	41
5.1.2	既存の DAISY 図書からプロジェクトを作成する	42
5章 2	過去に作成したプロジェクトを開く	44
5.2.1	プロジェクトを開く	44
5.2.2	プロジェクトを変更する	44
5.2.3	プロジェクトを削除する	45
6章	インポート、エクスポート	46
6章 1	編集したプロジェクトを取り込む	46
6章 2	編集中のプロジェクトを取り出す	48
7章	バックアップ	50
7章 1	プロジェクトを複製する	50
7章 2	プロジェクトを復旧する	50
7章 3	複製したプロジェクトを削除する	52
8章	テキストの取り込み	53
8章 1	テキストを取り込む（テキストファイルから取り込む）	53
8章 2	テキストを取り込む（クリップボードを利用する）	56
8章 3	他のファイルから取り込む（オプション）	57
9章	編集	58
9章 1	セクション	58
9.1.1	セクションを結合する	58
9.1.2	セクションを分割する	59
9.1.3	セクションを作成する	60
9.1.4	セクションを削除する	61
9.1.5	セクションを移動する	61
9.1.6	セクションのレベルを変更する	62
9章 2	フレーズ	63

9.2.1 フレーズを結合する	63
9.2.2 フレーズを分割する	63
9.2.3 フレーズを作成する	64
9.2.4 フレーズを削除する	65
9.2.5 フレーズを移動する	66
9.2.6 フレーズの再生順序を変更する	67
9.2.7 フレーズの長さを再設定する	68
9章 3 テキスト編集	68
9.3.1 文字を入力する	68
9.3.2 文字を削除する	69
9.3.3 文字をコピー／切り取り／貼り付けする（選択フレーズの前）	69
9.3.4 文字をコピー／切り取り／貼り付けする（カーソル位置）	70
9.3.5 改行を挿入する	71
9.3.6 段落を設定する	71
9章 4 テキスト検索	71
9章 5 フォント	72
9.5.1 ルビを設定する	72
9.5.2 ルビを修正する	73
9.5.3 熟語ルビを設定する	73
9.5.4 ルビを削除する	74
9.5.5 すべての漢字にルビを設定する	74
9.5.6 すべてのルビを削除する	75
9.5.7 ルビ種別を切り替える	76
9.5.8 ルビを置換する	76
9.5.9 スタイルを設定／解除する	77
9.5.10 スタイルをすべて解除する	78
9章 6 図表	79
9.6.1 画像を挿入する（既存の画像ファイルを取り込む）	79
9.6.2 画像を挿入する（クリップボードを利用する）	81
9.6.3 画像の書式を変更する	82
9.6.4 画像をコピー／切り取り／貼り付けする	83
9.6.5 画像を編集する	83
9.6.6 画像を削除する	84

9.6.7 画像からの文字化（オプション）	85
9.6.8 表を挿入する（選択したフレーズから表を作成する）	85
9.6.9 表を挿入する（クリップボードを利用する）	87
9.6.10 表の書式を変更する	87
9.6.11 表をコピー／切り取り／貼り付けする.....	88
9.6.12 表を削除する	88
9.6.13 枠を挿入する（選択したフレーズから枠を挿入する）	90
9.6.14 枠を挿入する（クリップボードを利用する）	90
9.6.15 枠の書式を変更する	90
9.6.16 枠をコピー／切り取り／貼り付けする.....	91
9.6.17 枠を削除する	92
9.6.18 区切り線を挿入する	92
9.6.19 区切り線を削除する	92
9章 7 飛ばし読み（ページなど）	93
9.7.1 飛ばし読みを設定する	93
9.7.2 飛ばし読みを解除する	94
9章 8 グループ.....	94
9.8.1 グループを設定する	94
9.8.2 グループを解除する	95
9章 9 マーク.....	95
9.9.1 マークを設定する	95
9.9.2 マークを削除する	95
9.9.3 マークに移動する	96
9章 10 縦書き・横書き	96
9章 11 段落.....	97
9.11.1 箇条書きを設定／解除する.....	97
9.11.2 段組を設定／解除する.....	98
9.11.3 文字揃えを設定／解除する.....	99
9.11.4 字下げを設定／解除する.....	100
9.11.5 縦中横を設定／解除する.....	100
9章 12 編集を元に戻す／やり直す	101
10章 再生.....	102
10章 1 フレーズ再生	102

10.1.1 フレーズを再生する	102
10.1.2 フレーズを連続で再生する	102
10.1.3 再生を停止する	103
10.1.4 再生音量や速度を変更する	103
10章 2 読み修正	103
10.2.1 音声合成の読み辞書を設定する	104
10.2.2 フレーズに発音を設定する	105
10.2.3 設定した発音を削除する	111
11章 録音	112
11章 1 指定位置から録音をする	112
11.1.1 録音の準備をする	112
11.1.2 録音を開始する	112
11章 2 範囲を指定して録音をする	114
11章 3 同期位置を手動で修正する	115
11章 4 波形の編集をする	116
11.4.1 波形をコピー／切り取り／貼り付けをする	116
11.4.2 波形を削除する	118
11章 5 範囲を選択して同期位置を再設定する	118
11章 6 他の音声を取り込む	119
11章 7 再生しながら同期位置を再設定する	121
12章 クリーンアップ	123
13章 書誌情報	125
14章 ビルドブック	127
14章 1 DAISY2.02 形式で出力する	128
14章 2 DAISY3 形式で出力する	130
14章 3 EPUB3 形式で出力する	131
15章 CD 書き込み	132
16章 各種設定	134
16章 1 機能設定	134
16.1.1 見出しを自動で反映する	134
16.1.2 選択したフレーズを自動で再生する	134
16.1.3 貼り付けの設定をする	134
16.1.4 音声合成の設定をする	135

16.1.5 録音の設定をする	138
16.1.6 作業領域の設定をする.....	139
16章 2 表示設定	140
16.2.1 各種別の枠色を設定する.....	140
16章 3 画面設定	141
16.3.1 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする.....	141
17章 PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェア	143
17章 1 起動と終了	143
17.1.1 起動する.....	143
17.1.2 PLEXTALKProducer から起動する	143
17.1.3 終了する.....	144
17章 2 各部名称と働きについて	145
17.2.1 メイン画面について	145
17.2.2 ファイルタブについて.....	146
17.2.3 ホームタブについて	146
17.2.4 設定タブについて	146
17章 3 再生.....	147
17.3.1 図書を開く	147
17.3.2 再生する／停止する	147
17.3.3 再生音量や速度を変更する.....	148
17.3.4 再生位置を移動する	148
17.3.5 書誌情報を確認する	148
17章 4 各種設定	149
17.4.1 音声合成を変更する	149
17.4.2 音声合成の読み辞書を設定する	150
17.4.3 飛ばし読みの設定をする.....	151
17.4.4 テキストのスタイルを設定する	152
17.4.5 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする.....	152
18章 ユーザー辞書ツール.....	153
18章 1 起動する	153
18章 2 各部名称と働きについて	154
18章 3 新規に辞書を作成する.....	154
18章 4 辞書を開く	155

18章 5 辞書を編集する	156
18.5.1 単語を追加する	156
18.5.2 単語を修正する	158
18.5.3 単語を削除する	159
18章 6 辞書を保存する	159
18章 7 辞書のインポート、エクスポート.....	160
18.7.1 他の辞書を取り込む	160
18.7.2 辞書を取り出す	160
19章 簡単取り込みオプション	161
19章 1 概要.....	161
19章 2 セットアップ	161
19.2.1 ライセンスを認証する.....	161
19.2.2 ライセンス認証を解除する.....	162
19章 3 レイアウトツール.....	164
19.3.1 起動と終了.....	164
19.3.2 各部名称と働きについて.....	164
19.3.3 ファイルを開く	166
19.3.4 表示を拡大・縮小する.....	169
19.3.5 ページを移動する	169
19.3.6 表示を回転する	170
19.3.7 画面を切り替える	171
19.3.8 枠を設定.....	171
19.3.9 枠を編集する	173
19.3.10 取り込むテキストを確認する	178
19.3.11 取り込む.....	179
19.3.12 各種設定.....	185
19章 4 文字化ツール	187
20章 付録.....	191
20章 1 DAISY 出力対応機能一覧	191
20章 2 ショートカットキー一覧	192
20.2.1 PLEXTALKProducer ショートカットキー一覧.....	192
20.2.2 再生確認用ソフトウェアショートカットキー一覧	196
20.2.3 簡単取り込みオプションショートカットキー一覧	197

20章3 各音質のCD1枚に記録できる時間の目安と主な用途	198
20章4 インポート可能な音声フォーマット一覧	198
20章5 ユーザー辞書ツールCSVファイル形式	199
20章6 レイアウトツールで取り込み可能なフォーマット一覧	200
20章7 サードパーティー製ソフトウェアについて	201
21章 お問い合わせ先	206

はじめに

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は、必ず必要事項をお守りください。

警告および注意事項について

⚠️ 注意

 厳守	本ソフトウェアを使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが示している警告、注意表示を厳守してください。
 注意	本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。必要なファイルは必ずバックアップをお取りいただいた後に本ソフトウェアをご利用ください。 また本ソフトウェアを使用して作成したデータの破損・消失についても弊社は一切の責任を負いません。
 注意	パソコンに接続されたマイク、録音環境によっては稀にノイズが発生することがあります。そのような場合は、それらの機器の販売メーカーにお問い合わせください。
 厳守	ディスクのお手入れは乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。 洗剤を使用したり、シンナー・アルコールなどで拭いたりしないでください。ディスクの表面を痛めてしまいます。
 注意	ディスクを保管する際は、付属のケースに入れて保管してください。ディスクの変形を防止し、記録面やレーベル面の傷や埃から守ることができます。また直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所を避けて保管してください。

同梱品

本ソフトウェアの同梱品は以下のとおりです。

- PLEXTALKProducer
 - 1) PLEXTALKProducer インストール DVD
 - 2) シリアル No.のご案内 (ライセンス証明書)
 - 3) インストールガイド
- 簡単取り込みオプション (別売)
 - 1) シリアル No.のご案内 (ライセンス証明書)

<注意>

- 「シリアル No.のご案内」に記載の「シリアル No.」は、インストールの際に必ず必要になりますので、大切に保管してください。
- 「シリアル No.のご案内」は、お客様が正規にライセンスを購入されたことを証明します。再発行致しかねますので、紛失には十分お気を付けください。
- 簡単 DAISY 作り方ガイドは弊社ホームページにてダウンロードしてご利用ください。

www.plextalk.com/jp/education/products/producer/download

動作環境

本ソフトウェアは以下の動作環境で動作します。推奨環境以外での動作につきましては、保証致しかねますのでご了承ください。

サポート OS	Windows 11、Windows 10、Windows 8.1 各 OS は日本語版のみサポート 簡単取り込みオプション利用の場合は 64bit OS を推奨
プロセッサ	Intel Core i3 以上推奨
メモリ	4GB 以上推奨
その他	インターネットに接続できること (ライセンス認証時)

最新の情報は、弊社ホームページにて、ご確認ください。

www.plextalk.com

本取扱説明書に関するご注意

- 本取扱説明書の著作権はシナノケンシ株式会社が所有します。
- 本ソフトウェアの仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります、それに伴って、取扱説明書等の内容も予告なしに変更を行う場合があります。
- Windows、Microsoft Word、Microsoft Excel、.NET Framework、SQL Server、Visual C++は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。その他、本取扱説明書に記載されている社名、製品名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアの使用条件（ソフトウェア使用許諾契約書）

本ソフトウェアを使用する前にこの使用条件をお読みください。シナノケンシ株式会社は、お客様がこの使用条件に同意された場合にのみ本ソフトウェアの使用を許諾します。お客様が本ソフトウェアを使用されると、以下の条件に同意したものとみなします。この使用条件にご同意いただけない場合は、本ソフトウェアのインストールを直ちに中止してください。

1. 使用权

シナノケンシ株式会社は、本契約所定の条件に従い、本ソフトウェアの非独占的な使用权をお客様に許諾します。この許諾は、1 台のコンピュータシステムにおいてお客様自身が本ソフトウェアをご使用する場合に限り有効です。本使用权は、日本国内でのみ有効なものとしします。

2. 複製の禁止

お客様は、本ソフトウェアの複製をバックアップ以外の目的で行うことはできません。また複製は 1 個に限ります。

3. 再使用許諾の禁止

お客様は、本ソフトウェアを、譲渡、貸与、リースもしくは配布その他の方法により第三者に使用させてはならないものとしします。

4. 翻案、逆アセンブル・コンパイル等の禁止

お客様は本ソフトウェアの一部もしくは全部を翻案、逆アセンブル・コンパイル、リバースエンジニアリングすることはできません。

5. 本ソフトウェアの権利

本ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、シナノケンシ株式会社及びシナノケンシ株式会社が正当に許諾を受けている各会社に帰属するものであり、お客様は本ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

6. 製作物の使用制限

本ソフトウェアに含まれる音声合成機能（女性1・2、男性1・2）を使用して作成した音声、音声ファイル、音声を含むコンテンツを第三者に有償にて提供することはできません。有償にて提供する目的で使用する場合、あらかじめお客様ご自身で株式会社日立ソリューションズ・クリエイトから音声使用の許諾を受けてください。

7. 解約

お客様が前項までの規定に違反された場合、シナノケンシ株式会社はこの使用許諾契約を解約することができます。本契約が解約された場合、お客様の負担で本ソフトウェア及びその複製物を破棄し、またはシナノケンシ株式会社に返却するものとします。

8. 損害賠償

(1) シナノケンシ株式会社は、お客様が本ソフトウェアの使用に関連して、お客様又は第三者に直接的または間接的に生じた損害についていかなる責任をも負わないものとします。

(2) お客様が本契約の規定に違反されたことに関し、シナノケンシ株式会社及び第三者に損害・損失が発生した場合、当該損害・損失をご負担いただくものとします。

9. 本ソフトウェアの変更

シナノケンシ株式会社はお客様への予告なしに改良のため本ソフトウェアの変更を行うことがあります。

10. その他

- (1) シナノケンシ株式会社は、いつでも、本契約の条件を変更・削除する権利を留保しています。本契約の条件変更の通知後、お客様が本ソフトウェアを使用されると、変更後の条件に同意したものとみなします。お客様は、もしも将来実施される本契約の変更に同意していただけない場合、本契約を解約していただくことができます。
- (2) 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
- (3) 本契約は、消費者契約法等の消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。
- (4) 本契約に定めなき事項又は本契約の解約に疑義を生じた場合は、お客様及びシナノケンシ株式会社は誠意をもって協議をし、解決にあたるものとします。

1章 本ソフトウェアの特長と用語解説

この章では、本ソフトウェアの特長や専門用語について説明します。なお、本ソフトウェアで使用している専門用語は、他の分野においては全く別の意味として扱われているものもありますので、ご注意ください。

1章1 PLEXTALKProducer の特長

- PLEXTALKProducer は、DAISY2.02、DAISY3、EPUB3 フォーマットの図書が作成できるマルチメディア DAISY 製作ソフトウェアです。DAISY 図書作成の一連の作業を本ソフトウェアのみで、実現できます。
- 高音質音声合成エンジンを内蔵し、肉声による録音が必要な場合は、音声を自動付加でき、録音にかかる作業時間もなく製作時間の大幅な短縮を実現します。
- 発音指定できるカスタマイズ可能な読み辞書と、各テキストへの個別の発音指定で、読みの補正ができます。
- 音声合成エンジンは SAPI を利用することもできるので、SAPI に対応した英語等の音声合成エンジンで読み上げることもできます。
- クリップボードを利用してテキストや画像を取り込めるため、Microsoft Word や PDF 等の多様なファイルから情報を取り込めます。
- ルビや縦書きなど、日本語の編集機能が充実しています。
- 代替テキストを用いて画像への音声付加ができるため、図や写真を音声で説明できます。
- 慣れ親しんだ人の声による録音もできます。
- 音声認識を利用したテキストと音声の自動同期機能で、製作時間の大幅な短縮を実現します。
- 章立てやページ等の書籍の構造化編集機能が充実しています。
- 本ソフトウェアで作成した図書であれば、「DAISY インポート」機能でデータを取り込んでから再編集することが可能です。
- テキストインポート、音声インポートで今までに製作したデータを活用して DAISY 図書を作成できます。
- CD 書き込み機能を搭載し、本ソフトウェアで録音／編集／CD 作成まで行えます。
- 製作した DAISY の再生確認用ソフトウェアも付属しています。

1章2 簡単取り込みオプション（別売）の特長

- PLEATALKProducer とは別にライセンス認証が必要です。
- 本オプションは、レイアウトツールと文字化ツールで構成されます。
- レイアウトツールは、PDF や画像ファイルから、テキストや画像の位置を指定し、順番を設定して、プロジェクトに取り込むことができます。
- 文字化ツールは、画像からテキストを抽出することができます。
- レイアウトツール実行時に、文字情報が含まれない形式の PDF や画像ファイルからテキストを抽出する場合は、自動的に文字化ツールが動作します。

1章3 DAISY について

1. DAISY とは？

DAISY とは、Digital Accessible Information SYstem の略で、「デジタル録音図書」の製作、交換、利用のための国際標準規格のことです。DAISY 図書は専用のハードウェアプレーヤや、専用のソフトウェアによって再生できます。

2. DAISY の特長

DAISY の特長には下記のものがあります。

- 情報圧縮：音声の高圧縮が可能であり、1 枚の CD メディアに最大で 90 時間の音声データを録音できます。
- 高速検索：DAISY フォーマットには、利用者が本をすばやく検索できるための機能があります。レベル 6 までの階層構造、ページ、フレーズなどにより瞬時に移動できます。

3. DAISY のバージョン

本ソフトウェアで出力できる DAISY は次の 2 種類になります。

- DAISY2.02
XHTML1.0、CSS2.1、SMIL1.0、音声などのファイルで構成された図書です。XHTML1.0 のため、ルビなど日本語固有のスタイルはサポートされていません。
- DAISY3 (ANSI/NISO Z39.86-2005)
XML1.0、CSS2.1、SMIL2.0、音声などのファイルで構成された図書です。XML ファイルの採用により DAISY2.02 より自由度が高く、ルビなど日本語固有の一部のスタイルがサポート可能となりました。

4. DAISY の種別

DAISY 図書には、次の 3 つが存在します。

- 音声 DAISY

音声ファイルと、図書の目次やページが記述されたファイルで構成された図書です。音声の再生や任意の目次やページへの移動ができます。

- テキスト DAISY

図書の目次やページが記述されたファイルと、本文の全てのテキストが記述されたファイルで構成された図書です。音声ファイルがないため、本文のテキストを音声合成により再生します。本文のテキスト表示が可能で、再生している箇所と同期して本文のテキストや画像がハイライトされます。また、目次やページへの移動の他に、表示されている任意のテキストに移動ができます。

- マルチメディア DAISY

音声ファイルと、図書の目次やページが記述されたファイルと、本文の全てのテキストが記述されたファイルで構成された図書です。音声 DAISY とテキスト DAISY の特長を併せ持っており、本文のテキスト表示が可能で、音声の再生と同期して本文のテキストや画像がハイライトされます。

5. DAISY の検索方法について

DAISY 図書は、見出しに 1 から 6 までの階層レベルを設定できます。レベル 1 が最も高く、レベル 6 が最も低い設定値です。例えば章・節・項から構成される図書の場合、通常、章をレベル 1、節をレベル 2、項をレベル 3 に設定します。製作者によって設定されたレベルは、利用者が変更することはできません。

本の中における特定の見出しへ移動したいとき、利用者は見出しの一覧から移動したい見出しを選択することで、読みたい見出しに素早く移動することができます。

また、DAISY 図書では、ページ番号を指定して、そのページに直接移動することができます。これを可能にするためには、製作者が、正しい場所にページを設定する必要があります。ページも、利用者によって変更することはできません。

1章4 EPUB について

1. EPUB3 とは？

EPUB とは、Electronic PUBlication の略で、電子出版や電子書籍のための国際標準規

格となります。EPUB の最新バージョン EPUB3 では DAISY と統合され新たな DAISY 図書の配布形態となりました。

2. EPUB3 の特長

EPUB3 は DAISY の特長を備えていますが、その他にも下記の特長があります。

- 日本語組版対応：DAISY の規格では縦書きやルビは規格外でしたが、正式に対応されました。また、縦書きやルビ以外にも圏点や縦中横など新たなスタイルが盛り込まれています。
- アーカイブ：ZIP 化（拡張子は.epub）されて単一ファイルとして配布が可能となっています。

3. EPUB3 の種別

本ソフトウェアで出力できる EPUB3 は次の 2 種類になります。

- EPUB3
テキスト DAISY の EPUB3 版となります。
- EPUB3 Media Overlays
マルチメディア DAISY の EPUB3 版となります。

1章5 その他用語説明

1. プロジェクト

本ソフトウェアは、製作する DAISY 図書ごとに「プロジェクト」を作成します。「プロジェクト」とは DAISY 図書のテキスト／音声／編集情報を 1 つにまとめたもので、利用者がアクセスできない領域に自動的に作成され、製作に必要な図書のデータが管理されています。「プロジェクト」を取り出して他のパソコンで編集／管理することもできます。

2. 作業領域

プロジェクトが作成される利用者がアクセスできない領域を「作業領域」と呼びます。「作業領域」には音声データやテキスト情報などがプロジェクトごとに保存されます。

3. データベース

「データベース」とは特定のデータを効率良く管理し、容易に検索や抽出ができるシ

ステムのことです。「データベース」には図書の構造や書誌情報など全プロジェクトの情報が一括で管理されています。

4. セクション

ある見出しから次の見出しの直前までを「セクション」と呼びます。DAISY 図書は、1 個以上のセクションから構成され、セクションは 1 個以上のフレーズから構成されます。

5. 見出し

セクションの先頭フレーズのことを「見出し」と呼びます。見出しには、そのセクションの題名が入るように設定します。DAISY プレーヤで、現在どのセクションを再生しているのかを、利用者が確認するときに利用されます。

6. レベル

セクションにはレベルと呼ばれる値があり、DAISY 図書検索に利用されます。レベル 1 からレベル 6 まで設定することができ、レベル 1 が最も高く、レベル 6 が最も低い設定値です。例えば見出しの構成が「章・節・項」から成る図書であれば、「章」をレベル 1 に、「節」をレベル 2 に、「項」をレベル 3 に設定します。

あるセクションをレベル 1 に設定した場合、次のセクションはレベル 1 かレベル 2 に設定します。レベル 1 の次にレベル 3 を設定することはできません。

7. フレーズ

テキスト DAISY やマルチメディア DAISY を再生した際に、1 回でハイライトされるテキストの範囲を「フレーズ」と呼びます。利用者に応じて「フレーズ」を分ち書き単位や句読点単位にすることができます。本ソフトウェアでは、「フレーズ」の長さを簡単に変更することが可能です。

8. ページ

「ページ」は、利用者が DAISY 図書の検索時に利用するものです。製作者は、「ページ」の切れ目（開始点）となるフレーズに対して、「ページ」を付けることができます。本ソフトウェア上で設定できるページの種類には通常・前付・特殊の 3 種類があります。

9. 飛ばし読み

「飛ばし読み」は、DAISY 図書再生時に利用するもので、ページなどのフレーズを飛ばして読ませることが出来ます。製作者はページの他に注釈（注番号）・注釈・製作者注・サイドバー・アノテーション・行番号の6種類を設定できます。

なお、再生環境によっては、再生時に「飛ばし読み」の設定を変更することで、飛ばさずに読むことも出来ます。

10. グループ

「グループ」は、ページと同じように利用者が DAISY 図書の検索時に利用するものです。製作者は、グループの開始点となるフレーズに対して、グループを付けることが出来ます。

例えば段落の先頭に付けておくことで、段落単位による検索が、図表説明の先頭に付けておくことで、図表説明箇所の検索ができるようになります。ただしグループは DAISY2.02 のみの規格になりますので、DAISY3 や EPUB3 はグループには対応しておりません。

11. ルビ

「ルビ」は文字にふりがなを付けるときに利用します。製作者はルビに原本内に書かれた「原本にあるルビ」と「その他ルビ」の2種類の種別を設定できます。利用者に応じて、原本にあるルビ・ルビ有り・ルビ無しを選択してビルドブックし提供出来ます。

12. マーク

「マーク」とは、編集集中に目印を設定することを言います。編集用のデータとなりますので、DAISY もしくは EPUB 出力時には反映されません。

13. インポート

「インポート」とは、プロジェクトにまとめて情報を取り込むことを言います。本ソフトウェアでは、テキストファイルを取り込む「テキストファイルから取り込む」、DAISY 図書を取り込む「DAISY インポート」、プロジェクト情報を取り込む「他のプロジェクトを取り込む」、音声ファイルを取り込む「音声インポート」の4種類があります。

これらの機能を利用することで、過去に製作した図書の活用や、複数人による分冊作

業など、効率よく製作を行うことができます。

【20章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】

14. エクスポート

「エクスポート」とは、プロジェクトの情報をまとめて取り出すことを言います。本ソフトウェアでは、「プロジェクトを取り出す」が該当し、プロジェクト単位の他にセクション単位で情報を取り出すことができます。

15. ビルドブック

「ビルドブック」とは、編集を行ったプロジェクトから DAISY または EPUB 形式に製本することを言います。

【20章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】

16. SAPI

「SAPI」とは、Microsoft Corporation が開発した Windows 上で音声認識や音声合成を利用できる機能です。

本ソフトウェアでは、SAPI を利用することで、Windows に登録されている音声合成エンジンの声種も選択することができ、日本語だけでなく、英語等を読み上げ、音声出力することができます。

17. 簡単取り込みオプション

PLEXTALKProducer の別売オプションで、レイアウトツールと文字化ツール (OCR) で構成されます。DAISY 製作での「データ取り込み」のステップをより簡単に行うことができます。

18. レイアウトツール

レイアウトツールでは PDF や画像ファイルから、テキストや画像の位置を範囲指定し、取り込む順番を設定して、まとめて取り込むことができます。

19. 文字化ツール (OCR)

スキャナでスキャンした PDF やカメラで撮影した印刷物の画像など、文字情報が含まれないファイルからテキストを抽出することができます。

2章 セットアップ

この章では、本ソフトウェアをご利用いただけるようになるまでの手順について説明します。

<注意>

- この章以降の画面表示、手順は Windows 10 を例としています。他の OS や環境により画面表示や手順が異なる場合があります。インストール DVD を DVD ドライブに入れてもインストールが始まらない場合は、DVD のルートフォルダにある Setup.exe を実行してください。
- DVD ドライブがない場合は、弊社ホームページにて体験版をダウンロードしてください。体験版は zip 形式でダウンロードされますので、必ず展開してから Producer_setup.exe を実行してください。※展開しないでインストールするとエラーとなりますので、必ず展開してからインストールしてください。 www.plextalk.com/jp/education/products/producer/download/

2章1 関連するソフトウェアをインストールする

本ソフトウェアを利用する上で必要なソフトウェアを自動で選択してインストールを行います。

必要なソフトウェアはインストール DVD に同梱されていますので、別途ダウンロード等していただく必要はありません。

なお、既にインストールされているソフトウェアはインストールされません。

2.1.1 .NET Framework 4.6 をインストールする

1 インストール DVD を DVD ドライブに入れます。

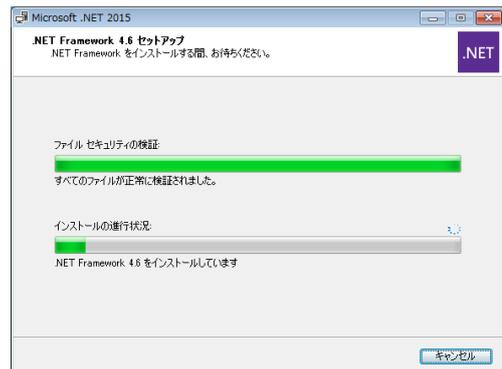
2 .NET Framework のインストールメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



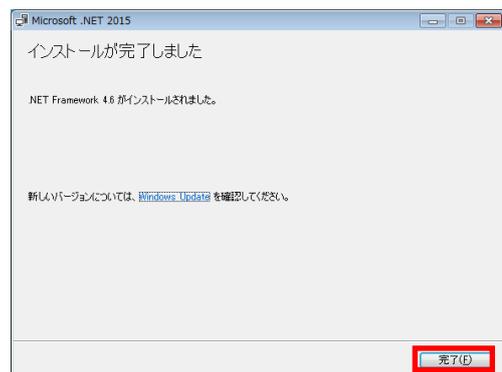
- 3 暫くすると [.NET Framework 4.6 セットアップ] が表示されます。ライセンス条項をお読みにになり、全ての条項に同意する場合は [同意する] をクリックして [インストール] をクリックします。



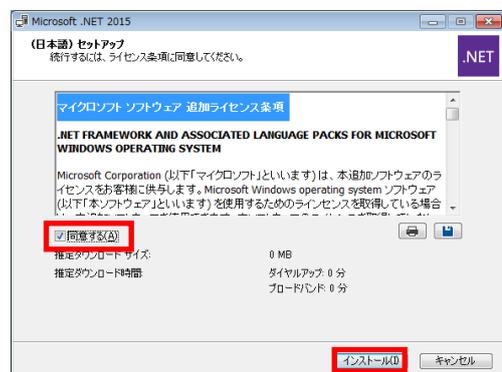
- 4 [.NET Framework 4.6 セットアップ] で進行状況が表示されますので、そのまま待機します。



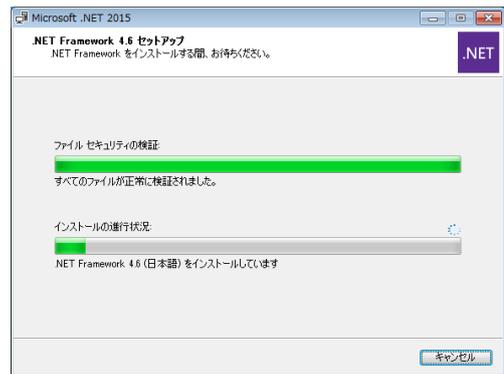
- 5 [インストールが完了しました] が表示されますので、 [完了] をクリックします。



- 6 [(日本語) セットアップ] が表示されます。ライセンス条項をお読みにになり、全ての条項に同意する場合は [同意する] をクリックして [インストール] をクリックします。



- 7 [.NET Framework 4.6 セットアップ] で進行状況が表示されますので、そのまま待機します。



- 8 [インストールが完了しました] が表示されますので、[完了] をクリックして終了します。

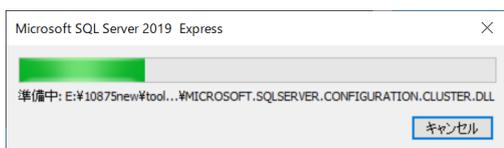


2.1.2 SQL Server 2019 Express をインストールする

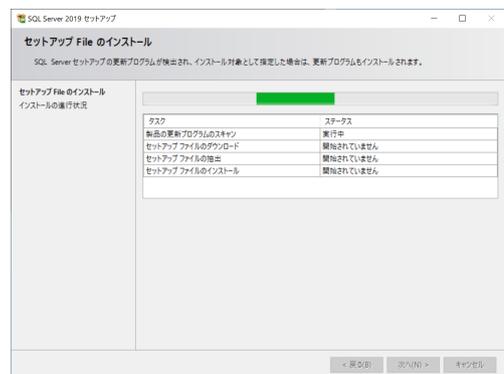
- 1 SQL Server のインストールメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



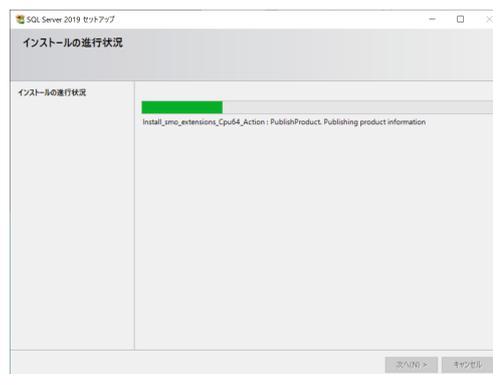
- 2 進捗状況が表示されますので、そのまま待機します。



- 3 暫くすると [セットアップファイルのインストール] が表示されますので、そのまま待機します。



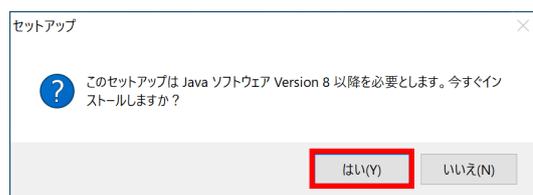
4 暫くすると [インストールの進行状況] が表示されますので、そのまま待機します。



5 暫くすると全ての画面が閉じインストールが終了します。

2.1.3 Java をインストールする

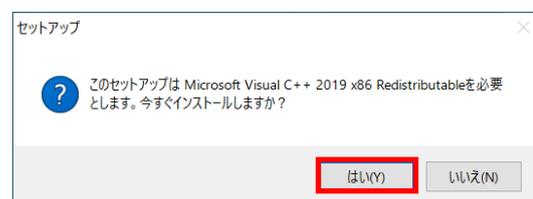
1 Java のインストールメッセージが表示されますので、 [はい] をクリックします。



2 暫くするとインストールが完了し、次のソフトウェアのインストールメッセージが表示されます。

2.1.4 Microsoft Visual C++ランタイムをインストールする

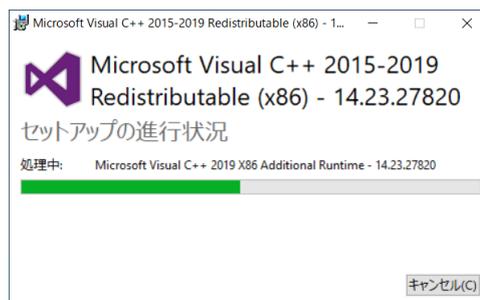
1 ランタイムのインストールメッセージが表示されますので、 [はい] をクリックします。



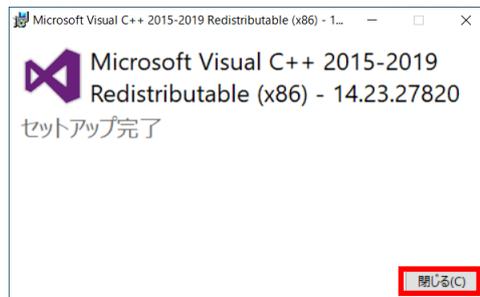
2 [マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項] が表示されますので、ソフトウェアライセンス条項をお読みにになり、全ての条項に同意する場合は [同意する] をクリックして [インストール] をクリックします。



- 3 [インストールの進行状況] が表示されますので、そのまま待機します。



- 4 [インストールが完了しました] が表示されますので、[完了] をクリックして終了します。

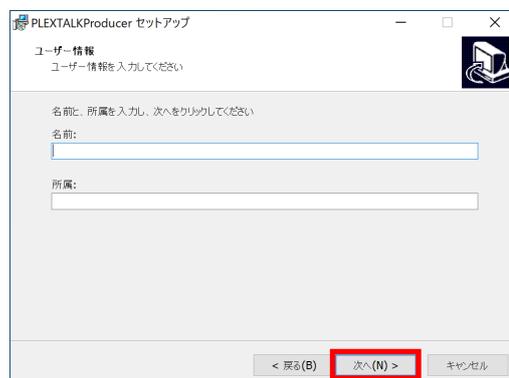


2章2 PLEXTALKProducer をインストールする

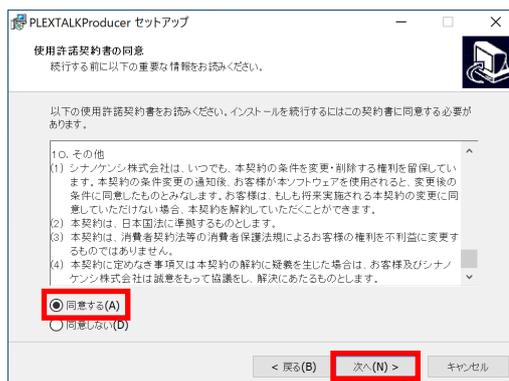
- 1 [PLEXTALKProducer セットアップウィザードの開始] が表示されますので、[次へ] をクリックします。



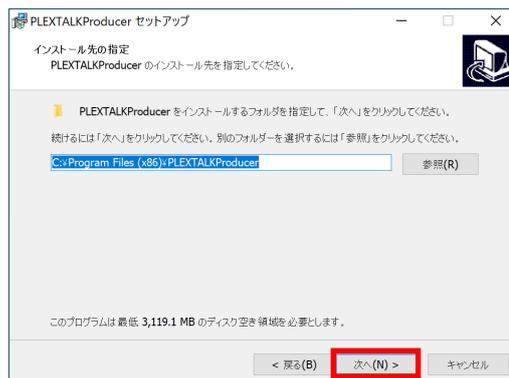
- 2 [ユーザー情報] が表示されますので、名前と所属を入力し、[次へ] をクリックします。



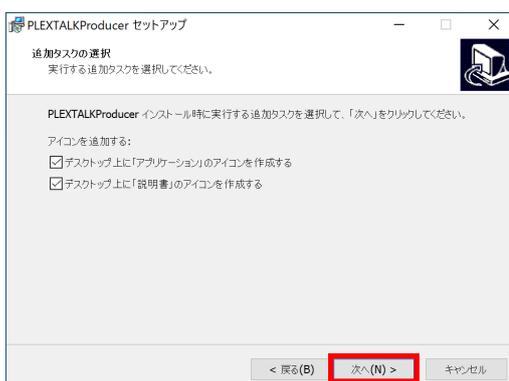
3 [使用許諾契約書の同意] が表示されますので、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みになり、全ての条項に同意する場合は、[同意する] をクリックして [次へ] をクリックします。



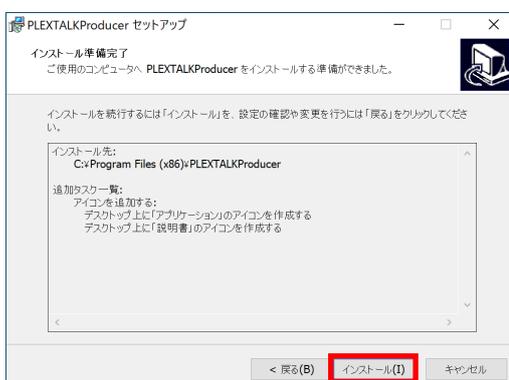
4 [インストール先の指定] が表示されます。インストール先を確認し [次へ] をクリックします。インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先を指定してください。



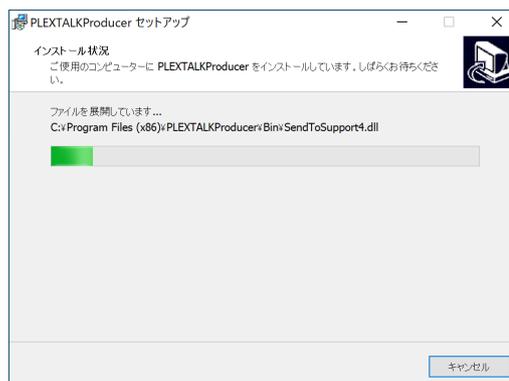
5 [追加タスクの選択] が表示されますので、[次へ] をクリックします。なお、デスクトップ上にアイコンを作成しない場合は、クリックしてチェックを外してください。



6 [インストール準備完了] が表示されたら、設定内容を確認し、[インストール] をクリックします。



- 7 [インストール状況] が表示され、インストールが開始します。
なお、インストールを中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。



- 8 [PLEXTALKProducer セットアップウィザードの完了] が表示されますので、[完了] をクリックしてセットアップを終了します。



2章3 PLEXTALKProducer をアンインストールする

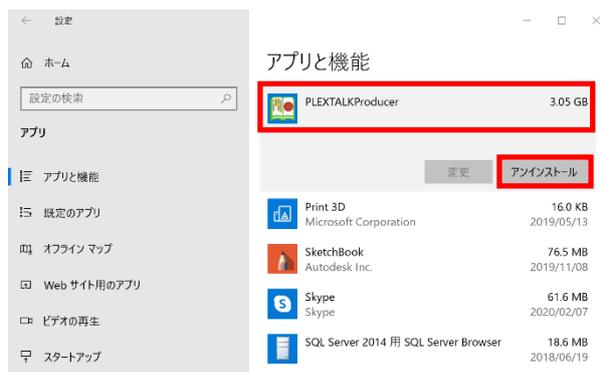
<注意>

- ライセンス認証が解除されていない場合は、アンインストールが行えません。PLEXTALKProducer を起動し、ライセンス認証を解除してから再度アンインストールをしてください。【2章5 ライセンス認証を解除する 参照】

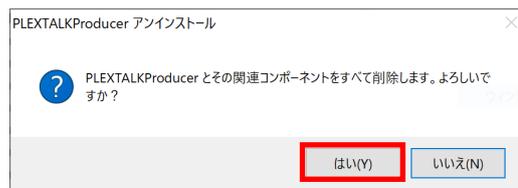
- 1 スタートメニューから [設定] をクリックし、Windows の設定内の [アプリ] をクリックします。



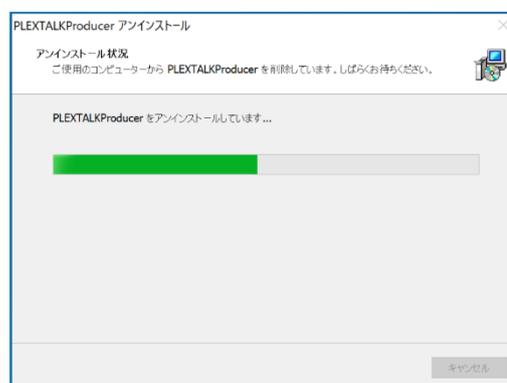
- 2 [アプリと機能] から [PLEXTALKProducer] を選択し、 [アンインストール] をクリックします。



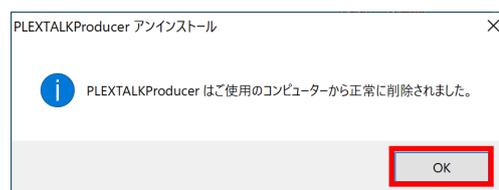
- 3 [PLEXTALKProducer アンインストール] が表示されますので、 [はい] をクリックします。



- 4 [アンインストール状況] が表示されますので、そのまま待機します。



- 5 アンインストール終了のメッセージが表示されますので、 [OK] をクリックしてアンインストールを終了します。



2章4 ライセンスを認証する

本ソフトウェアをご利用いただくには、ライセンス認証を行う必要があります。ライセンス認証に必要なシリアル No.は本ソフトウェアに付属している「シリアル No.のご案内」に記載されています。

<注意>

- 初回起動時から 90 日間はライセンス認証を行わなくても体験版として利用できます。90 日経過後は、ライセンス認証を行わないと本ソフトウェアは使用できません。なお、体験版には機能制限があり、ビルドブックやエクスポートの利用ができません。
- 体験版として利用中は、簡単取り込みオプションの機能を利用できます。
- ライセンス認証にはインターネット回線が必要です。インターネットへの接続を行ってから認証をしてください。
- インストールしたパソコンがインターネット接続困難な場合は、インターネットに接続した別のパソコンで代理認証を使用してライセンス認証をしてください。代理認証の詳細は下記の弊社ホームページをご覧ください。
www.plextalk.com/jp/education/products/producer/qa

1 PLEXTALKProducer を起動します。

【4 章 1 起動する 参照】

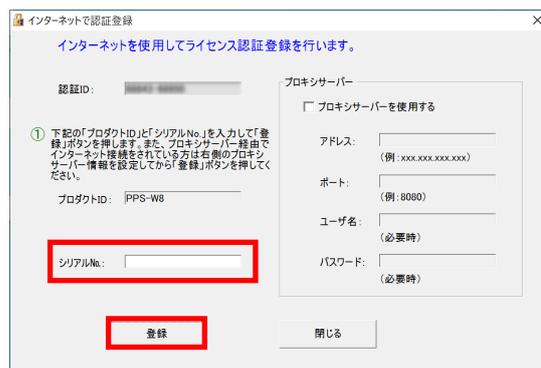
2 [PLEXTALKProducer 体験版] が表示されますので、[ライセンス認証] をクリックします。



<注意>

- 簡単取り込みオプションは別途ライセンス認証が必要です。
【19 章 2 セットアップ 参照】

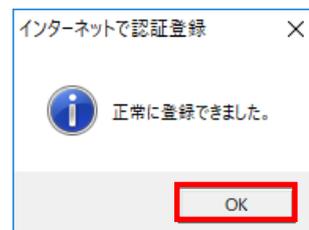
- 3 [インターネットで認証登録]が表示されますので、シリアルNo.を入力し[登録]をクリックします。



<注意>

- プロキシサーバーを経由してインターネットへアクセスしている場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。プロキシサーバーの設定については、ネットワーク責任者にお問い合わせください。

- 4 登録完了のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして終了します。



<注意>

- ライセンス認証後、下記の弊社ホームページにてユーザー登録をお願いします。ユーザー登録をすると弊社製品に関する更新情報を随時連絡させていただきます。
www.plextalk.com/jp/proregi.php

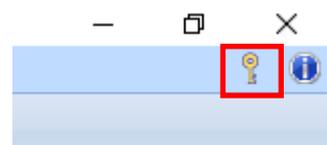
2章5 ライセンス認証を解除する

<注意>

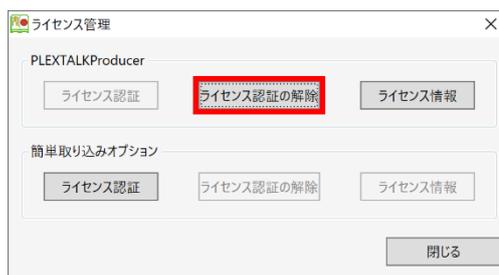
- ライセンス認証の解除には、インターネット回線が必要です。インターネットへの接続を行ってから認証の解除をしてください。

- インストールしたパソコンがインターネット接続困難な場合は、インターネットに接続した別のパソコンで代理認証を使用してライセンス認証の解除をしてください。代理認証の詳細は下記の弊社ホームページをご覧ください。
www.plextalk.com/jp/education/products/producer/qa/

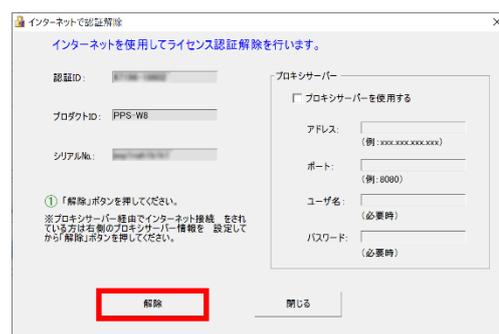
1 リボン右上の「ライセンス管理」をクリックします。



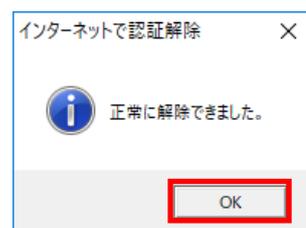
2 「ライセンス管理」が表示されますので、「ライセンス認証の解除」をクリックします。



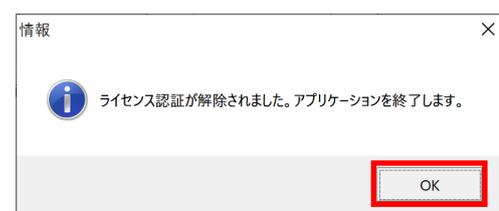
3 「インターネットで認証解除」が表示されますので、「解除」をクリックします。



4 解除完了のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



5 アプリケーション終了のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックして終了します。



3章 図書の製作について

この章では、本ソフトウェアによる図書製作の流れについて説明します。

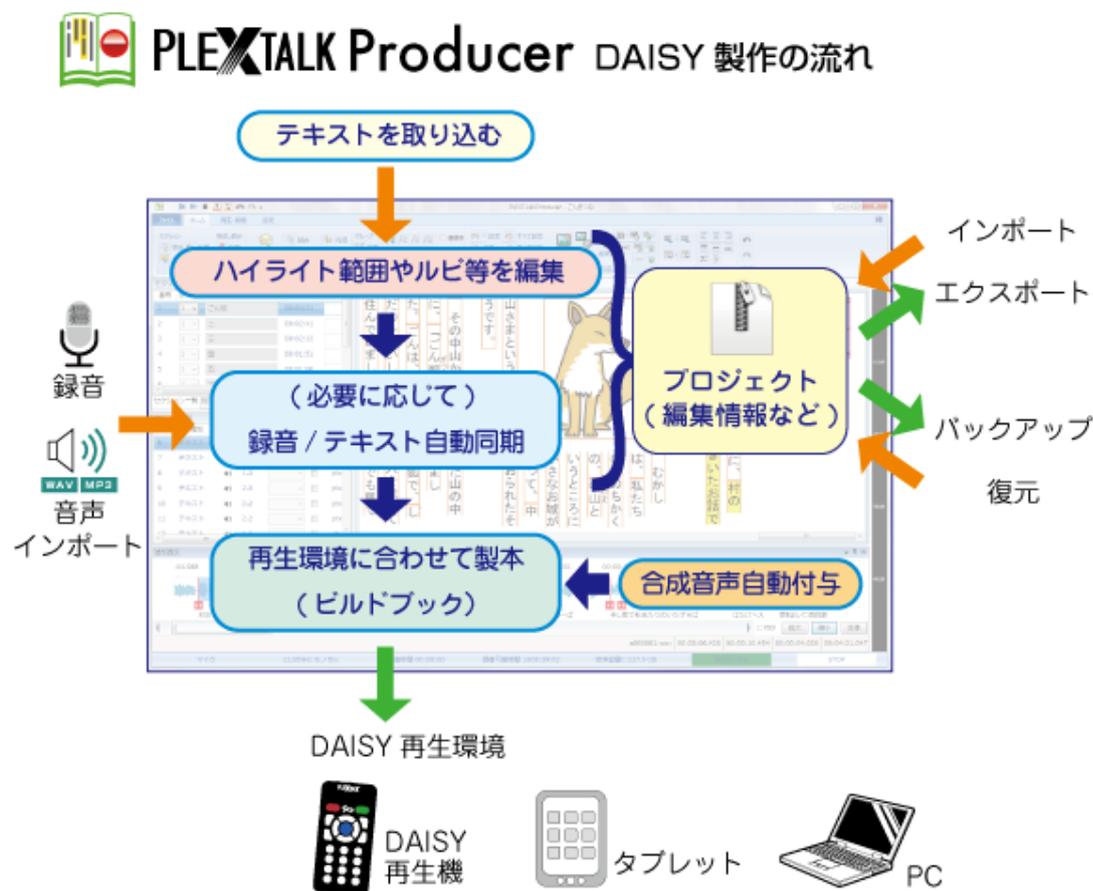
3章1 プロジェクトについて

本ソフトウェアは、製作する DAISY 図書ごとにプロジェクトを作成します。プロジェクトには、本ソフトウェアで DAISY 図書を製作する上で必要なファイルをまとめて管理しており、テキストや音声、画像、その他の設定情報などが含まれています。全てのプロジェクトを一括で管理しているため、過去に製作したプロジェクトも簡単に開くことができます。

プロジェクトはビルドブックをすることで、再生環境に合わせた DAISY 図書形式に出力することができます。

3章2 図書製作の流れについて

本ソフトウェアによる図書製作の流れを説明します。



1 新規プロジェクトの作成

図書を製作するには、まず新規にプロジェクトを作成します。

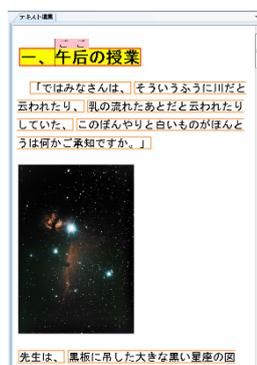
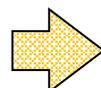
【5章 1 新規にプロジェクトを作成する 参照】

簡単取り込みオプションで

2 テキスト・画像を取り込む

PDF やスキャンした画像から
テキストと画像を同時に取り込
みます。

レイアウトツールで取
り込む



【19章 簡単取り込みオプション 参照】 文字化ツール(OCR)で取
り込む

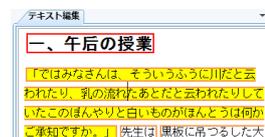
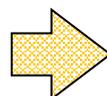
手順 4 へ進む

PLEXTALKProducer 単体のみの場合

2 テキストを取り込む

テキストファイルを一括でイン
ポートまたは Word、PDF など
からテキストをコピーして貼り
付けます。

テキストインポート



Word、PDF などからのコピー

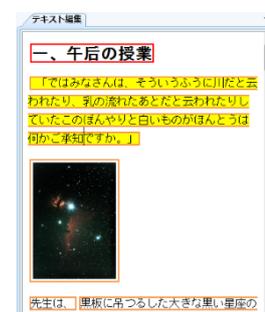
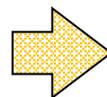
【8章 1 テキストを取り込む（テキストファイルから取り込む） 参照】

【8章 2 テキストを取り込む（クリップボードを利用する） 参照】

3 画像を取り込む

画像ファイルを挿入または
Word、PDF などから画像をコ
ピーして貼り付けます。

画像ファイルを挿入



Word、PDF などからのコピー

【9.6.1 画像を挿入する（既存の画像ファイルを取り込む） 参照】

【9.6.2 画像を挿入する（クリップボードを利用する） 参照】

4章 起動と終了

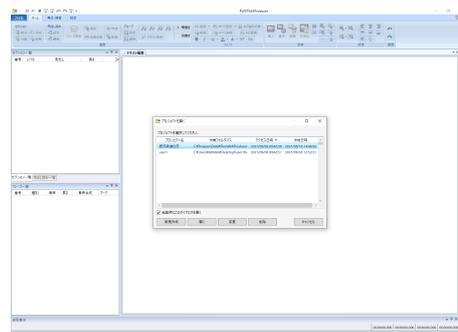
この章では、本ソフトウェアの起動や終了方法、また画面構成について説明します。

4章1 起動する

- 1 スタートメニューから [PLEXTALKProducer] をクリックするか、デスクトップ上のショートカット [PLEXTALKProducer] をダブルクリックして起動します。



- 2 本ソフトウェアが起動して、[プロジェクトを開く] が表示されます。



<ポイント>

- [起動時にこのダイアログを開く] のチェックを外すと、次回起動時は [プロジェクトを開く] が起動時に表示されません。

<注意>

- Windows 起動後の初回起動時は、本ソフトウェアで使用している.NET Framework の起動などにより表示されるまで時間がかかる場合があります。2回目以降はそれらが既に起動された状態となるため、初回起動時より早く表示が可能となります。
- 本ソフトウェア起動時に、パソコンのCPUの負荷が高い場合は、SQL Server への接続に失敗することがあります。その際には、エラーメッセージ画面を閉じ、CPUの負荷が軽減されるまで待ってから、操作を行ってください。

4章2 終了する

1 リボン [ファイル] の [終了] をクリックします。



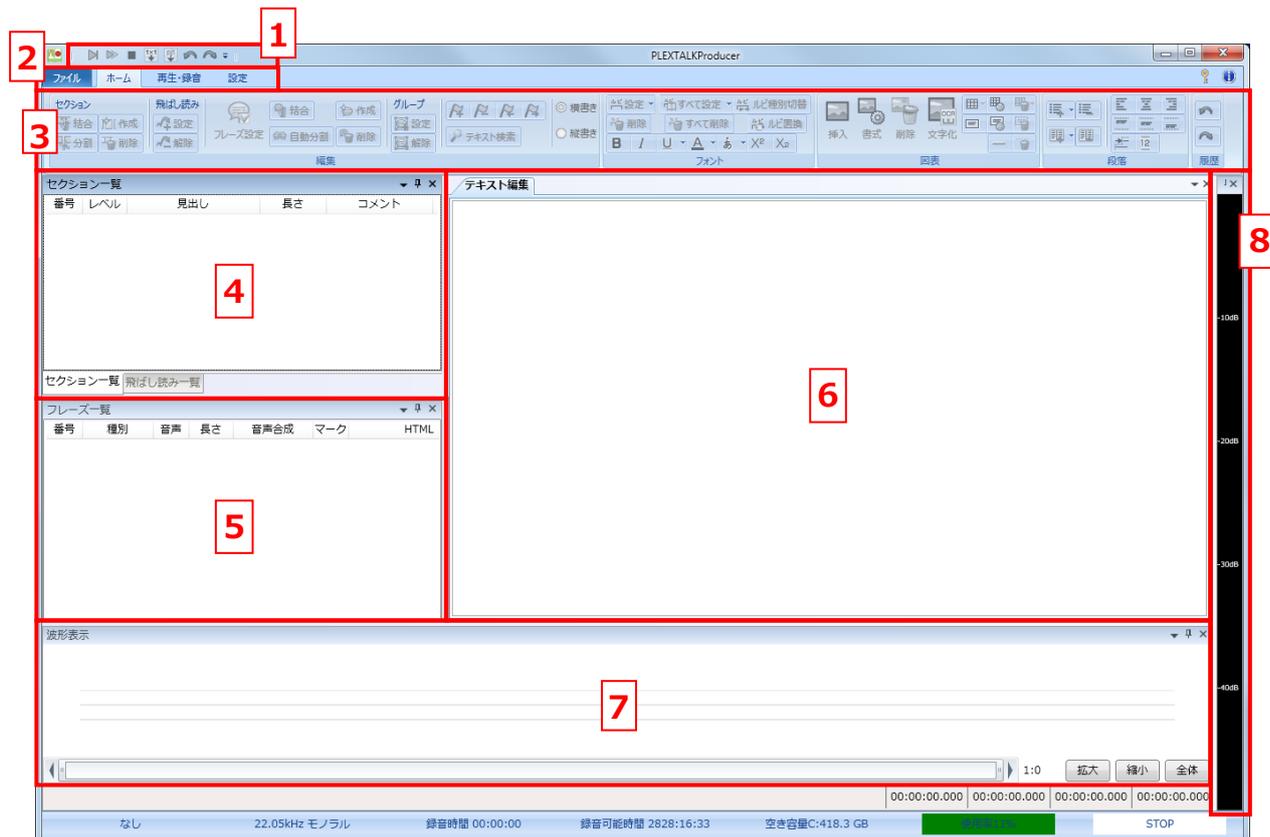
<注意>

- 本ソフトウェアには [保存] または [上書き保存] はありません。作成または編集した内容は上書き保存されますが、万一に備えて定期的にバックアップすることをおすすめします。

4章3 各部名称と働きについて

本ソフトウェアのメイン画面は、リボンで構成されるメニューと、セクション一覧・飛ばし読み一覧・フレーズ一覧・テキスト編集・波形表示・レベルメーターの各画面で構成されます。

4.3.1 メイン画面について



項目	説明
1 クイックアクセスツールバー	よく使用する機能を表示する小さくてカスタマイズ可能なツールバーです。
2 タブ	[ファイル] [ホーム] [再生・録音] [設定] の4つのタブから構成されます。
3 リボン	タブで選択したメニュー項目が表示されます。
4 セクション一覧 飛ばし読み一覧	プロジェクトに含まれるセクション、飛ばし読みの一覧を表示します。 [セクション一覧]・[飛ばし読み一覧] タブを切り替えて使います。
5 フレーズ一覧	選択しているセクションに含まれるフレーズの一覧を表示します。フレーズごとにマークやコメント、音声合成の設定をすることができます。
6 テキスト編集	選択しているセクションのテキストを編集します。文字の入力・削除、図表の挿入、スタイルの設定などを行います。
7 波形表示	選択しているセクションの音声を表示します。テキストと音声の同期位置の変更や、波形の編集などを行います。
8 レベルメーター	再生や録音時の音声レベルを表示します。

4.3.4 再生・録音タブについて



再生や録音に関する機能で構成されています。

【10章 再生 参照】

【11章 録音 参照】

4.3.5 設定タブについて



各種機能の設定や画面構成に関する機能で構成されています。

【16章 各種設定 参照】

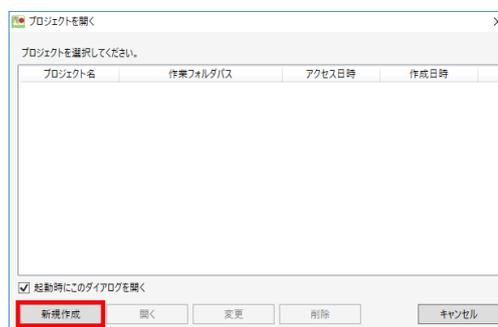
5章 プロジェクト

この章では、プロジェクトの操作に関して説明します。

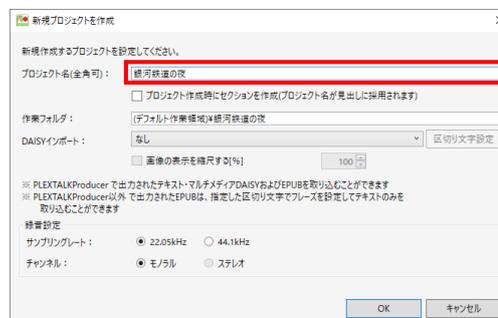
5章1 新規にプロジェクトを作成する

5.1.1 空のプロジェクトを作成する

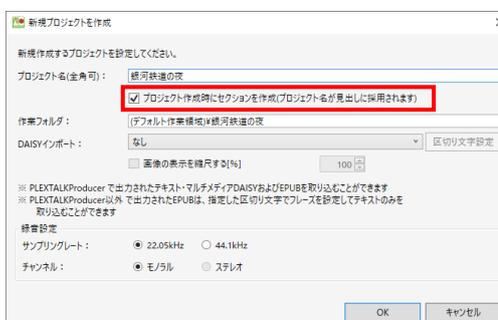
- 1 PLEXTALKProducer を起動すると [プロジェクトを開く] が表示されますので、[新規作成] をクリックします。もしくはリボン [ファイル] の [新規] をクリックします。



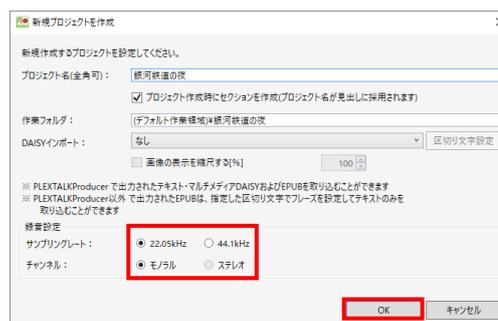
- 2 [新規プロジェクトを作成] が表示されますので、[プロジェクト名] を入力します。



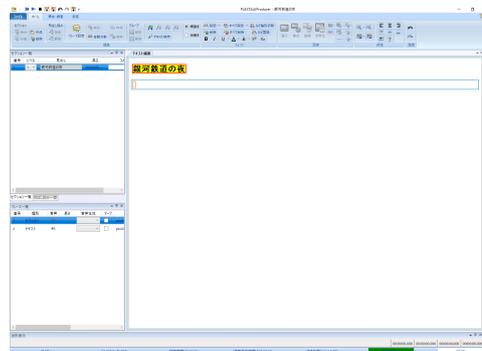
- 3 [プロジェクト作成時にセクションを作成] にチェックを入れると、プロジェクト作成時に自動でセクションが作成されます。



- 4 プロジェクトの録音設定をします。
サンプリングレートとチャンネルを
選択し、[OK] をクリックします。



- 5 作成されたプロジェクトが表示されます。



<ポイント>

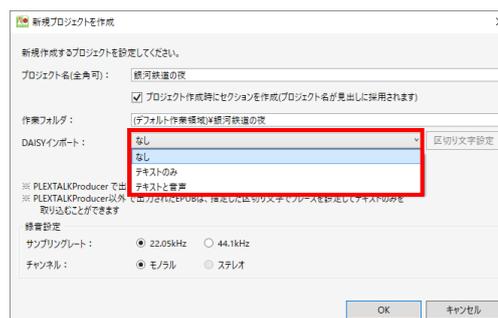
- 入力したプロジェクト名は書誌情報のタイトルに設定されます。
【13章 書誌情報 参照】
- [プロジェクト作成時にセクションを作成] にチェックを入れると、入力したプロジェクト名が自動で1セクション目の見出しに設定されます。
- 選択した録音設定で音声ファイルは管理されます。プロジェクト内ではPCM音声で管理しているため、編集による音声の劣化はありません。
- サンプリングレート 22.05kHz を選択した場合はモノラルの設定となり、44.1kHz を選択した場合はステレオの選択が行えます。

<注意>

- ここで設定した録音設定は後から変更することはできません。

5.1.2 既存の DAISY 図書からプロジェクトを作成する

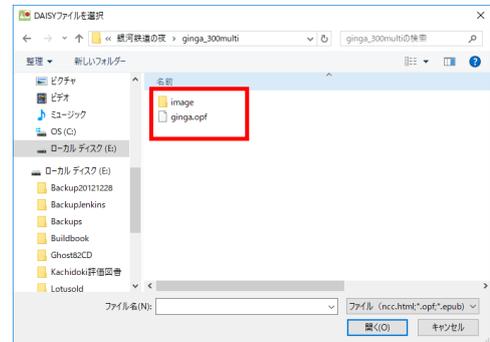
- 1 既存の DAISY 図書を元にプロジェクトを作成する場合は、DAISY インポートの中から [テキストのみ] または [テキストと音声] を選択し、[OK] をクリックします。



設定項目	説明	初期値
なし	インポートしません。	なし
テキストのみ	テキストのみインポートし、音声はインポートしません。 テキスト DAISY や、マルチメディア DAISY、EPUB3 (Media Overlays) の場合で、テキストのみを取り込みたい場合には [テキストのみ] を選択します。	
テキストと音声	テキストとともに音声もインポートします。 マルチメディア DAISY や、EPUB3 (Media Overlays) の場合で、テキストと音声の両方を取り込みたい場合には [テキストと音声] を選択します。	

2 [DAISY ファイルを選択] が表示されますので、元にする DAISY 図書ファイルを選択して [開く] をクリックします。

DAISY 形式	選択するファイル
DAISY2.02 マルチメディア	ncc.html
DAISY3 テキスト DAISY3 マルチメディア	*.opf
EPUB3 EPUB3 (Media Overlays)	*.epub



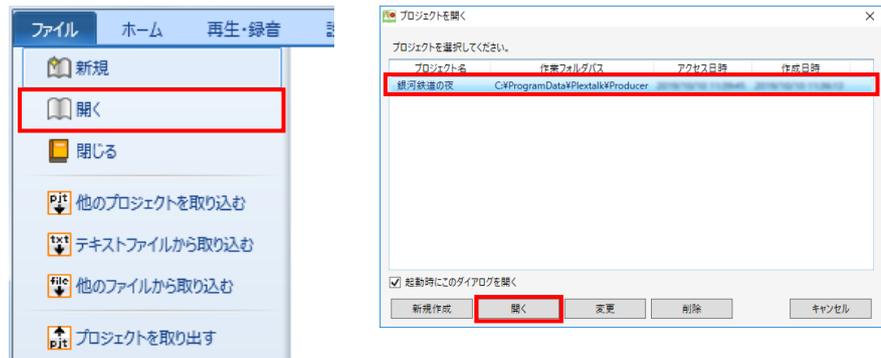
<ポイント>

- 本ソフトウェアで製作されたテキスト・マルチメディア DAISY および EPUB を取り込むことができます (DAISY2.02 音声は取り込むことができません)。
- 本ソフトウェア以外で製作された EPUB (教科書デジタルデータ) は、DAISY インポートの中から [テキストのみ] を指定して取り込むことができます。
- 本ソフトウェア以外で製作された EPUB (教科書デジタルデータ) は、区切り文字でフレーズを設定して取り込むことができます。
- [画像の表示を縮尺する] にチェックを入れることで、画像ファイルの表示縮尺を指定して取り込むことができます。

5章2 過去に作成したプロジェクトを開く

5.2.1 プロジェクトを開く

- 1 PLEXTALKProducer を起動、もしくはリボン [ファイル] の [開く] をクリックすると [プロジェクトを開く] が表示されますので、編集を行うプロジェクトを選択し、[開く] をクリックします。

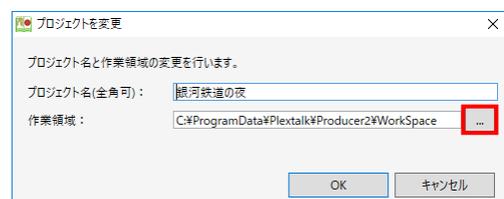
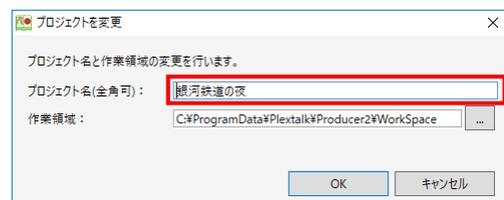
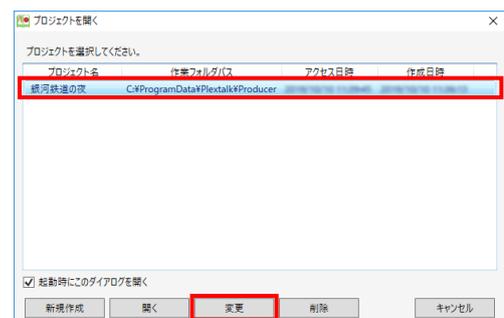


<ポイント>

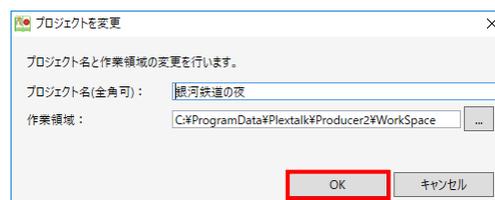
- プロジェクトを閉じた時に最後に選択していたフレーズの位置を自動で保存し、次回プロジェクトを開いた時にその位置を表示します。

5.2.2 プロジェクトを変更する

- 1 [プロジェクトを開く] で変更を行うプロジェクトを選択し、[変更] をクリックします。
- 2 [プロジェクトを変更] が表示されますので、[プロジェクト名] でプロジェクト名を変更することができます。
- 3 作業領域の [...] をクリックすると、[フォルダの参照] が表示されますので、作業領域を選択します。

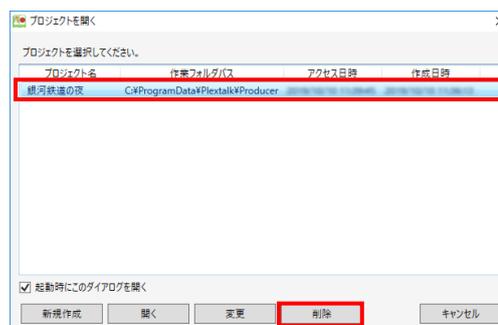


- 4 [OK] をクリックすると選択したフォルダが作業領域として設定されます。

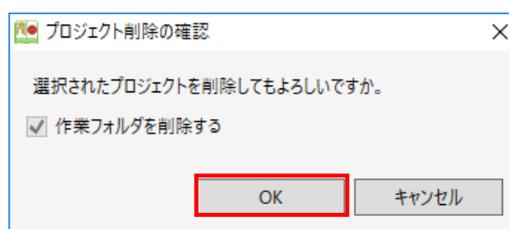


5.2.3 プロジェクトを削除する

- 1 [プロジェクトを開く] で削除するプロジェクトを選択し、[削除] をクリックします。



- 2 削除の確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

- 複数のプロジェクトを選択することで、まとめて削除が行えます。

6章 インポート、エクスポート

この章では、プロジェクトに過去に編集したデータや他で編集したデータを取り込んだり、編集中／編集後のデータを取り出したりする操作について説明します。

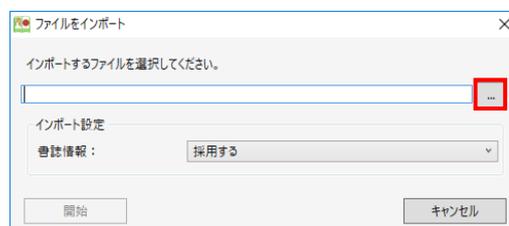
6章1 編集したプロジェクトを取り込む

ファイルインポートは、他で編集したプロジェクトを取り込みます。分担して編集した複数のプロジェクトを1つにまとめたり、セクションを流用したりすることができます。

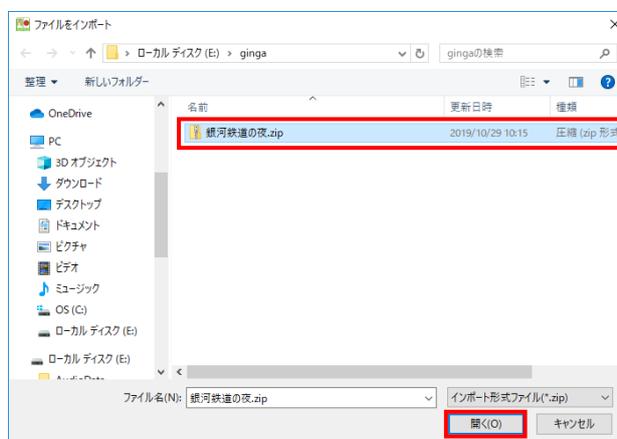
- 1 リボン [ファイル] の [他のプロジェクトを取り込む] をクリックします。



- 2 [ファイルをインポート] が表示されるので、 [...] をクリックしてします。



- 3 取り込むファイルを選択し、[開く] をクリックします。

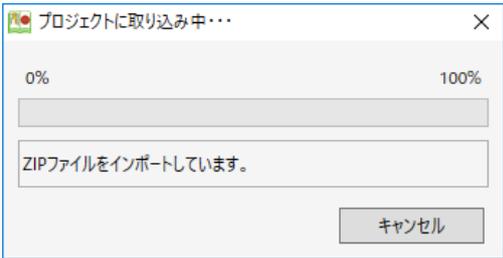


- 4 ファイルのインポート設定をします。書誌情報の中から [採用しない] または [採用する] を選択し、[開始] をクリックします。

設定項目	説明
採用しない	書誌情報は上書きされません。
採用する	プロジェクトの書誌情報を取り込むファイルの書誌情報で上書きします。



- 5 ファイルインポートが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。




<ポイント>

- 本ソフトウェアで取り出したプロジェクトファイルを本ソフトウェアのメイン画面へドラッグ&ドロップすることで、[ファイルをインポート] 画面が開きます。

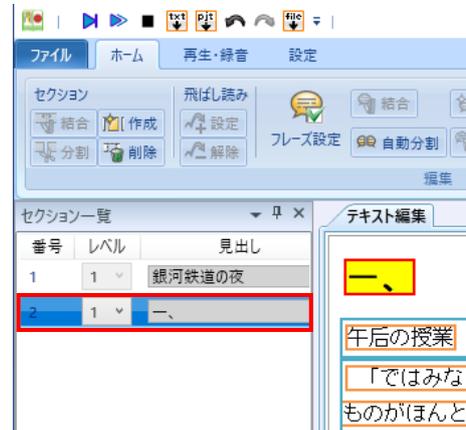
<注意>

- ファイルインポートできるのは本ソフトウェアで取り出したプロジェクトファイルのみです。
- インポート先のパソコンに設定されていない SAPI の声種が設定されているフレーズは、[フレーズ一覧] にマークが設定され、コメント欄に SAPI の声種が記述されます。

6章2 編集集中のプロジェクトを取り出す

ファイルエクスポートはプロジェクトを他のプロジェクトに取り込める形式で取り出します。プロジェクト単位やセクション単位での取り出しができます。

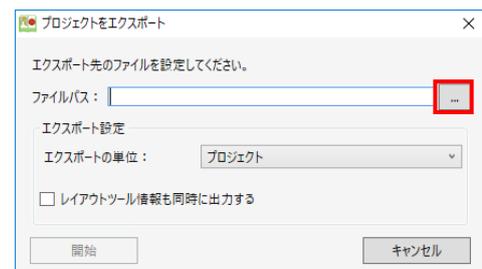
- 1 任意のセクションを取り出す場合は、取り出すセクションを [セクション一覧] で選択します。



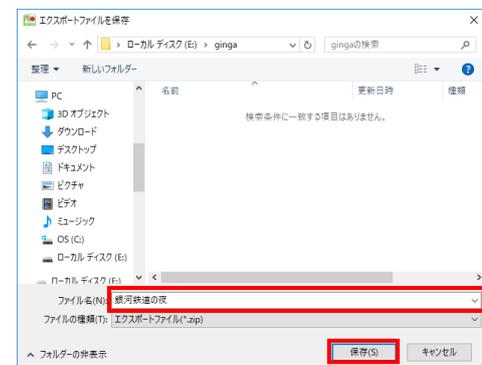
- 2 リボン [ファイル] の [プロジェクトを取り出す] をクリックします。



- 3 [プロジェクトをエクスポート] が表示されますので、[...] をクリックします。

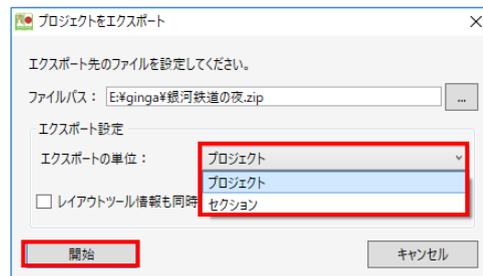


- 4 取り出し先を選択し、ファイル名を設定して [OK] をクリックします。



- 5 エクスポートの単位の中から [プロジェクト] または [セクション] を選択し、[開始] をクリックします。

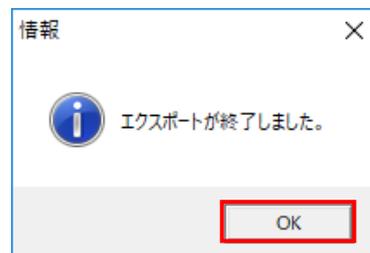
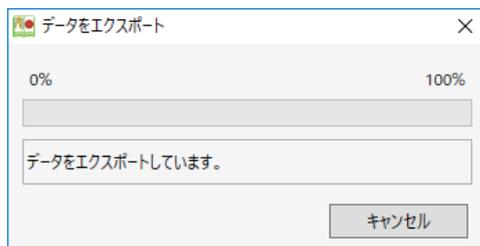
エクスポートの単位	説明
プロジェクト	開いているプロジェクトを取り出します。
セクション	選択されているセクションを取り出します。



<注意>

- [レイアウトツール情報を同時に出力する] は、簡単取り込みオプションの機能です。
【19.3.11.5 レイアウトツールの情報を取り出す 参照】

ファイルエクスポートが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

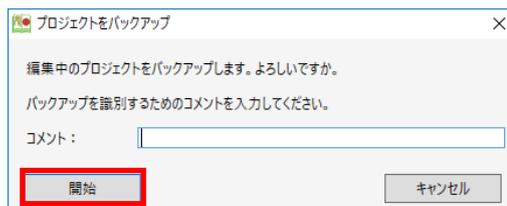
- ファイルエクスポートに失敗する場合には、クリーンアップを実行して編集内容に問題がないか確認をしてください。
【12章 クリーンアップ 参照】

7章 バックアップ

この章では、プロジェクトを複製し、複製した時点のプロジェクトへ復旧する操作などについて説明します。プロジェクトを複製することで、仮にプロジェクトが破壊されてしまった場合でも、複製した時点へ戻ることができます。

7章1 プロジェクトを複製する

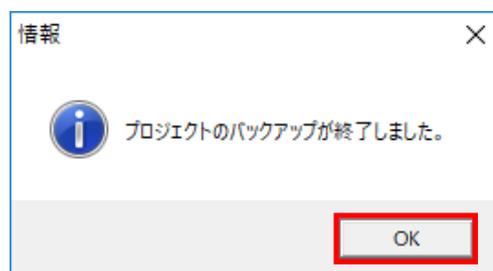
- 1 リボン [ファイル] の [バックアップ] をクリックします。
[プロジェクトをバックアップ] が表示されますので、[開始] をクリックします。



<ポイント>

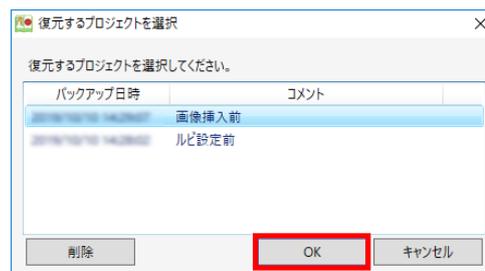
- コメントを入力することで、復旧時の判別が容易になります。

- 2 バックアップが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



7章2 プロジェクトを復旧する

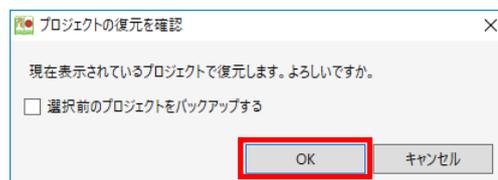
- 1 リボン [ファイル] の [選択] をクリックします。
[復元するプロジェクトを選択] が表示されますので、復元したいプロジェクトを選択して [OK] をクリックします。



- 2 表示されたプロジェクトを確認し、復元したい時点のプロジェクトであれば、リボン [ファイル] の [復元] をクリックします。



- 3 [プロジェクトの復元を確認] が表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

- 復元するプロジェクトを選択した状態とは、復元自体はされておらず、どの段階に復元するかを確認するために表示のみをしている状態です。
- 復元を行うと、現時点のプロジェクトが選択した時点のプロジェクトで上書きされます。現時点のプロジェクトを残したい場合は、[選択前のプロジェクトをバックアップする] をチェックします。

<注意>

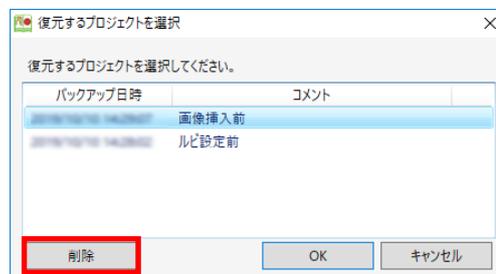
- 復元するプロジェクトを選択した状態では、全ての編集が行えません。

- 4 リボン [ファイル] の [キャンセル] をクリックすることで、復元するプロジェクトを選択した状態を解除し、選択する前のプロジェクトを表示します。



7章3 複製したプロジェクトを削除する

- 1 リボン [ファイル] の [選択] をクリックします。
[復元するプロジェクトを選択] が表示されますので、削除したいプロジェクトを選択して [削除] をクリックします。



<注意>

- バックアップはプロジェクトのデータが全て複製されます。空き容量が少なくなった場合は、複製したプロジェクトを削除してください。

8章 テキストの取り込み

ここではプロジェクトにテキスト（文字情報）を取り込む方法について説明します。
テキスト編集画面での編集に関しては、【9章3 テキスト編集】を参照してください。

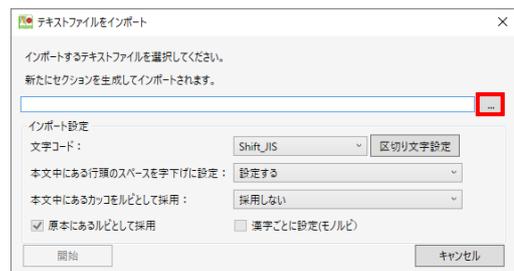
8章1 テキストを取り込む（テキストファイルから取り込む）

テキストインポートは、テキスト（文字情報）をプロジェクトに一括で取り込みます。

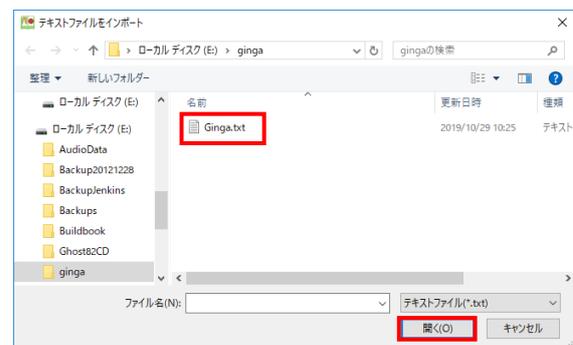
- 1 リボン [ファイル] の [テキストファイルから取り込む] をクリックします。



- 2 [テキストファイルをインポート] が表示されるので、 [...] をクリックします。



- 3 取り込むテキストファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- 4 [テキストファイルをインポート] の文字コードの中から取り込むテキストの文字コードを選択します。



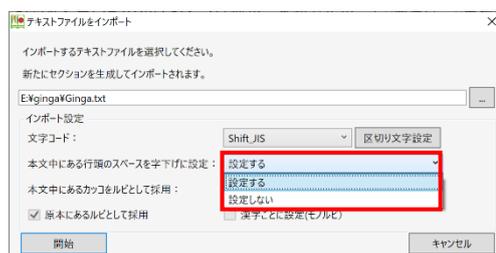
- 5 [区切り文字設定] で本文をフレーズに区切る文字を設定します。



<ポイント>

- [指定文字] は任意の区切り文字、記号を 1 文字ごと複数指定が可能です。
- 指定した区切り文字が連続する場合は、最後の区切り文字で区切られます。

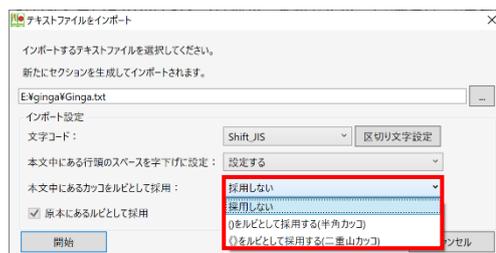
- 6 [本文中にある行頭のスペースを字下げに設定] を設定すると、行頭のスペース（半角、全角）を字下げとして設定します。



<ポイント>

- 字下げは段落の先頭に設定されます。
- [区切り文字設定] で [改行] にチェックを入れると、段落として区切られます。

- 7 取り込むテキストにカッコでルビが設定されている場合は、本文のルビ採用の中からルビに使用されているカッコの種類を選択します。



- 8 [原本にあるルビとして採用] にチェックを入れると、原本にあるルビとして設定されます。

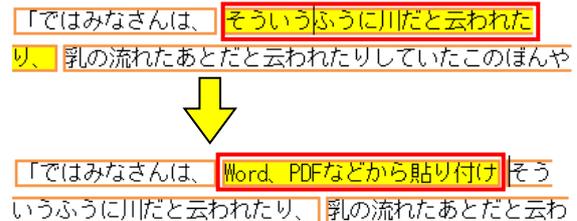


8章2 テキストを取り込む（クリップボードを利用する）

クリップボードを利用してテキスト（文字情報）をプロジェクトに取り込みます。クリップボードを利用するので、Word などのワープロソフトだけではなく、PDF（文字情報入りに限ります）などのファイルからも取り込むことができます。

1 Word、PDFなどで選択範囲の文字列をコピーまたは切り取りします。

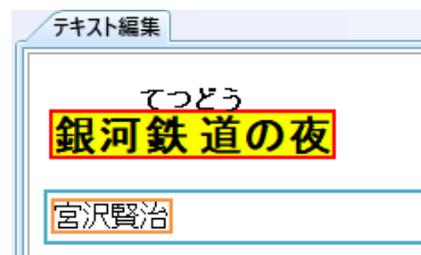
2 [テキスト編集] の貼り付けたい箇所の次のフレーズを選択し、コピーまたは切り取りをしたテキストを貼り付けます。



<ポイント>

- Word、PDF などからの貼り付け設定を変更する場合は、[貼り付け] の設定を変更します。
【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】
- 右クリックで表示されるメニュー [貼り付け(値のみ)] によりルビ、スタイルを反映せずに貼り付けができます。
- [貼り付け] で貼り付かない場合は、[貼り付け(値のみ)] で行ってください。
- Word で設定されているルビをコピーして貼り付ける場合は、[貼り付け] 設定で [()]をルビとして採用する(半角カッコ)] を選択してください。
- 漢字やひらがなを指定してルビを振りたい場合は、「《》」をルビとして採用する」を選択して、全角の「|」を使用して、ルビの対象となる文字列の開始位置を指定することができます。

例) 銀河 | 鉄道《てつどう》の夜



- 貼り付けの位置を選択フレーズの前からカーソル位置に変更することができます。

【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】

<注意>

- 貼り付け時とテキストインポート時の [区切り文字設定] [ルビ設定] は、個別に設定できます。

【8章 1 テキストを取り込む（テキストファイルから取り込む） 参照】

【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】

8章3 他のファイルから取り込む（オプション）

PDF や画像ファイルから、テキストや画像の位置を指定し、順番を設定して、取り込むことができます。

【19章 簡単取り込みオプション 参照】

9章 編集

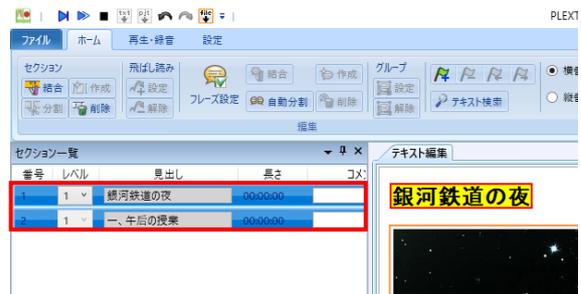
この章では、図書の構成に関する設定やテキストに様々なスタイルを設定する操作などについて説明します。

9章1 セクション

9.1.1 セクションを結合する

セクション結合は、複数のセクションを1つのセクションに結合します。

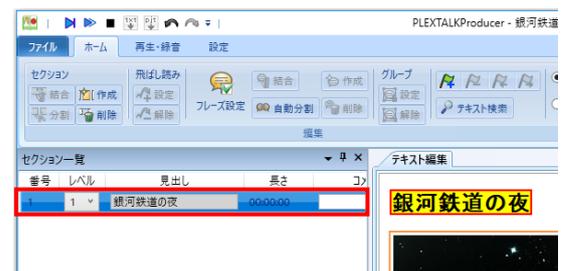
- 1 [セクション一覧] で結合する複数のセクションをクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [セクション] [結合] をクリックします。



- 3 選択したセクションが1つのセクションに結合されます。



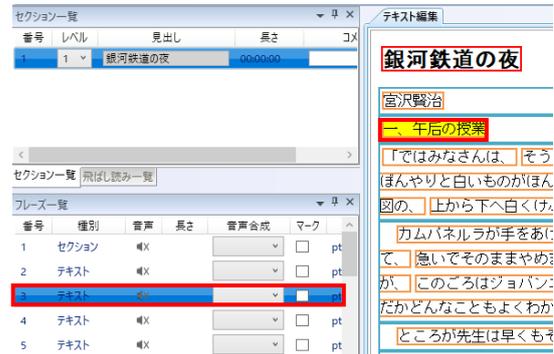
<注意>

- 一度に結合できるセクションは、1000個までです。

9.1.2 セクションを分割する

セクション分割は、選択したフレーズ以降を次のセクションに分割します。

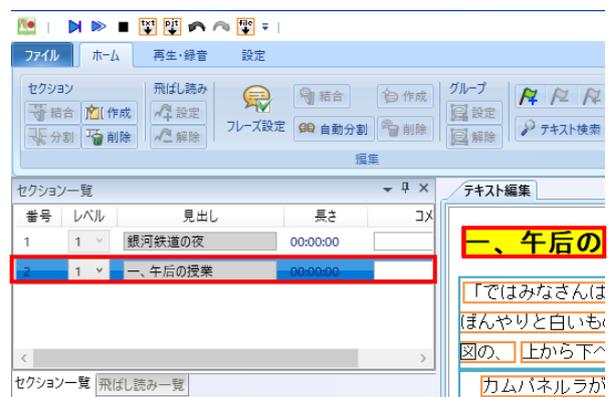
- 1 [フレーズ一覧] で、分割したい位置のフレーズをクリックします。または、[テキスト編集] でフレーズをクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [セクション] [分割] をクリックします。



- 3 選択したフレーズから次のセクションとなります。



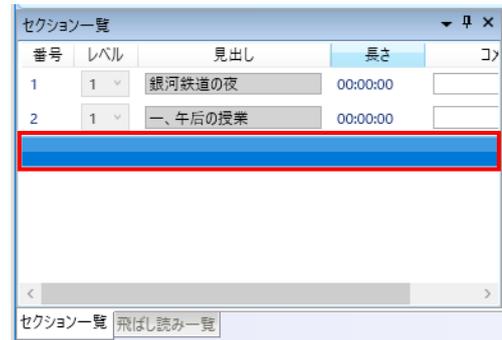
<注意>

- 飛ばし読みやグループが設定されている箇所では、分割できません。

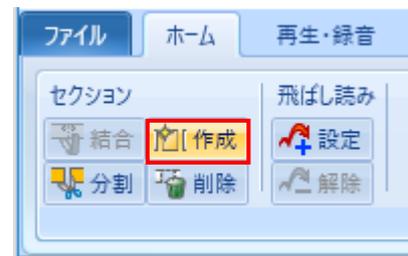
9.1.3 セクションを作成する

セクション作成は、選択しているセクションの前に新しいセクションを作成します。

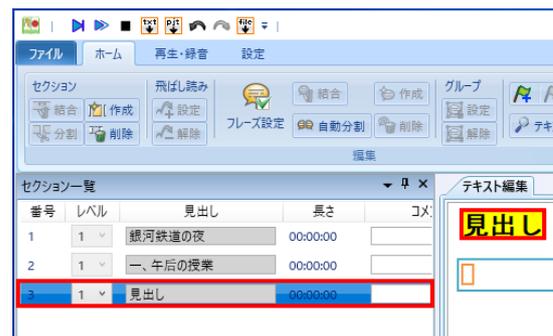
- 1 [セクション一覧] で作成する位置の次のセクションをクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [セクション] [作成] をクリックします。



- 3 新しいセクションが作成されます。



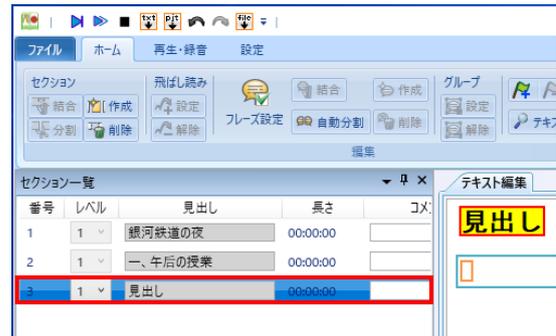
<ポイント>

- テキストインポートでテキストを取り込むごとにセクションが作成されます。
【8章 1 テキストを取り込む (テキストファイルから取り込む) 参照】
- 最後に作成する場合は末尾の空セクションを選択します。
- コメントを記述することで、作成したセクションの見直しなどに活用できます。

9.1.4 セクションを削除する

セクション削除は、選択しているセクションを削除します。

- 1 [セクション一覧] で削除するセクションをクリックします。



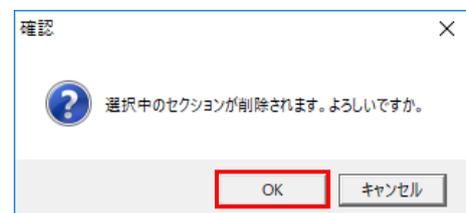
<ポイント>

- 複数のセクションを選択することで、まとめて削除が行えます。

- 2 リボン [ホーム] の [セクション] [削除] をクリックします。



- 3 確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックすると、選択したセクションが削除されます。



<注意>

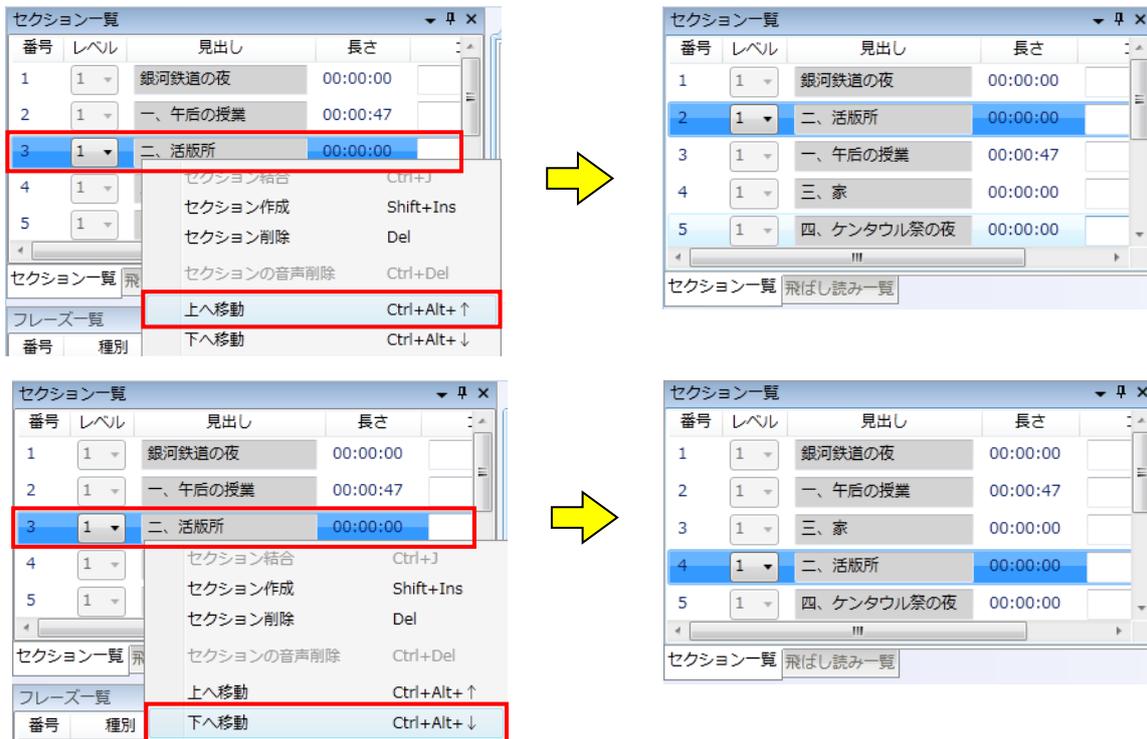
- 一度に削除できるセクションは、1000 個までです。

9.1.5 セクションを移動する

セクション移動は、セクションの再生順序を変更します。

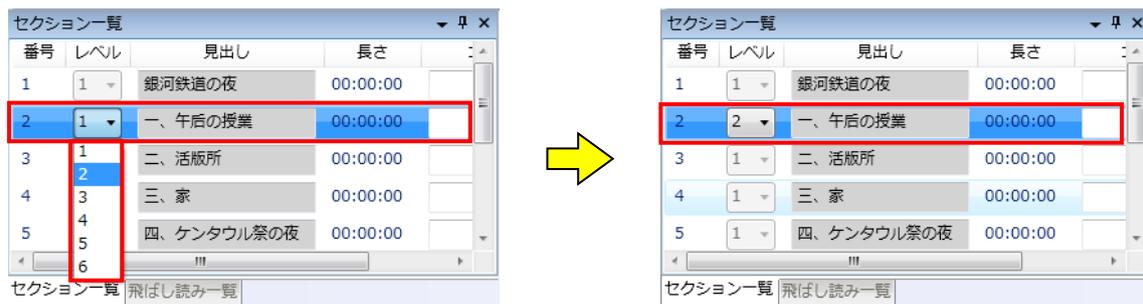
- 1 [セクション一覧] で、移動するセクションをクリックします。

- 右クリックで表示されるメニューを開き、[上に移動] もしくは [下に移動] をクリックします。



9.1.6 セクションのレベルを変更する

- [セクション一覧] で、レベルを変更するセクションをクリックします。
- [レベル] の中からレベルを選択します。



<注意>

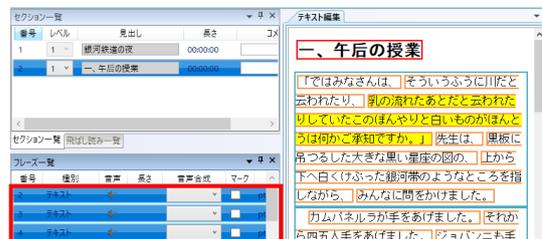
- レベルを飛ばして設定（レベル 1 の後にレベル 3 等）を行うと、ビルドブック時にエラーとなりビルドブックが行えません。

9章2 フレーズ

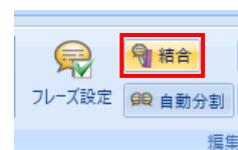
9.2.1 フレーズを結合する

フレーズ結合は、複数のフレーズを1つのフレーズに結合します。

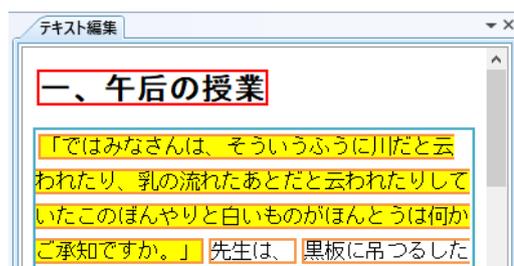
- 1 [フレーズ一覧] で結合する複数のフレーズをクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [編集] [結合] をクリックします。



- 3 選択したフレーズが1つのフレーズに結合されます。



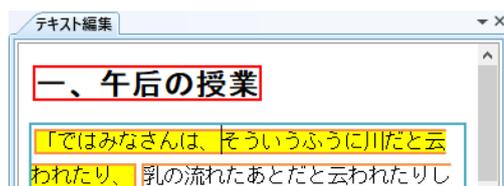
<注意>

- 音声を設定されている場合、結合するフレーズの音声が続いていない場合は行えません。その際には、クリーンアップを行ってください。
【12章 クリーンアップ 参照】

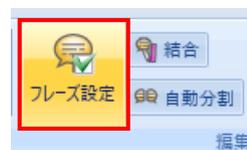
9.2.2 フレーズを分割する

9.2.2.1 カーソルの位置で分割する

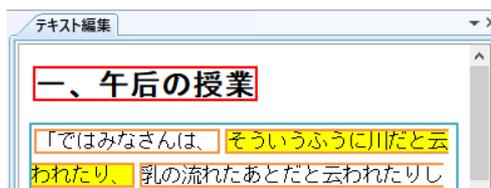
- 1 [テキスト編集] で分割する位置をクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [編集] [フレーズ設定] をクリックします。

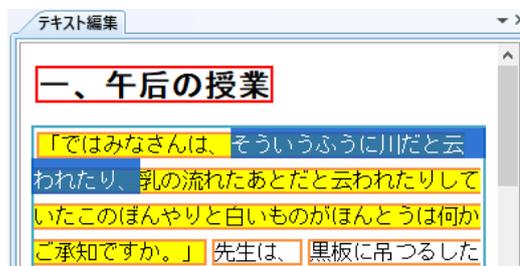


- 3 カーソルの位置で2つのフレーズに分割されます。



9.2.2.2 選択した範囲で分割する

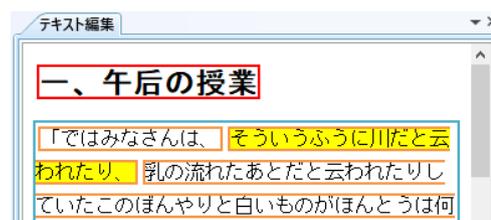
- 1 [テキスト編集] でフレーズの長さとする範囲を選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [編集] [フレーズ設定] をクリックします。



- 3 選択した範囲でフレーズが設定されます。



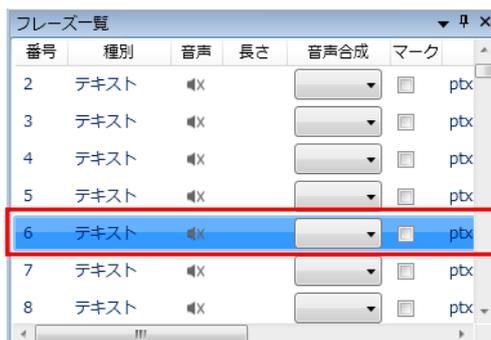
<注意>

- ルビが設定されている箇所では、フレーズ設定は行えません。ルビを解除してからフレーズ設定を行ってください。

9.2.3 フレーズを作成する

フレーズ作成は、選択しているフレーズの前に新しいフレーズを作成します。

- 1 [フレーズ一覧] で作成する位置の次のフレーズをクリックします。



2 リボン [ホーム] の [編集] [作成] をクリックします。



3 新しいフレーズが作成されます。

り、乳の流れたあとだと云われたりしていたこのほんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」先生は、フレーズ 黒板に吊つるした大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなところを指しながら、

<ポイント>

- 最後に作成する場合は、末尾の空フレーズを選択します。
- コメントを記述することで、作成したフレーズの見直しなどに活用できます。
- 音声の入っていないフレーズは、ビルドブック時に自動で [無音(短)] を設定します。

<注意>

- 記号 (カッコ等) のみのフレーズは、音声合成で読み上げが出来ない場合があります。音声付きの DAISY や EPUB を出力する場合は、[フレーズ一覧] で [音声合成] の設定を [無音(短)] ・ [無音(長)] にするか、音声インポートや録音を利用してフレーズに音声を割り当ててください。

9.2.4 フレーズを削除する

フレーズ削除は、選択しているフレーズを削除します。

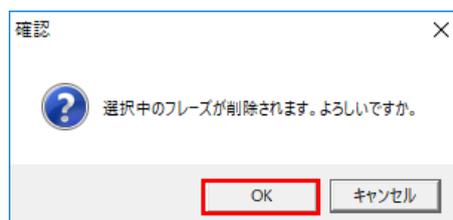
1 [フレーズ一覧] で削除するフレーズをクリックします。

番号	種別	音声	長さ	音声合成	マーク
2	テキスト	🔊			ptx
3	テキスト	🔊			ptx
4	テキスト	🔊			ptx
5	テキスト	🔊			ptx
6	テキスト	🔊			ptx
7	テキスト	🔊			ptx
8	テキスト	🔊			ptx

2 リボン [ホーム] の [編集] [削除] をクリックします。



- 3 確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックすると、選択したフレーズが削除されます。



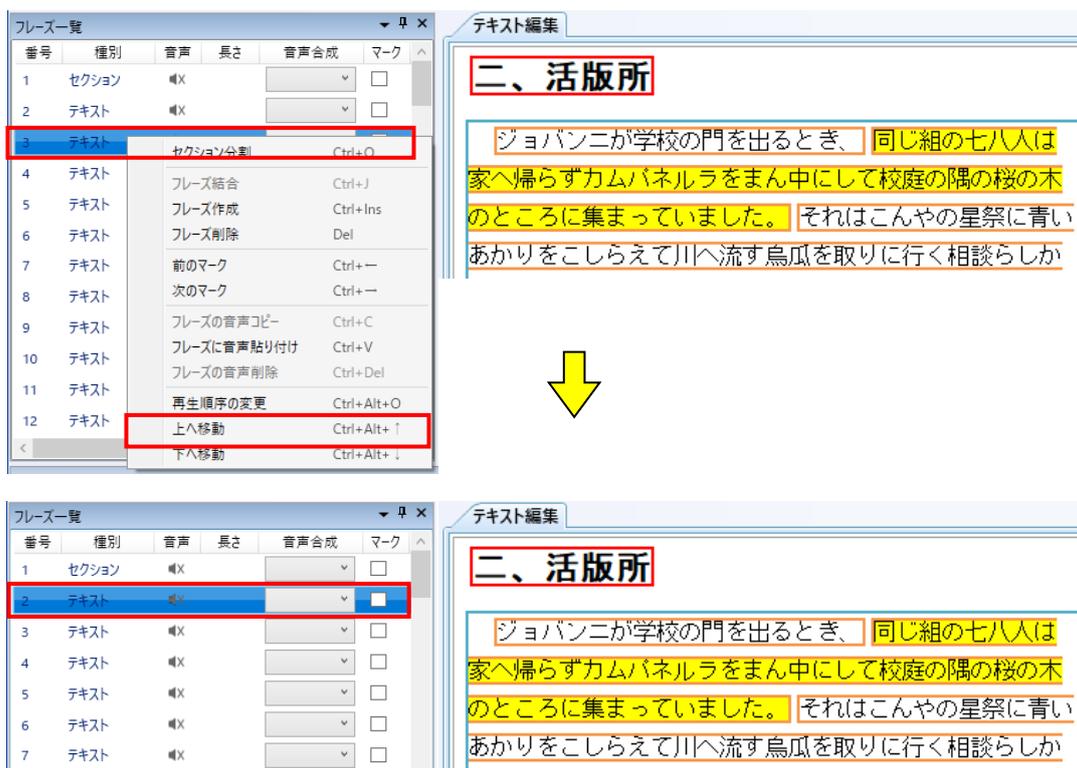
<注意>

- テキスト編集画面では、複数のフレーズを選択しての削除は行えません。
- 一度に削除できるフレーズは、1000 個までです。

9.2.5 フレーズを移動する

フレーズ移動は、フレーズの再生順序を変更します。

- 1 [フレーズ一覧] で、移動するフレーズをクリックで選択します。
- 2 右クリックで表示されるメニューを開き、[上に移動] もしくは [下に移動] をクリックします。



<ポイント>

- 表を列方向に再生させたいときなどに活用できます。

<注意>

- フレーズ移動は再生順序の変更となり、テキストの順序は変更されません。

9.2.6 フレーズの再生順序を変更する

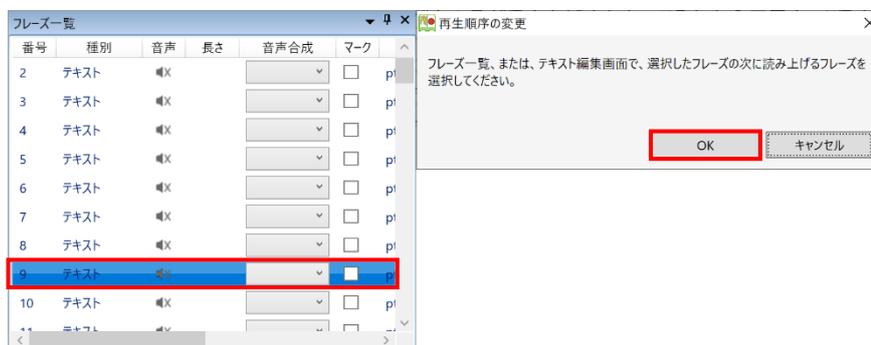
- 1 [フレーズ一覧] でフレーズをクリックします。



- 2 右クリックで表示されるメニューを開き、[再生順序の変更] をクリックします。



- 3 [フレーズ一覧] で次に再生するフレーズをクリックします。[OK] をクリックすると、先に選択したフレーズの次に再生されます。



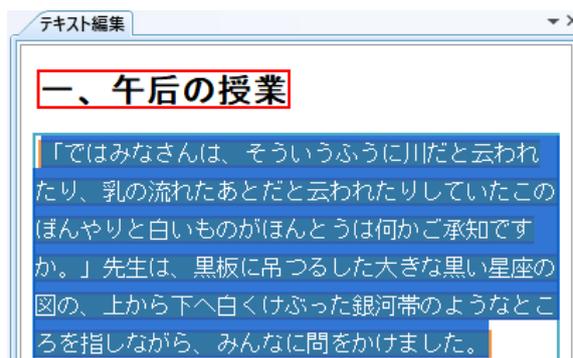
<ポイント>

- 隣り合っていないフレーズの再生順序を変更する際に活用できます。
- 先に選択したフレーズが注釈（注番号）の場合、次に再生するフレーズを注釈に変更することができます。

9.2.7 フレーズの長さを再設定する

フレーズ自動分割は、選択した範囲を再度区切り文字を指定して区切り直します。

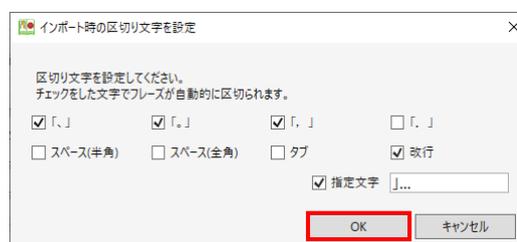
- 1 [テキスト編集] で自動分割する範囲を選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [編集] [自動分割] をクリックします。



- 3 [区切り文字を設定] が表示されますので、区切り文字を設定し、[OK] をクリックします。



9章3 テキスト編集

ここではテキスト編集画面でのテキスト編集に関して説明します。

外部からテキストを取り込む方法に関しては【8章 テキストの取り込み】を参照してください。

9.3.1 文字を入力する

- 1 [テキスト編集] で文字を入力すると、カーソルの位置に挿入します。



<ポイント>

- テキスト編集時は、フレーズ枠を表示することでフレーズを選択せずに、フレーズの範囲が確認できます。

【16章2表示設定参照】

<注意>

- フレーズの先頭には文字の挿入ができません。但し、段落・改行後などの最初のフレーズには入力ができます。



- フレーズの先頭に文字を挿入する場合は、最初にひとつ前のフレーズに文字を挿入してから、フレーズ設定でフレーズの長さを変更します。

9.3.2 文字を削除する

- 1 [テキスト編集] で文字を削除すると、カーソルの後ろの文字 (Delete キー) もしくは前の文字 (Backspace キー) を削除します。

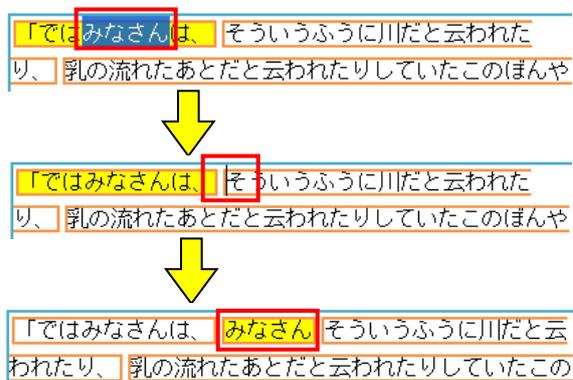
<注意>

- 見出しは、すべての文字を削除することはできません。

9.3.3 文字をコピー／切り取り／貼り付けする（選択フレーズの前）

[テキスト編集] で選択範囲の文字列のコピーや切り取り、または選択フレーズの前に貼り付けをします。

- 1 [テキスト編集] で選択範囲の文字列をコピーまたは切り取りします。
- 2 コピーまたは切り取りをした文字列を選択フレーズの前に貼り付けます。



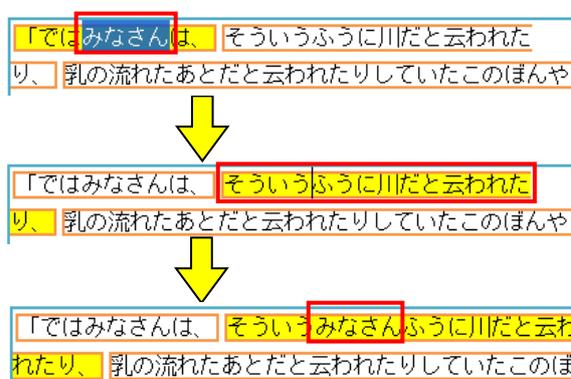
<ポイント>

- 貼り付けの位置を選択フレーズの前からカーソル位置に変更することができます。
【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】
- [テキスト編集] でコピーや切り取りをして貼り付けた場合、ルビ、スタイル、フレーズ情報（音声の情報など）が保持されます。

9.3.4 文字をコピー／切り取り／貼り付けする（カーソル位置）

[テキスト編集] で選択範囲の文字列のコピーや切り取り、またはカーソル位置に貼り付けをします。

- 1 [テキスト編集] で選択範囲の文字列をコピーまたは切り取りします。
- 2 コピーまたは切り取りをした文字列をカーソル位置に貼り付けます。



<ポイント>

- 貼り付けの位置をカーソル位置から選択フレーズの前に変更することができます。
【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】
- [テキスト編集] でコピーや切り取りをして貼り付けた場合、ルビ、スタイル、フレーズ情報（音声の情報など）が保持されます。

<注意>

- カーソル位置にクリップボードの内容を貼り付けできない場合、貼り付け位置は選択フレーズの前に変更されます。

9.3.5 改行を挿入する

- 1 [テキスト編集] で改行 (Enter キー) を挿入します。



9.3.6 段落を設定する

- 1 [テキスト編集] で段落 (Shift+Enter キー) を挿入します。



<注意>

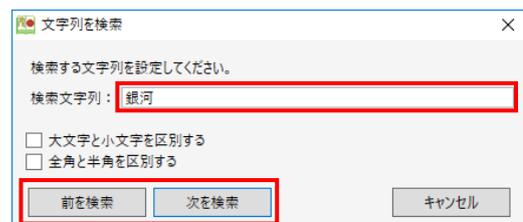
- 改行や段落はフレーズの中では設定できません。

9章4 テキスト検索

テキスト検索は、プロジェクト内の任意の文字列を検索します。

- 1 リボン [ホーム] の [テキスト検索] をクリックします。

- 2 [文字列を検索] が表示されますので、検索文字列に文字列を入力します。



- 3 [前を検索] または [次を検索] をクリックすると現在の位置から検索を開始し、一致する箇所を表示します。

<ポイント>

- プロジェクト内の文字列を検索します。

<注意>

- 画像のキャプション、代替テキスト、表のキャプション、ルビは検索対象に含まれません。

9章5 フォント

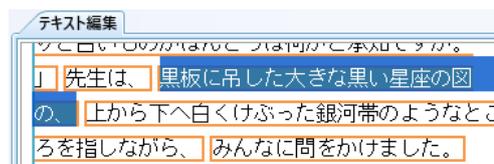
9.5.1 ルビを設定する

- 1 リボン [ホーム] の [フォント] [設定] の [▼] をクリックし、設定内からルビ振り方法を選択します。

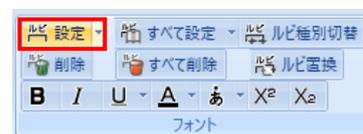


設定項目	説明	初期値
漢字のみに振る	選択範囲の漢字のみにルビを設定します。	漢字かな交じり文に振る
漢字かな交じり文に振る	選択範囲にルビを設定します。	
原本にあるルビに設定	ルビ設定時のルビ種別を原本にあるルビに設定します。 種別を設定することで、ビルドブック時に原本にあるルビのみ出力することができます。	チェックなし
漢字ごとに設定(モノルビ)	1文字ごとにルビを設定します。	チェックなし

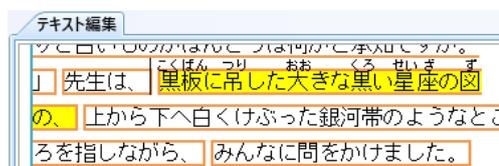
- 2 [テキスト編集] でルビを設定する範囲を選択します。



- 3 リボン [ホーム] の [フォント] [設定] をクリックします。



- 4 設定方法に応じて、ルビが設定されます。

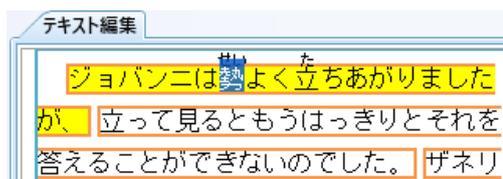


<注意>

- [漢字のみに振る] 場合、漢字が連続していても、単語ごとに区切られてルビが設定される場合があります。その際には [漢字かな交じりに文に振る] で設定するか、音声合成の読み辞書に登録して設定してください。
【10.2.1 音声合成の読み辞書を設定する 参照】

9.5.2 ルビを修正する

- 1 [テキスト編集] でルビを修正する範囲を選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [フォント] [設定] をクリックします。もしくは選択した箇所をダブルクリックします。



- 3 [ルビを設定] が表示されますので、ルビを修正して [OK] をクリックします。



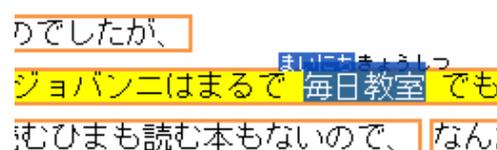
<ポイント>

- [原本にあるルビ] にチェックを入れると、ルビの種別を原本にあるルビに設定できます。
- 入力したルビでプロジェクト内の対象文字列のルビを置換したい場合は、[ルビ置換] をクリックして、設定します。

9.5.3 熟語ルビを設定する

熟語ルビ設定は、複数の熟語が連続する文字にルビを設定する際に、熟語ごとにルビを設定します。

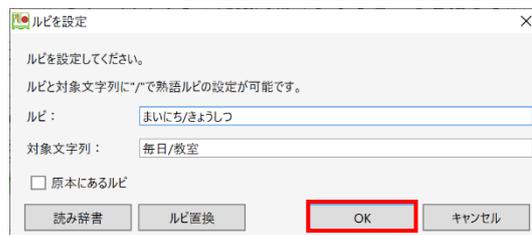
- 1 [テキスト編集] でルビが設定されている範囲を選択します。



2 リボン [ホーム] の [フォント] [設定] をクリックします。



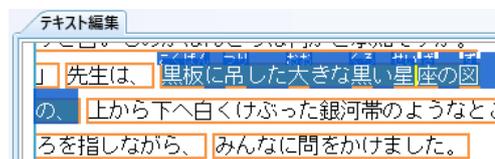
3 [ルビを設定] が表示されますので、ルビと対象文字列で熟語ごとに [/] (半角スラッシュ) で区切り、[OK] をクリックします。



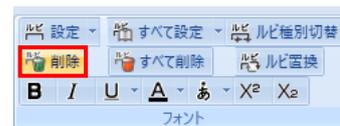
例) [毎日教室] の場合、
 ルビ: [まいにち/きょうしつ]
 対象文字列: [毎日/教室]

9.5.4 ルビを削除する

1 [テキスト編集] でルビを削除する範囲を選択します。



2 リボン [ホーム] の [フォント] [削除] をクリックします。



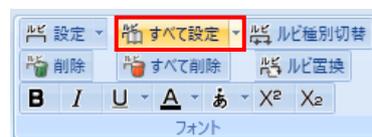
<ポイント>

- 選択範囲内のルビをまとめて削除することができます。

9.5.5 すべての漢字にルビを設定する

プロジェクト内もしくは選択しているセクション内のすべての漢字にルビを設定します。ここでは選択しているセクション内のすべての漢字にルビを設定する方法を例に説明します。

1 リボン [ホーム] の [フォント] [すべて設定] の [▼] をクリックし、設定内から選択しているセクションのみを選択します。



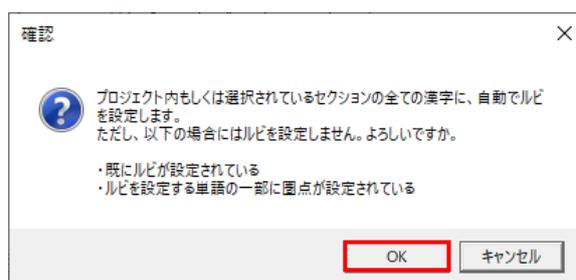
選択項目	説明	初期値
プロジェクト全体	プロジェクト内の全ての漢字にルビを設定します。	プロジェクト全体
選択しているセクションのみ	選択しているセクション内の全ての漢字にルビを設定します。	

- 2 [セクション一覧] でルビを設定するセクションを選択します。



- 3 リボン [ホーム] の [フォント] [すべて設定] をクリックします。

- 4 確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

- プロジェクト全体も同様の手順でルビを設定することができます。

<注意>

- 既にルビが設定されている箇所は上書きされません。
- 圏点が設定されている箇所には設定されません。
- ルビ種別は全てその他ルビとして設定されます。

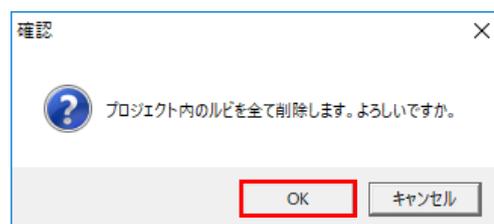
9.5.6 すべてのルビを削除する

プロジェクト内のすべてのルビを削除します。

- 1 リボン [ホーム] の [フォント] [すべて削除] をクリックします。



- 2 確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



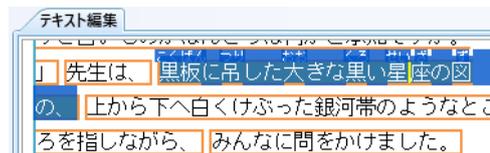
<注意>

- 原本にあるルビを含めて削除されます。

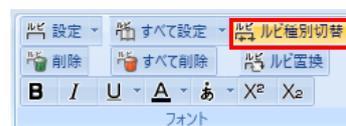
9.5.7 ルビ種別を切り替える

ルビ種別の切り替えをします。

- 1 [テキスト編集] でルビ種別切り替えをする範囲を選択します。

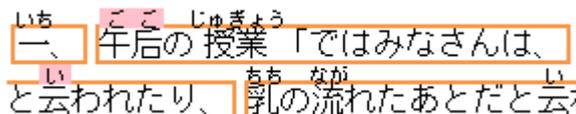


- 2 リボン [ホーム] の [フォント] [ルビ種別切替] をクリックします。



<ポイント>

- 選択範囲にある先頭のルビ種別によって、原本にあるルビとその他ルビに切り替えます。
- 「原本にあるルビ」で設定されたルビの背景色はピンク色になります「その他のルビ」には背景色は付きません。
- ルビの背景色の表示・非表示を切り替えることができます。
【16章2表示設定参照】



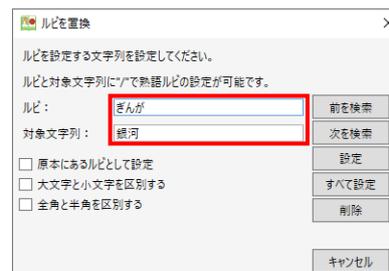
9.5.8 ルビを置換する

ルビ置換は、プロジェクト内の任意の文字列を検索して、ルビを設定します。

- 1 リボン [ホーム] の [フォント] [ルビ置換] をクリックします。



- 2 [ルビを置換] が表示されますので、ルビと対象文字列に文字列を入力します。



- 3 [前を検索] または [次を検索] をクリックすると現在の位置から検索を開始し、一致する箇所を表示します。

り、乳の流れたあとだと云われたりして
り和白いものがほんとうは何かご承知で
は、黒板に吊した大きな黒い星座の図が
けぶった銀河帯のようなところを指しな
をかけた。

- 4 [設定] をクリックすると一致する箇所にルビが設定されます。

- 5 [削除] をクリックすると一致する箇所のルビが削除されます。

<ポイント>

- プロジェクト内の対象文字列のルビをすべて置換したい場合は、[すべて設定] をクリックして、設定します。

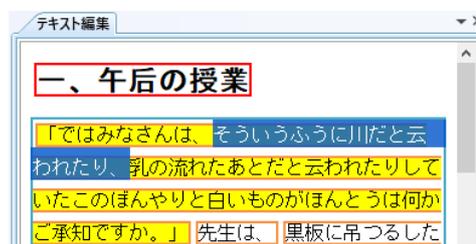
<注意>

- 対象文字列を含んで設定されているルビは削除されて、対象文字列のみルビが設定されます。

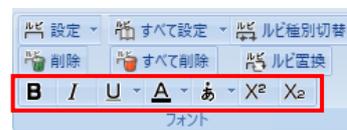
9.5.9 スタイルを設定／解除する

太字、斜体、下線、文字色など様々なスタイルを設定します。

- 1 [テキスト編集] でスタイルを設定する範囲を選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [フォント] に並んでいる各スタイルをクリックします。



- 3 再度リボン [ホーム] の [フォント] に並んでいる各スタイルをクリックすると、スタイルの解除が行えます。

設定項目	説明	初期値
太字 	選択されている文字に太字が設定されます。 銀河帯 銀河帯	—
斜体 	選択されている文字に斜体が設定されます。	—

	銀河帯 銀河帯	
下線 	<p>選択されている文字に下線が設定されます。</p> <p>[▼] をクリックすると以下の下線の種類が選択できます。</p> <p>実線・点線・破線・二重線</p> <p>銀河帯 銀河帯 銀河帯 銀河帯</p>	実線
文字色 	<p>選択されている文字に色が設定されます。</p> <p>[▼] をクリックすると 16 色の中から文字色が選択できます。</p>	黒
圏点 	<p>選択されている文字に圏点が設定されます。</p> <p>[▼] をクリックすると以下の圏点の種類が選択できます。</p> <p>小黒丸・黒丸・ゴマ・二重丸・黒三角</p> <p>銀河帯 銀河帯 銀河帯 銀河帯 銀河帯</p>	小黒丸
上付き 	<p>選択されている文字が上付き文字に設定されます。</p> <p>X^2</p>	—
下付き 	<p>選択されている文字が下付き文字に設定されます。</p> <p>H_2O</p>	—

<ポイント>

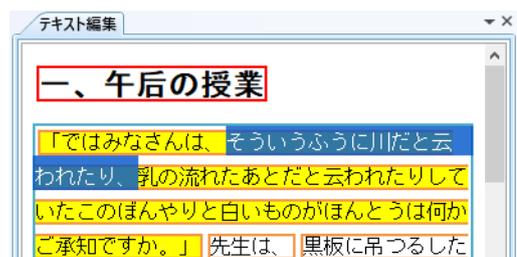
- 様々なスタイルを組み合わせることで設定することができます。
- 選択範囲にある先頭の文字列のスタイルの状態によって、設定、解除されます。

<注意>

- フレーズをまたがってスタイルを設定することはできません。
- ルビと圏点は組み合わせることはできません。
- ルビにはスタイルを設定することはできません。

9.5.10 スタイルをすべて解除する

- 1 [テキスト編集] でスタイルをすべて解除する範囲を選択します。



- 2 右クリックで表示されるメニューを開き、[選択範囲のスタイル解除] をクリックします。

画像の挿入	Ctrl+Shift+Ins
画像の削除	Del
文字列の回り込み解除	Ctrl+E
選択範囲のスタイル解除	Shift+Del
次の段の先頭に設定	Ctrl+Alt+Enter

<注意>

- フレーズをまたがってスタイルを解除することはできません。

9章6 図表

9.6.1 画像を挿入する（既存の画像ファイルを取り込む）

<ポイント>

- 画像は、ハイライトされているフレーズの前に挿入されます。

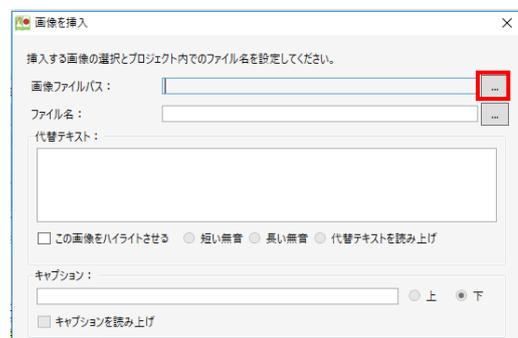
- 1 [フレーズ一覧] もしくは [テキスト編集] で挿入する位置の次のフレーズをクリックします。

先生は、黒板に吊した大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなところを指しながら、みんなに問をかけた。カムパネルラが手をあげました。それから四五人手をあげました。ジョバンニも手をあげよう

- 2 リボン [ホーム] の [図表] [挿入] をクリックします。



- 3 [画像を挿入] が表示されますので、画像ファイルパスの [...] をクリックして、挿入する画像を選択します。

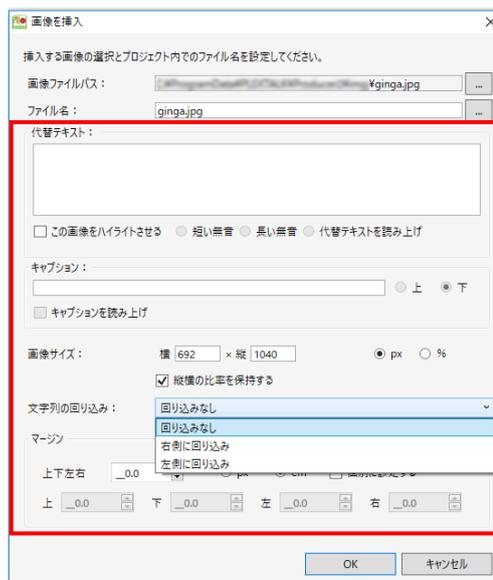


<ポイント>

- 画像ファイル名に指定できる文字は半角英数字のみです。挿入時にファイル名を変更することができます。



- 4 挿入する画像の情報などを設定し、
[OK] をクリックします。



設定項目	説明	
代替テキスト	代替テキストは挿入する画像に説明をつける場合に使用します。	
	この画像をハイライトさせる	代替テキストをフレーズに設定します。フレーズに設定されると他と同様に音声の割り当てが可能になります。 画像ハイライト中に再生する対象を次の項目から選択できます。
	短い無音	音声合成設定の【無音(短)】に設定されている時間分の無音が再生されます。 【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】
	長い無音	音声合成設定の【無音(長)】に設定されている時間分の無音が再生されます。 【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】
	代替テキストを読み上げ	フレーズに設定されている音声合成で代替テキストを読み上げます。
キャプション	画像の図番号や名称を入力します。 キャプションは上もしくは下に配置されます。	

	キャプションを 読み上げ	キャプションをフレーズに設定します。フレーズに設定されると他と同様に音声の割り当てが可能になります。
画像サイズ		画像の表示サイズを変更します。サイズは px（ピクセル）もしくは%（表示領域の拡大縮小率）で指定します。[縦横の比率を保持する]にチェックを入れると、縦横比率を保持したまま画像のサイズを変更します。
文字列の 回り込み		画像にテキストを回り込ませます。[右側に回り込み]で右側にテキストが、[左側に回り込み]で左側にテキストが回り込みます。
マージン		画像周りに余白を設定します。余白の単位は px（ピクセル）か em（文字数）を指定します。[個別に設定する]では、上下左右の余白を個別に設定します。なお、em 指定時は小数のサイズが設定可能です。

<ポイント>

- 既に使用されているファイル名を指定すると、ファイルの上書きができません。
- 画像をコピーして貼り付けすることで、同じ画像の利用ができます。
- 文字列の回り込みは、右クリックで表示されるメニュー [文字列の回り込み解除] により指定のフレーズで解除できます。
- 画像ファイルを本ソフトウェアのメイン画面へドラッグ&ドロップすることで、[画像を挿入] 画面が開きます。
- 簡単取り込みオプションが有効な場合は、[画像を挿入] 画面ではなく、自動でレイアウトツールが起動します。

<注意>

- 挿入可能な画像ファイル形式は、JPEG と PNG 形式となります。
- 画像サイズは表示する大きさを設定しています。元ファイルの画像サイズは変更されませんので、画像挿入後に編集を行ってください。

【9.6.5 画像を編集する 参照】

9.6.2 画像を挿入する（クリップボードを利用する）

クリップボードを利用して画像をプロジェクトに取り込みます。クリップボードを利用するので、Word や PDF などのファイルからも取り込むことができます。

- 1 Word、PDF などを選択範囲の画像をコピーまたは切り取りします。

- 2 [テキスト編集] の貼り付けたい箇所の次のフレーズを選択し、コピーまたは切り取りをした画像を貼り付けます。

<ポイント>

- Word、PDF などからコピーして貼り付けをした際に、[画像を挿入] が表示されて、挿入する画像の情報などが設定できます。

【9.6.3 画像の書式を変更する 参照】

<注意>

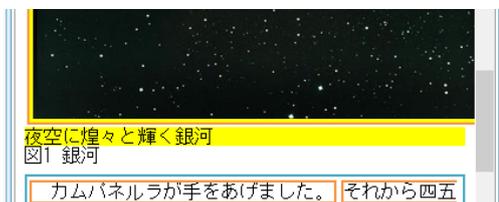
- Word、PDF などからコピーして貼り付けをした場合は、画像の解像度が高くなりすぎないようにしてください。画像の解像度が高すぎると製作したDAISYのファイルサイズが大きくなり、表示上はみ出す場合があります。

【9.6.5 画像を編集する 参照】

9.6.3 画像の書式を変更する

画像の書式変更は、既に挿入されている画像のサイズなどを変更します。

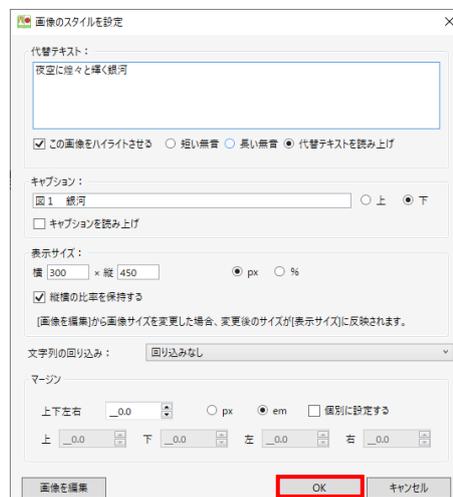
- 1 [テキスト編集] で設定を変更する画像をクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [書式] をクリックします。



- 3 [画像のスタイルを設定] が表示されますので、変更を行い [OK] をクリックします。



9.6.4 画像をコピー／切り取り／貼り付けする

〔テキスト編集〕で選択範囲の画像のコピーや切り取り、貼り付けをします。

- 1 〔テキスト編集〕で選択範囲の画像をコピーまたは切り取りします。

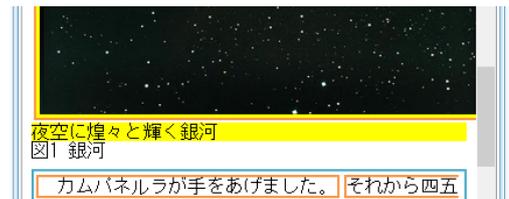


- 2 コピーまたは切り取りした画像を貼り付けます。

9.6.5 画像を編集する

既に挿入されている画像の編集をします。

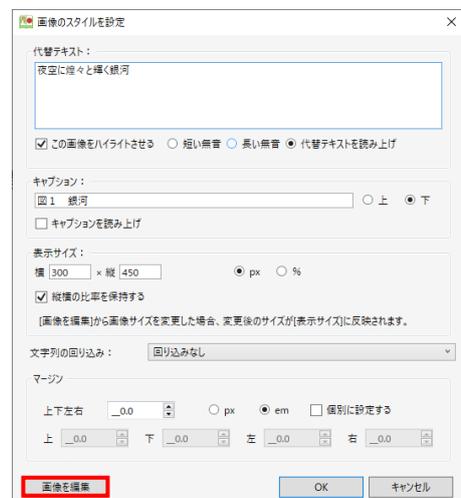
- 1 〔テキスト編集〕で設定を変更する画像をクリックします。



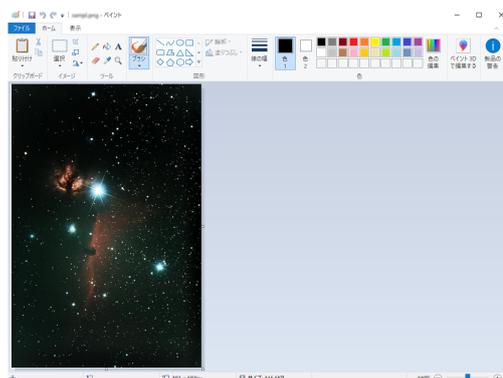
- 2 リボン [ホーム] の [図表] [書式] をクリックします。



- 3 〔画像のスタイルを設定〕が表示されますので、〔画像を編集〕をクリックします。



- 4 Windows のペイントが起動し、画像が表示されますので、編集を行い、上書き保存をして、ペイントを終了します。



<注意>

- ペイントで画像を編集した場合は必ず上書き保存をしてください。

- 5 [画像のスタイルを設定] の [OK] をクリックします。



9.6.6 画像を削除する

- 1 [テキスト編集] で削除する画像をクリックします。

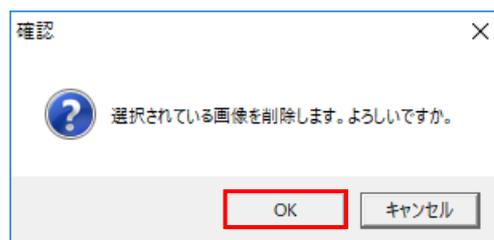


夜空に輝々と輝く銀河
図1 銀河

- 2 リボン [ホーム] の [図表] [削除] をクリックします。



- 3 確認メッセージが表示されますので、
[OK] をクリックします。



9.6.7 画像からの文字化 (オプション)

テキスト編集画面に取り込み済みの画像からテキストを抽出することができます。

【19章 簡単取り込みオプション 参照】

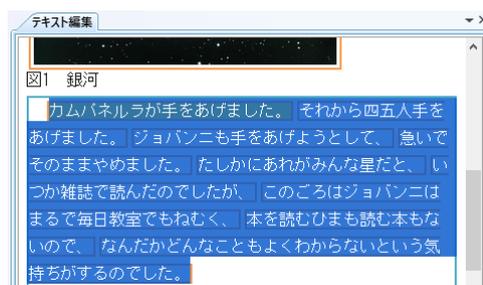


9.6.8 表を挿入する (選択したフレーズから表を作成する)

9.6.8.1 表を挿入する

表挿入は、選択しているフレーズに表を挿入します。

- 1 [テキスト編集] で表を設定するフレーズを選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [表を挿入] の中から、[表を挿入] をクリックします。



- 3 [表を挿入] が表示されますので、挿入する表の行数と列数を入力して、
[OK] をクリックします。



<ポイント>

- 表のセルに対して選択した各フレーズが設定されます。
- 3行3列の表の場合、9個のフレーズとなります。
- 表は行を読んでから次の行を読み上げます。読み上げの順序を変更する場合はフレーズ一覧でフレーズを移動して読み上げ順を変更します。

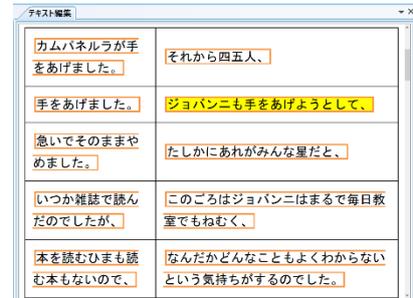
【9.2.5 フレーズを移動する 参照】

【9.2.6 フレーズの再生順序を変更する 参照】

9.6.8.2 表のセルを結合する

選択しているセルを結合します。

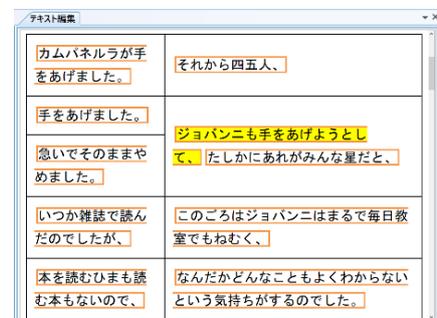
1 [テキスト編集] で結合するセルを選択します。



2 右クリックで表示されるメニューを開き、
[セルを結合] をクリックします。



3 [セルを結合] が表示されますので、結合する表の行数と列数を入力して、
[OK] をクリックします。



<ポイント>

- 入力された数値が実際の行列数を超える場合は最後の行や列までが結合されます。
- セルの結合は、右クリックで表示されるメニュー [セルの結合を解除] により解除できます。

9.6.8.3 表に行を挿入する

行挿入は、選択しているセルの上に行を挿入します。

- 1 [テキスト編集] で行を挿入する下のセルをクリックし、リボン [ホーム] の [図表] [表を挿入] の中から [行を挿入] をクリックします。



9.6.8.4 表に列を挿入する

列挿入は、選択しているセルの左に列を挿入します。

- 1 列を挿入する右のセルをクリックし、リボン [ホーム] の [図表] [表を挿入] の中から [列を挿入] をクリックします。



9.6.9 表を挿入する（クリップボードを利用する）

クリップボードを利用して表をプロジェクトに取り込みます。クリップボードを利用するので、Excel や Word などのファイルからも表を取り込むことができます。

- 1 Excel、Word などを選択範囲の表をコピーまたは切り取りします。
- 2 [テキスト編集] でコピーまたは切り取りをした表を貼り付けます。

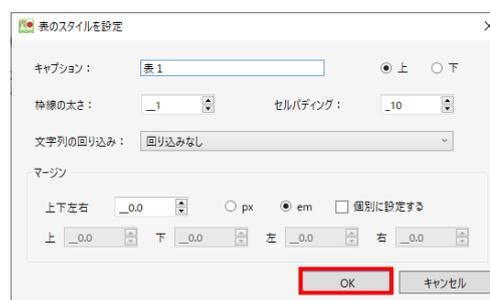
9.6.10 表の書式を変更する

表の書式変更は、既に挿入されている表の枠線などを変更します。

- 1 設定を変更する表のセルをクリックします。
- 2 リボン [ホーム] の [図表] [表の書式] をクリックします。



- 3 [表のスタイルを設定] が表示されますので、変更を行い [OK] をクリックします。



設定項目	説明
キャプション	表の図番号や名称を入力します。 キャプションは [上] もしくは [下] に配置されます。
枠線の太さ	枠線の太さは、0～999 の範囲で設定します。
セルパディング	枠内の余白を設定します。0～999 の範囲で設定します。
文字列の回りこみ	表にテキストを回り込ませます。[右側に回り込み] で右側にテキストが、

	[左側に回り込み] で左側にテキストが回り込みます。
マージン	表の周りに余白を設定します。0～999 の範囲で設定します。 余白の単位は px (ピクセル) か em (文字数) を指定します。[個別に設定する] では、上下左右の余白を個別に設定します。

<ポイント>

- 文字列の回り込みは、右クリックで表示されるメニュー [文字列の回り込み解除] により指定のフレーズで解除できます。

9.6.11 表をコピー／切り取り／貼り付けする

[テキスト編集] で選択範囲の表のコピーや切り取り、貼り付けをします。

- 1 [テキスト編集] で選択範囲の表をコピーまたは切り取りします。



- 2 コピーまたは切り取りした表を貼り付けます。

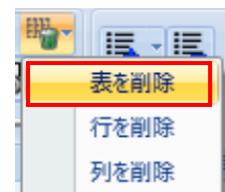
<ポイント>

- [テキスト編集] でセルをまたがって範囲選択した場合は、表全体がコピーまたは切り取られ、貼り付けされます。

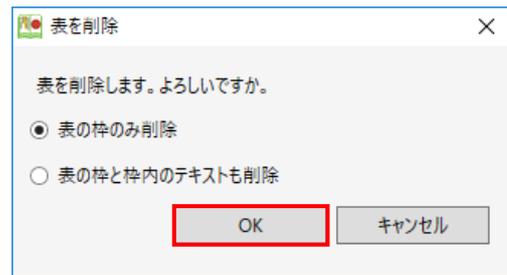
9.6.12 表を削除する

9.6.12.1 表を削除する

- 1 [テキスト編集] で削除する表のセルをクリックします。
- 2 リボン [ホーム] の [図表] [表を削除] の中から [表を削除] をクリックします。



- 3 [表を削除] が表示されますので、項目を選択し [OK] をクリックします。



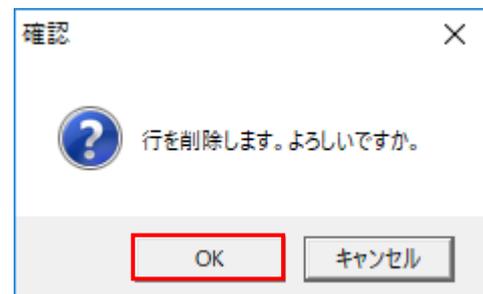
設定項目	説明
表の枠のみ削除	表の枠のみが削除され、表の中のテキストは削除されません。
表の枠と枠内のテキストも削除	表の枠と枠中のテキストの両方が削除されます。

9.6.12.2 表の行を削除する

- 1 [テキスト編集] で削除する行のセルをクリックします。
- 2 リボン [ホーム] の [図表] [表の削除] の中から [行を削除] をクリックします。

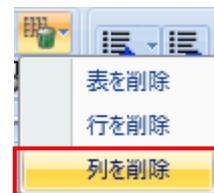


- 3 確認メッセージが表示されますので、 [OK] をクリックします。

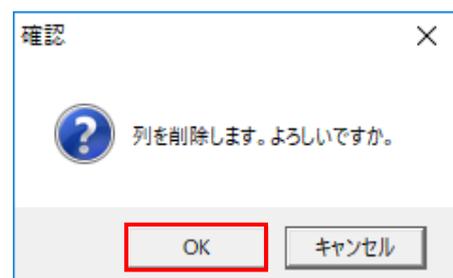


9.6.12.3 表の列を削除する

- 1 [テキスト編集] で削除する行のセルをクリックします。
- 2 リボン [ホーム] の [図表] [表の削除] の中から [列を削除] をクリックします。



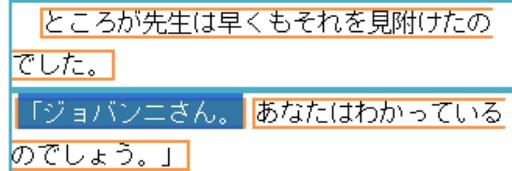
- 3 確認メッセージが表示されますので、 [OK] をクリックします。



9.6.13 枠を挿入する（選択したフレーズから枠を挿入する）

選択しているフレーズを枠で囲みます。

- 1 [テキスト編集] で枠を挿入するフレーズを選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [枠を挿入] をクリックします。



<ポイント>

- 複数のフレーズや画像を選択して、枠を挿入することもできます。

9.6.14 枠を挿入する（クリップボードを利用する）

クリップボードを利用して Word から枠を挿入します。

- 1 Word で選択範囲の枠をコピーまたは切り取りします。
- 2 [テキスト編集] でコピーまたは切り取りをした枠を貼り付けます。

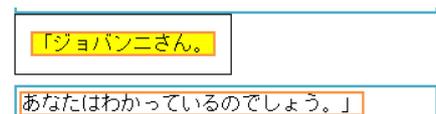
<注意>

- Word などからの枠の貼り付けは、1行1列の表として貼り付けられます。
- 書式の変更や削除は表の設定にて行ってください。
【9.6.10 表の書式を変更する 参照】
【9.6.12 表を削除する 参照】

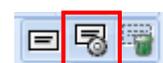
9.6.15 枠の書式を変更する

枠の書式変更は、既に挿入されている枠の枠線などを変更します。

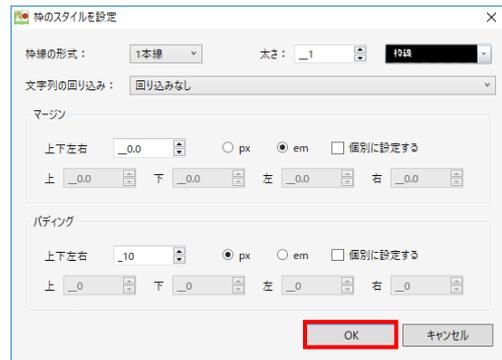
- 1 [テキスト編集] で設定を変更する枠をクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [枠を設定] をクリックします。



- 3 [枠のスタイルを設定] が表示されますので、変更を行い [OK] をクリックします。



設定項目	説明
枠線の形式	枠線の線種を設定します。線種は、1本線、2本線、破線、点線の4種類の中から選択します。
太さ	枠線の太さを設定します。枠線は0～999の範囲で設定します。
枠線の色	枠線色を設定します。16色の中から指定します。
文字の回り込み	枠にテキストを回り込ませます。[右側に回り込み]で右側にテキストが、[左側に回り込み]で左側にテキストが回り込みます。
マージン	枠周りに余白を設定します。0～999の範囲で設定します。余白の単位はpx(ピクセル)かem(文字数)を指定します。[個別に設定する]では、上下左右の余白を個別に設定します。
パディング	枠内の余白を設定します。0～999の範囲で設定します。余白の単位はpx(ピクセル)かem(文字数)を指定します。[個別に設定する]では、上下左右の余白を個別に設定します。

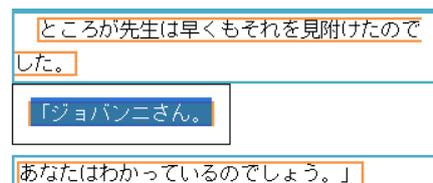
<ポイント>

- 文字列の回り込みは、右クリックで表示されるメニュー [文字列の回り込み解除] により指定のフレーズで解除できます。

9.6.16 枠をコピー／切り取り／貼り付けする

[テキスト編集] で選択範囲の枠のコピーや切り取り、貼り付けをします。

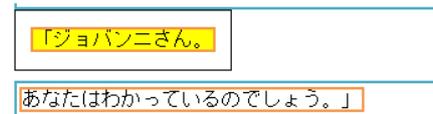
- 1 [テキスト編集] で選択範囲の枠をコピーまたは切り取りします。



- 2 コピーまたは切り取りした枠を貼り付けます。

9.6.17 枠を削除する

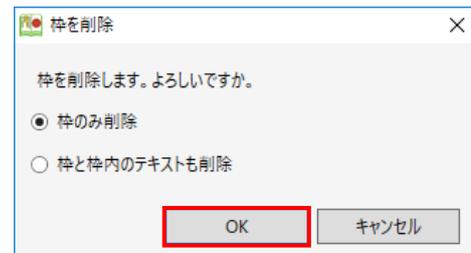
- 1 [テキスト編集] で削除する枠に含まれるフレーズをクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [枠の削除] をクリックします。



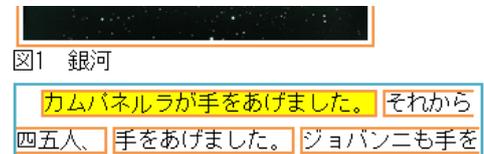
- 3 [枠を削除] が表示されますので、項目を選択し [OK] をクリックします。



設定項目	説明
枠のみ削除	枠のみが削除され、枠の中のテキストは削除されません。
枠と枠内のテキストも削除	枠と枠中のテキストの両方が削除されます。

9.6.18 区切り線を挿入する

- 1 [テキスト編集] で挿入する位置の次のフレーズをクリックします。

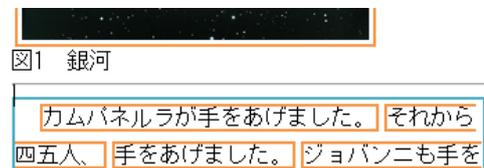


- 2 リボン [ホーム] の [図表] [区切り線を挿入] をクリックします。



9.6.19 区切り線を削除する

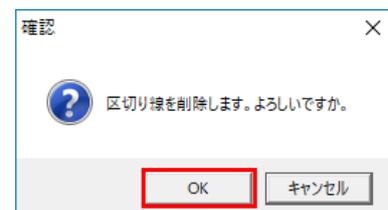
- 1 [テキスト編集] で削除する区切り線をクリックで選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [区切り線を削除] をクリックします。



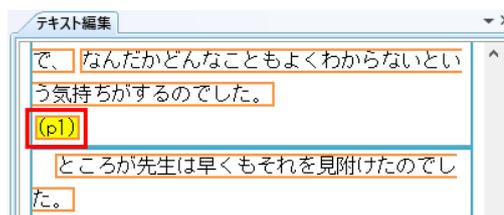
- 3 確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



9章7 飛ばし読み（ページなど）

9.7.1 飛ばし読みを設定する

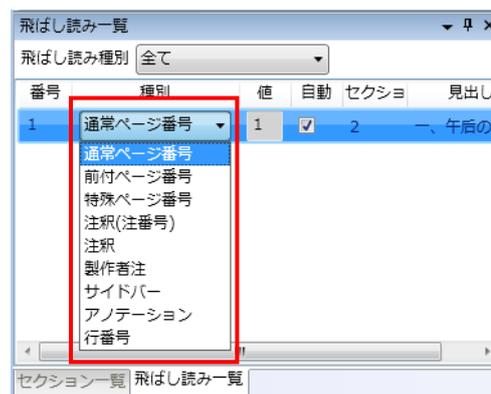
1 飛ばし読みを設定するフレーズを [テキスト編集]、もしくは [フレーズ一覧] でクリックします。



2 リボン [ホーム] の [飛ばし読み] [設定] をクリックします。



3 [飛ばし読み一覧] の [種別] [▼] をクリックし、設定内から飛ばし読みの種別を選択します。



飛ばし読み種別	説明
通常ページ番号	本文に付けられる通常のページ番号
前付ページ番号	本の扉、口絵等、通常ページの前に付けられているページ番号
特殊ページ番号	索引などにつけられている本文とは違う設定のページ番号
注釈（注番号）	「注釈」に対する注番号
注釈	主に、本文内の語句に対して付けられている注
製作者注	製作者が挿入した本文には存在しない注
サイドバー	主に、原本でページの左右にある注釈・補足・コラムなど
アノテーション	注釈・サイドバー以外の注・補足など
行番号	原本に付けられている行番号

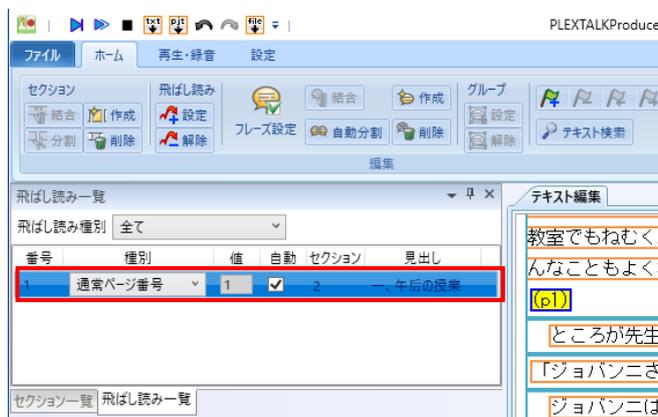
<ポイント>

- 通常ページ番号は自動で 1 から設定されます。

- 通常ページ番号を飛ばして設定する場合は、[自動] を解除して番号を設定します。それ以降は自動で設定されます。

9.7.2 飛ばし読みを解除する

- 1 飛ばし読みを解除するフレーズを [飛ばし読み一覧]、もしくは [テキスト編集] でクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [飛ばし読み] [解除] をクリックします。



9章8 グループ

9.8.1 グループを設定する

- 1 グループを設定するフレーズを [テキスト編集]、もしくは [フレーズ一覧] でクリックします。

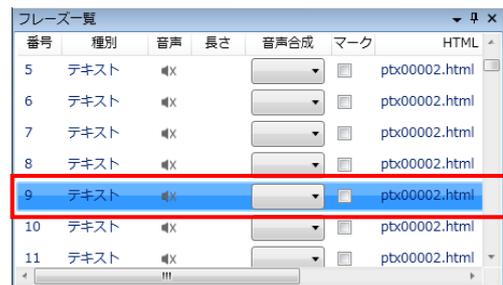


- 2 リボン [ホーム] の [グループ] [設定] をクリックします。



9.8.2 グループを解除する

- 1 グループを解除するフレーズを [テキスト編集]、もしくは [フレーズ一覧] でクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [グループ] [解除] をクリックします。



9章9 マーク

9.9.1 マークを設定する

- 1 マークを設定するフレーズを [テキスト編集]、もしくは [フレーズ一覧] でクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [マーク設定] をクリックします。もしくは [フレーズ一覧] の [マーク] をクリックします。



9.9.2 マークを削除する

- 1 マークを削除するフレーズを [テキスト編集]、もしくは [フレーズ一覧] でクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [マーク削除] をクリックします。もしくは [フレーズ一覧] の [マーク] をクリックします。



9.9.3 マークに移動する

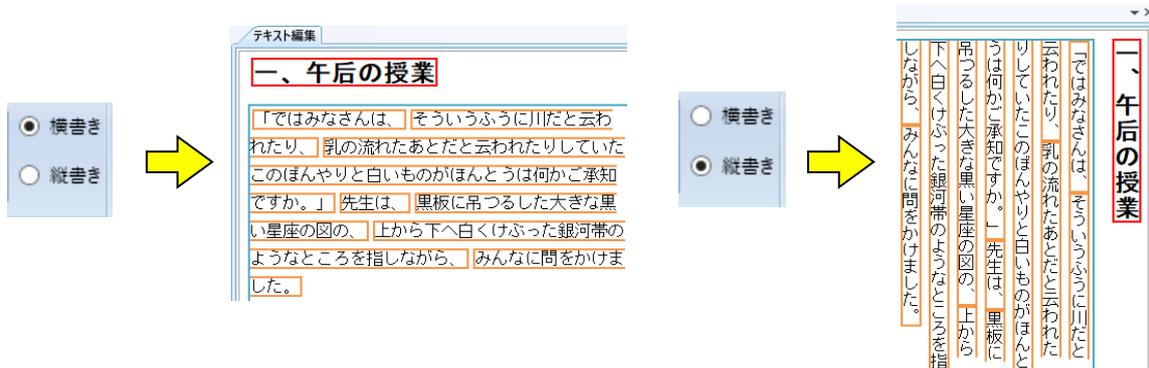
マークへの移動は、現在選択されているフレーズの直近でマークが設定されているフレーズに移動します。

- 1 [ホーム] の [前のマークへ] もしくは、 [次のマークへ] をクリックします。



9章10 縦書き・横書き

- 1 リボン [ホーム] の [縦書き]、[横書き] をクリックします。



<ポイント>

- セクションごとに縦書き・横書きの設定ができます。
- [セクション一覧] で複数のセクションを選択して設定ができます。

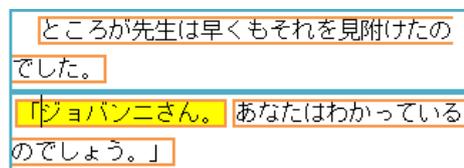
<注意>

- 縦書き表示時はテキスト編集画面にマウスカーソルが表示されません。
- 同一セクション内に、縦書きと横書きを混在することはできません。

9章11 段落

9.11.1 箇条書きを設定／解除する

- 1 [テキスト編集] で箇条書きを設定するフレーズをクリックします。

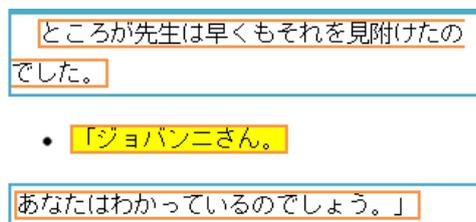


- 2 リボン [ホーム] の [段落] [箇条書きを設定] [▼] をクリックし、設定内から行頭文字を選択します。

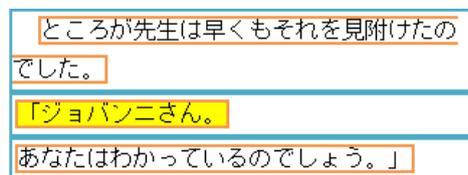


設定項目	説明	初期値
なし	行頭文字なし。	なし
●黒丸	箇条書きの行頭文字が黒丸になります。	
■四角	箇条書きの行頭文字が黒四角になります。	
○白丸	箇条書きの行頭文字が白抜き丸になります。	

- 3 リボン [ホーム] の [段落] [箇条書き設定] をクリックすると、箇条書きが設定されます。



- 4 リボン [ホーム] の [段落] [箇条書き解除] をクリックすると、箇条書きが解除されます。

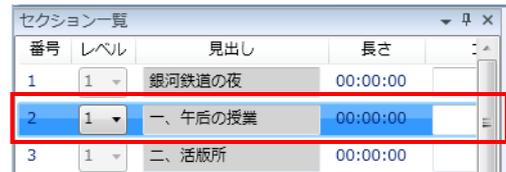


<注意>

- 箇条書きは 1 階層のみ設定が可能です。

9.11.2 段組を設定／解除する

- 1 [セクション一覧] で段組を設定するセクションをクリックします。

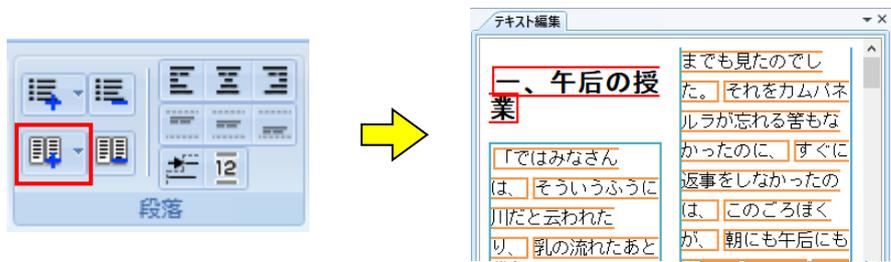


番号	レベル	見出し	長さ
1	1	銀河鉄道の夜	00:00:00
2	1	一、午後の授業	00:00:00
3	1	二、活版所	00:00:00

- 2 リボン [ホーム] の [段落] [段組を設定] [▼] をクリックし、設定内から段数を選択します。



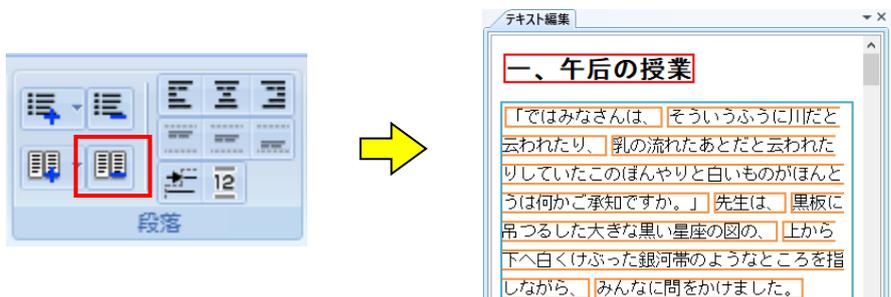
- 3 リボン [ホーム] の [段落] [段組を設定] をクリックすると、段組が設定されます。



<ポイント>

- 右クリックで表示されるメニュー [次の段の先頭に設定] により指定のフレーズを次の段の先頭に設定できます。

- 4 リボン [ホーム] の [段落] [段組を解除] をクリックすると、段組が解除されます。



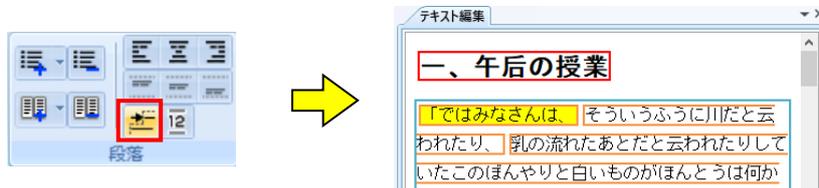
9.11.3 文字揃えを設定／解除する

- 1 横書きの場合は [左揃え]、[中央揃え]、[右揃え] のいずれかを、縦書きの場合は [上揃え]、[中央揃え]、[下揃え] のいずれかをクリックします。

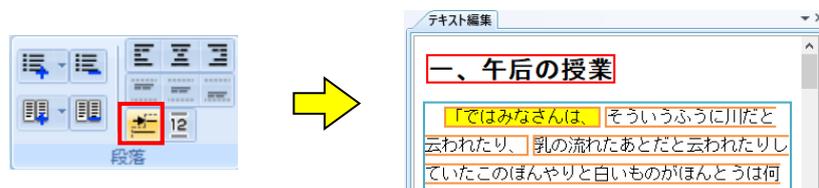
文字方向	文字揃え設定	説明
横書き	 左揃え	<p>フレーズを左に揃えます。</p> <p>ジョバンニは勢よく立ちあがりましたが、 立って見るともうはっきりとそれを答えることができないのでした。 ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすすとわらいました。ジョバンニはもうど</p>
	 中央揃え	<p>フレーズを中央に揃えます。</p> <p>ジョバンニは勢よく立ちあがりましたが、 立って見るともうはっきりとそれを答えることができないのでした。 ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすすとわらいました。ジョバンニ</p>
	 右揃え	<p>フレーズを右に揃えます。</p> <p>ジョバンニは勢よく立ちあがりましたが、 立って見るともうはっきりとそれを答えることができないのでした。 ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすすとわらいました。ジョバンニ</p>
縦書き	 上揃え	<p>フレーズを上揃えます。</p> <p>「あなたは何がわかってい るのでしょうか。」 ん。 「ジョバンニさ ん。 「ところが先生は早 くもそれを見附けた のでした。」</p>
	 中央揃え	<p>フレーズを中央に揃えます。</p> <p>「あなたは何がわかってい るのでしょうか。」 ん。 「ジョバンニさ ん。 「ところが先生は早 くもそれを見附けた のでした。」</p>
	 下揃え	<p>フレーズを下揃えます。</p> <p>「あなたは何がわかってい るのでしょうか。」 ん。 「ジョバンニさ ん。 「ところが先生は早 くもそれを見附けた のでした。」</p>

9.11.4 字下げを設定／解除する

- 1 [テキスト編集] で字下げをする段落内のフレーズをクリックします。
- 2 リボン [ホーム] の [段落] [字下げ] をクリックします。



- 3 再度、リボン [ホーム] の [段落] [字下げ] をクリックすると解除されます。



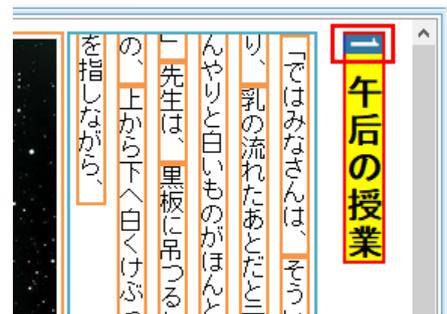
<ポイント>

- 字下げは段落内の先頭フレーズに設定されます。
- 字下げは段落ごとに設定できます。【9.3.6 段落を設定する 参照】

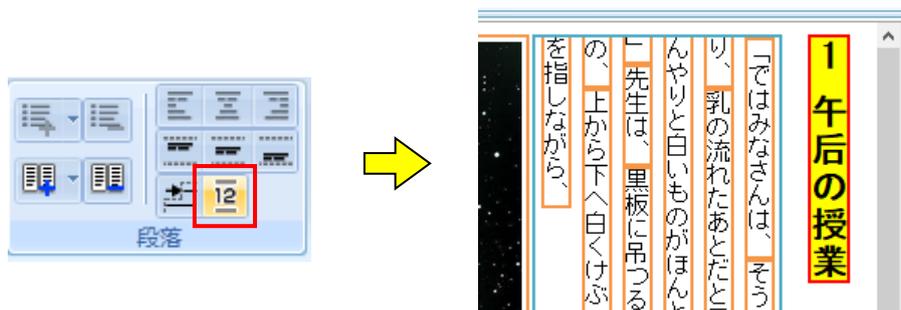
9.11.5 縦中横を設定／解除する

縦中横は、縦書きの文章で数字やアルファベットなどを横向きに表示します。

- 1 [テキスト編集] で縦中横表示する範囲を選択します。



- 2 リボン [ホーム] の [段落] [縦中横] をクリックします。



3 再度、リボン [ホーム] の [段落] [縦中横] をクリックすると解除されます。



<注意>

- 本ソフトウェアでは、縦中横で表示される桁数は2文字となります。

9章12 編集を元に戻す／やり直す

直近の編集操作の履歴を保持しており、編集した操作を前の状態に戻したり、戻した操作を再びやり直したりします。

1 リボン [ホーム] の [履歴] [元に戻す] または [やり直し] をクリックします。

操作取消／やり直し設定	説明
 元に戻す	1 つ前の編集状態に戻します。
 やり直し	戻した編集操作をやり直します。

<注意>

- 元に戻せる編集は、直近で 20 回までとなります。
- クリーンアップやビルドブック、またはプロジェクトを閉じると履歴が消去されます。

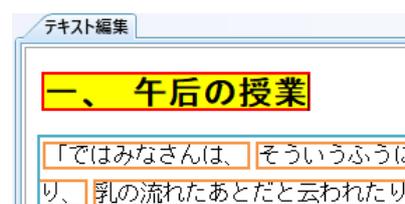
10章 再生

この章では、音声合成によるテキストの再生操作や読み修正方法などについて説明します。

10章1 フレーズ再生

10.1.1 フレーズを再生する

- 1 [テキスト編集] で再生するフレーズをクリックします。



- 2 リボン [再生・録音] の [再生] [フレーズ] をクリックします。

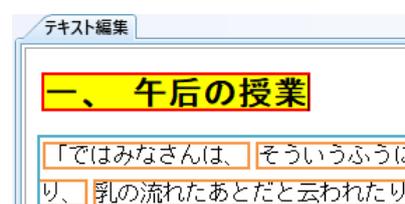


<ポイント>

- リボン [設定] の [機能] [自動で再生する] を設定すると、フレーズを選択した際に自動で再生されます。
【16.1.2 選択したフレーズを自動で再生する 参照】

10.1.2 フレーズを連続で再生する

- 1 [テキスト編集] で再生するフレーズをクリックします。



- 2 リボン [再生・録音] の [再生] [連続] をクリックします。



<注意>

- 連続再生中はフレーズ間に間（ま）が発生します。

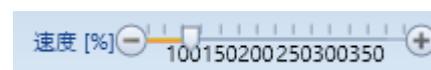
10.1.3 再生を停止する

- 1 リボン [再生・録音] の [再生] [停止] をクリックします。



10.1.4 再生音量や速度を変更する

- 1 リボン [再生・録音] の [再生] 音量を調整すると、再生音量が調整されます。
- 2 リボン [再生・録音] の [再生] 速度を調整すると、再生速度が調整されます。



<ポイント>

- 再生音量や速度を変更しても生成される図書には影響ありません。生成される図書の音声を変更する場合は [音声合成] の設定を変更します。
【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】

10章2 読み修正

音声合成を利用した読み上げには、稀に読み間違いやアクセントの誤りがあります。読み修正は音声合成で正しく読み上げるために行います。

<ポイント>

読みの修正方法は以下の方法で行えます。

- ルビ … ルビが設定されている場合は、ルビを読み上げます。個別に設定可能ですが、アクセントの設定は行えません。ルビ振りと修正は【9章5 フォント 参照】
- 読み辞書 … 音声合成の読み辞書を設定することで、出現頻度が高い固有名詞などを設定すると効果がありますが、文章によっては設定が適用されない場合があります。
- 発音 … フレーズ単位での設定となりますが、アクセントなどの設定も行えるので、細かい調整が可能となります。

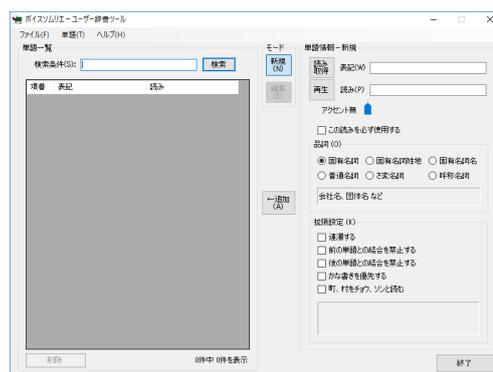
10.2.1 音声合成の読み辞書を設定する

音声合成の読み辞書設定は、音声合成による読み間違いが発生する場合に使用します。本文で出現頻度が高い固有名詞や独特な表現などを登録すると効果があります。

- 1 リボン [再生・録音] の [再生] [読み辞書] をクリックします。



- 2 [ボイスソムリエユーザー辞書ツール] が表示されます。
【18章 ユーザー辞書ツール 参照】

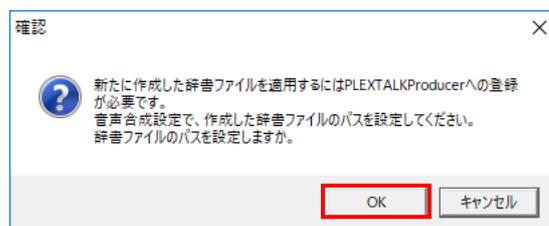


<ポイント>

- [音声合成] 設定で [辞書ファイルパス] が設定されている場合は、自動的に辞書ファイルが読み込まれます。設定されていない場合は、新規辞書が表示されます。

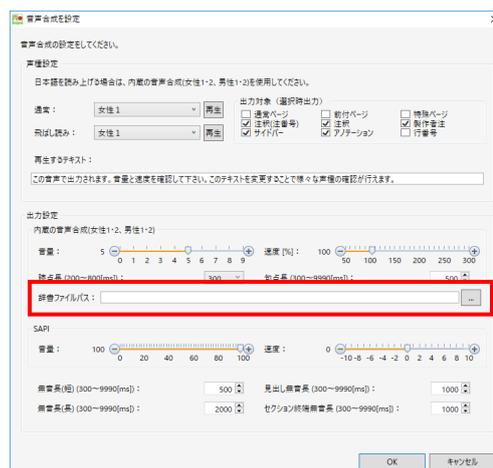
【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】

- 3 新しく辞書を保存した場合は、[確認]が表示されますので、作成した辞書を適用するために、[OK] をクリックします。



- 4 [音声合成を設定] が表示されますので、[辞書ファイルパス] に、作成した辞書を設定します。

【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】



<ポイント>

- 読み辞書を新規に作成した場合や、別名で保存した場合は、保存した読み辞書を使用するために設定が必要です。

【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】

<注意>

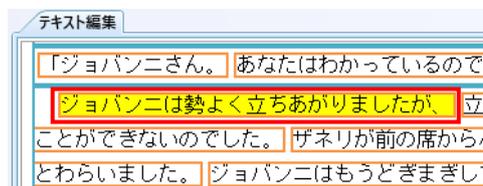
- 読み辞書を設定しても、文章によっては辞書が適用されない場合があります。その場合にはルビや発音を設定してください。

10.2.2 フレーズに発音を設定する

発音設定は、フレーズ単位で音声合成の読みおよびルビを指定します。文章のイントネーションを個別に修正したい場合に使用します。

10.2.2.1 発音記号を設定する

- 1 [テキスト編集] で発音を設定するフレーズをクリックします。



- 2 リボン [再生・録音] の [発音] [設定] をクリックします。



- 3 [ルビおよび発音を設定] が表示され、選択中フレーズの音声合成による読みが、発音欄に表示されます。[発音再取得] をクリックすると音声合成によって再度発音を取得します。[発音変更クリア] をクリックすると最初に表示されていた発音に戻ります。



＜ポイント＞

- フレーズの声種によって、発音の設定方法が異なります。内蔵音声合成（女性1・2、男性1・2）の場合は様々な発音設定ができますが、SAPIの声種が設定されている場合は、無音のみ設定することができます。
- 選択中のフレーズに設定されている声種は、発音欄の上に表示されます。



- 4 発音設定をする文字を[発音選択]の[<<前]または[次>>]をクリックで選択します。



＜ポイント＞

- ハイライトしている文字が発音を設定する対象となります。

- 5 設定する発音記号をクリックします。



発音の種類	発音の記号	説明
アクセント	' (アポストロフィ)	記号の位置を強く読みます。 1つの音節（区切りがあるまで）で1つのアクセントを設定できます。 ' (アポストロフィ) の後に数字（0～9）を入れるとアクセントの強さを変更できます。
アクセント区切り	/ (スラッシュ)	発音を短く区切ります。 文中にアクセントを2つ以上置きたい場合などに挿入すると便利です。
フレーズ区切り	(バーティカルライン)	発音を長く区切ります。 一拍置きたい場合などに挿入すると便利です。 (バーティカルライン) の後に数字（0～9）を入れると無音の長さを変更できます。 各数字で挿入される無音長は次のとおりです。 0：0, 1：50, 2：100, 3：150, 4：200, 5：300, 6：400, 7：500, 8：600, 9：700, 数字指定なし：300（単位:ms）
鼻濁音	° (半濁点)	挿入する前の文字を鼻濁音化します。
無声音	% (パーセント)	挿入する前の文字を無声音化します。
文末（疑問）	? (クエスチョン)	文末を疑問文にする際に使用します。 文末のみ使用可能です。
文末（驚き）	! (エクスクラメーション)	文末を感嘆文にする際に使用します。 文末のみ使用可能です。
文末（通常）	. (ピリオド)	通常の文末表現にする際に使用します。 文末のみ使用可能です。 文末の無音の長さは「音声合成」の「句点長」で変更できます。 【16.1.4 音声合成の設定をする参照】
文末（無音）	_ (アンダースコア)	文末に無音を入れます。 文末のみ使用可能です。 無音の長さは「音声合成」の「読点長」で変更できます。 文末に_ (アンダースコア) を入れた数だけ無音を挿入することができます。 【16.1.4 音声合成の設定をする参照】

<ポイント>

- 発音修正する文字を直接クリック、または、[発音修正] クリックして、キーボードで発音を修正することができます。
- [自動再生] にチェックを入れると発音修正する度に自動的に再生します。
- 再度、発音記号をクリックすると、設定された発音記号が解除されます。



- 6 [再生] をクリックして発音の確認をし、[終了] をクリックします。

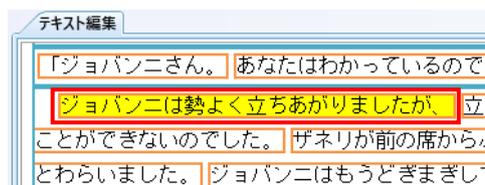


<ポイント>

- 次のフレーズ等、続けて発音を設定する場合は、[セクション] または [フレーズ] の [<<前] または [次 >>] をクリックして、移動します。
- リボン [設定] の [表示] [発音表示] を設定すると、設定されている発音が表示されます。
- 画像の代替テキストやキャプションにも発音の設定が行えます。
- フレーズにルビが設定されている場合は、ルビを基に発音が取得されます。

10.2.2.2 ルビを設定する

- 1 [テキスト編集] でルビを設定するフレーズをクリックします。



- 2 リボン [再生・録音] の [発音] [設定] をクリックします。



3 [ルビおよび発音を設定] が表示され、選択中フレーズのテキストおよびルビが、ルビ欄に表示されます。



4 ルビ設定をする文字を [ルビ選択] の [<<前] または [次 >>] をクリックで選択します。



<ポイント>

- ハイライトしている文字がルビを設定する対象となります。

5 [ルビ設定・修正] をクリックします。

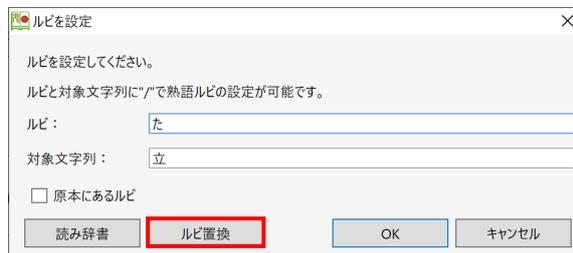


<ポイント>

- ルビ修正する文字を直接ダブルクリック、または、[ルビ設定・修正] をクリックして、設定したルビを修正することができます。

【9.5.2 ルビを修正する参照】

- ルビ修正中に [ルビ置換] をクリックして、プロジェクト内の任意の文字列を検索して、ルビを設定することができます。



- [ルビ種別] をクリックして、設定したルビの種別を変更することができます。「原本にあるルビ」で設定されたルビの背景色はピンク色になります。「その他のルビ」には背景色は付きません。



- [ルビ削除] をクリックして、設定したルビを削除することができます。

- [自動再生] にチェックを入れるとルビ修正する度に自動的に再生します。

- [自動発音再取得] にチェックを入れるとルビ修正する度に自動的に発音を再取得します。



- 6 [再生] をクリックして発音の確認をし、[終了] をクリックします。



<ポイント>

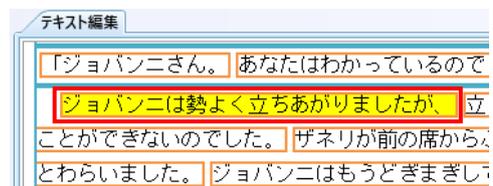
- 次のフレーズ等、続けてルビを設定する場合は、[セクション] または [フレーズ] の [<<前] または [次 >>] をクリックして、移動します。

<注意>

- 画像の代替テキストやキャプションにはルビの設定はできません。

10.2.3 設定した発音を削除する

- 1 [テキスト編集] で発音を削除するフレーズをクリックします。



- 2 リボン [再生・録音] の [発音] [削除] をクリックします。



- 3 削除確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



11章 録音

この章では、肉声による録音や音声ファイルのインポート、および音声の編集方法などについて説明します。なお、録音には「上書き録音」と「パンチイン録音」の2つのモードがあります。

録音モード	説明
上書き	選択した位置から録音します。新規録音時などで利用します。
パンチイン	録音する範囲をあらかじめ指定し録音します。読み間違いの修正などで利用します。

11章1 指定位置から録音をする

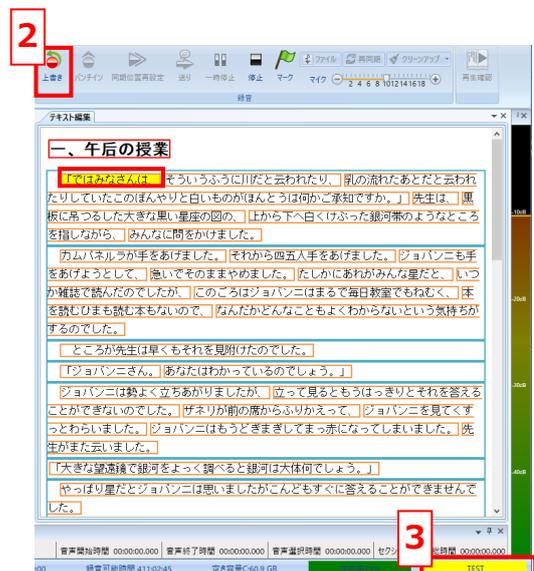
11.1.1 録音の準備をする

- 1 録音の前に、マイクを認識していることを確認します。ステータスバー左下が「マイク」と表示されていれば、マイクは正しく認識されています。「なし」の状態はマイクが正しく認識されていません。内蔵マイクを利用している場合は正しく動作しているか、外付けマイクを利用している場合はパソコンとの接続に問題が無いか確認します。

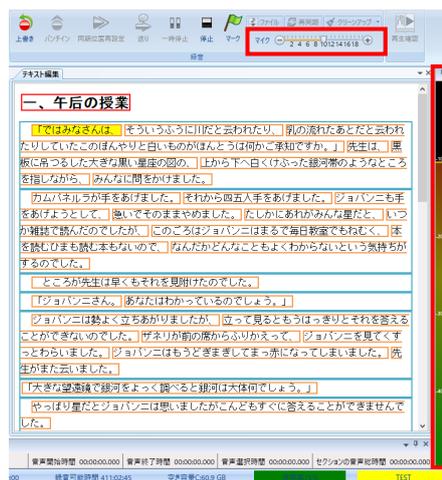


11.1.2 録音を開始する

- 1 「テキスト編集」で録音を開始するフレーズをクリックします。
- 2 リボン「再生・録音」の「録音」[上書き]をクリックします。
- 3 テスト録音が始まります。

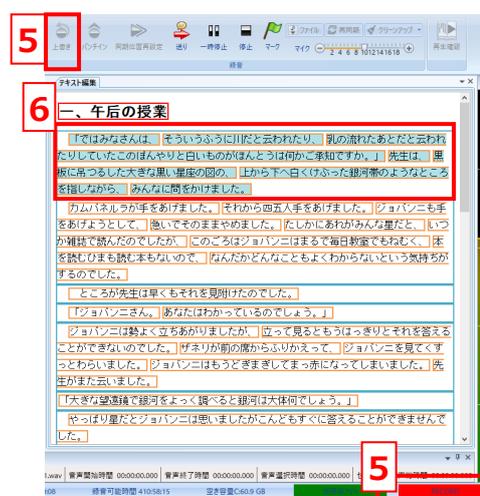


- 4 読み上げを行い、レベルメーターの反応を確認します。また、レベルメーターの値が-10dB 前後になるように、マイクの音量や発声音量を調整します。



- 5 再度 [上書き] をクリックすると、録音が始まります。

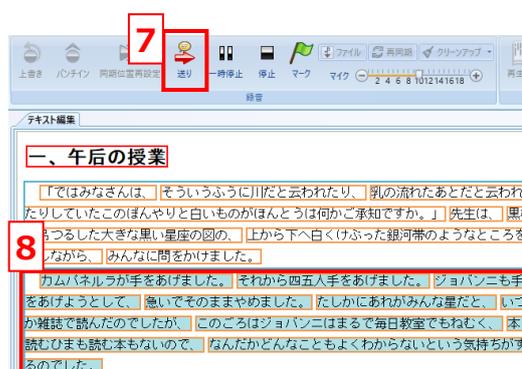
- 6 水色でハイライトされたフレーズが録音を行う範囲となりますので、読み上げを行います。



<ポイント>

- 水色のハイライト範囲は [録音] 設定の [手動送り範囲] で変更できます。
【16.1.5 録音の設定をする 参照】

- 7 水色でハイライトされたフレーズを読み上げたら、リボン [再生・録音] の [録音] [送り] をクリックし、録音範囲を次に移動します。



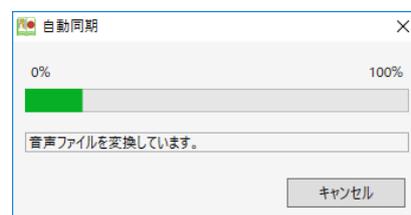
- 8 次の録音範囲が水色でハイライトされますので、同様に読み上げを行います。

- 9 同様の手順を繰り返し、録音を続けます。

- 10 リボン [再生・録音] の [録音] [停止] をクリックして録音を終了します。



- 11 録音が停止し、音声とフレーズの同期処理が行われます。



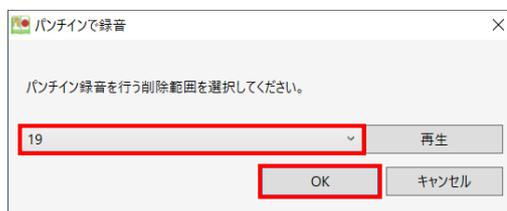
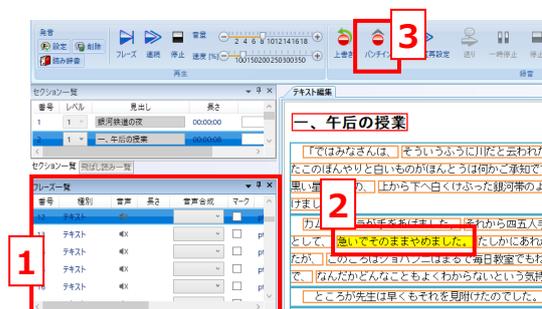
<ポイント>

- 録音はプロジェクト、もしくはセクションの終端で終了します。
- 録音中、録音一時停止中に [マーク] をクリックすると、選択されているフレーズにマークを設定することができます。



11章2 範囲を指定して録音をする

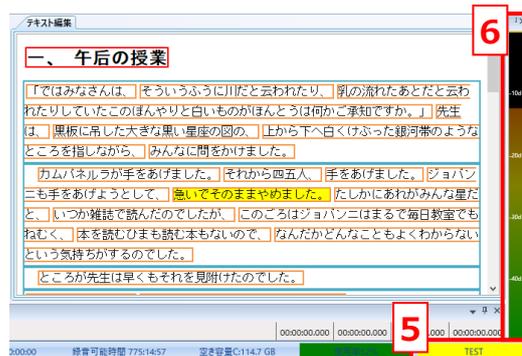
- 1 パンチイン録音の前に、[フレーズ一覧] で録音する範囲を確認します。
- 2 [テキスト編集] で録音を開始するフレーズをクリックします。
- 3 リボン [再生・録音] の [録音] [パンチイン] をクリックします。
- 4 [パンチインで録音] が表示されますので、録音範囲の最後のフレーズ番号を選択し、[OK] をクリックします。



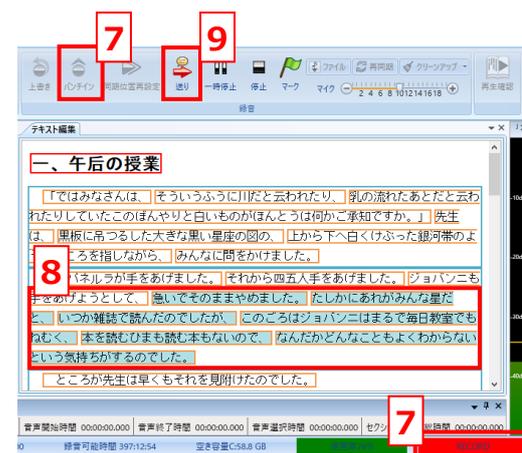
<ポイント>

- [再生] をクリックすると、選択されているフレーズの音声を確認できます。

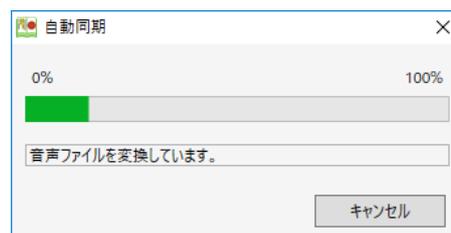
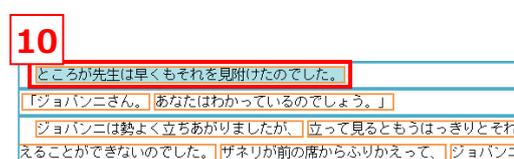
- 5 テスト録音が始まります。
- 6 読み上げを行い、レベルメーターの反応を確認します。また、レベルメーターの値が-10dB 前後になるように、マイクの音量や発声音量を調整します。



- 7 再度 [パンチイン] をクリックすると、録音が始まります。
- 8 水色でハイライトされたフレーズが録音を行う範囲となりますので、読み上げを行います。
- 9 水色でハイライトされたフレーズを読み上げたら、リボン [再生・録音] の [録音] [送り] をクリックし、録音範囲を次に進めます。



- 10 次の録音範囲が水色でハイライトされますので、同様に読み上げを行います。
- 11 同様の手順を繰り返し、録音を続けます。
- 12 [停止] もしくはパンチイン録音の範囲が終了すると、録音が停止し、音声とフレーズの同期処理が行われます。



11章3 同期位置を手動で修正する

- 1 [波形表示] の右下の [拡大] [縮小] をクリックして同期位置を変更しやすい大きさにします。



2 音声とフレーズの内容が一致していないフレーズをクリックするか、[波形表示]の[<< 前] [次 >>]で、フレーズを選択します。



3 選択したフレーズの波形が表示されますので、フレーズとの同期位置を示す赤い線の下に[◀▶]を左右に移動するか、[波形表示]の同期位置ボタンをクリックして、正しい位置に設定します。



<ポイント>

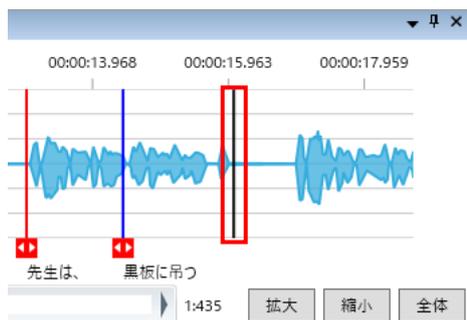
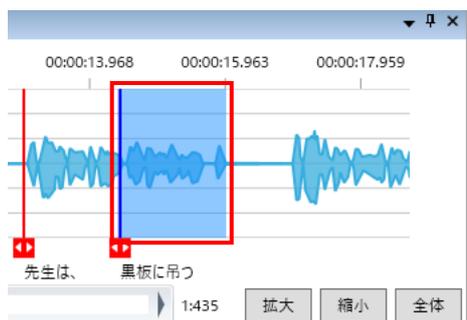
- [先頭]、[末尾]で、フレーズ先頭か末尾のどちらの同期位置を移動するか切り替えることができます。
- 前後のフレーズの同期位置を超えて移動する場合、前後のフレーズの同期位置も一緒に移動します。
- 自動で設定された同期位置は赤い線となり、手動で設定された同期位置は青い線で表示されます。



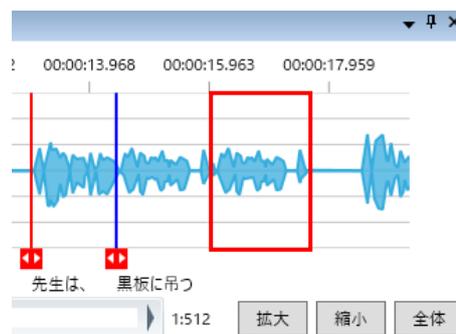
11章4 波形の編集をする

11.4.1 波形をコピー／切り取り／貼り付けをする

- 1 [波形表示]でコピーまたは切り取りする範囲を選択します。
- 2 選択した範囲をコピー (Ctrl+C キー) または切り取り (Ctrl+X キー) します。
- 3 貼り付ける位置をクリックします。



4 波形を貼り付け (Ctrl+V キー) します。



<ポイント>



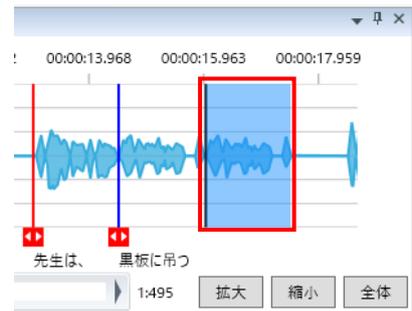
- [音声開始時間] には、[波形表示] でのカーソル位置、または、選択されている範囲のセクション内での開始時間が表示されます。
- [音声終了時間] には、[波形表示] で選択されている範囲のセクション内での終了時間が表示されます。
- [音声選択時間] には、選択フレーズの音声の合計時間が表示されます。[波形表示] で範囲選択した場合は、選択されている範囲の音声の合計時間が表示されます。
- [セクションの音声総時間] には、選択セクションの音声の合計時間が表示されます。

<注意>

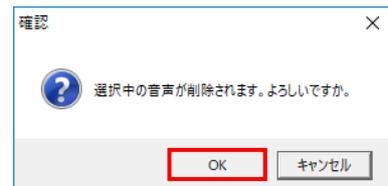
- マウスでクリックした位置 (開始点) よりも前 (左方向) に範囲を設定することはできません。

11.4.2 波形を削除する

- 1 [波形表示] で削除する範囲を選択します。
- 2 選択した範囲を削除 (Del キー) します。



- 3 確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

- フレーズの音声を削除する場合は、[フレーズ一覧] で音声を削除するフレーズを選択して削除 (Ctrl+Del キー) できます。
- セクションの音声を削除する場合は、[セクション一覧] で音声を削除するセクションを選択して削除 (Ctrl+Del キー) できます。

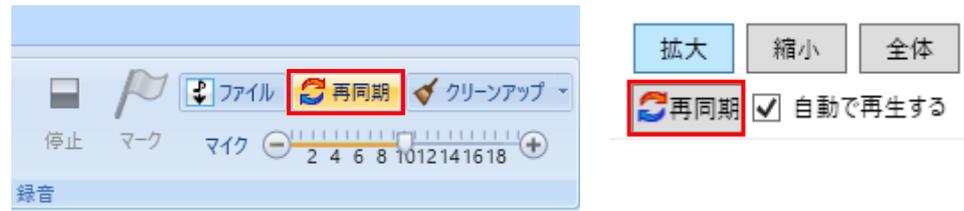
11章5 範囲を選択して同期位置を再設定する

同期位置が正しくない場合は、手動で修正する他に、範囲を選択して再度同期処理をすることができます。

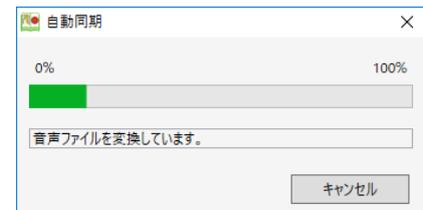
- 1 [フレーズ一覧] で同期処理をする範囲を選択するか、[波形表示] の [<< 前のフレーズも選択] [次のフレーズも選択 >>] をクリックして選択します。



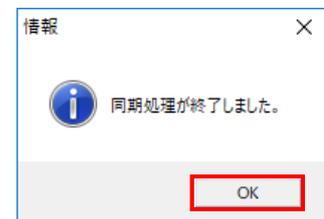
- 2 リボン [再生・録音] の [録音] [再同期]、または、[波形表示] の [再同期] をクリックします。



- 3 同期処理が開始します。



- 4 同期処理が完了すると、終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

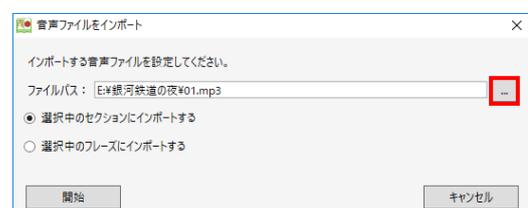
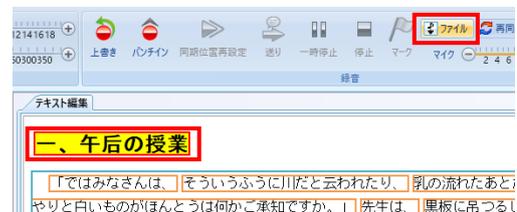
- フレーズを1つ選択して再同期をした場合は、選択したフレーズ以降すべてのフレーズのテキストと音声を自動で再同期します。

11章6 他の音声を取り込む

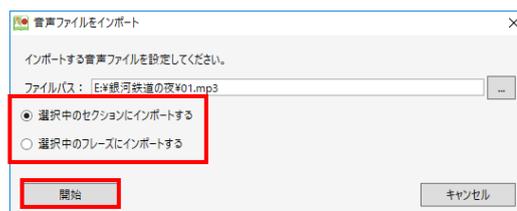
音声インポートは他で録音した音声を取り込むことができます。

【20章4 インポート可能な音声フォーマット一覧 参照】

- 1 [テキスト編集] で音声ファイルを取り込む先頭のフレーズをクリックします。
- 2 リボン [再生・録音] の [録音] [ファイル] をクリックします。
- 3 [音声ファイルをインポート] が表示されますので、取り込む音声を選択します。

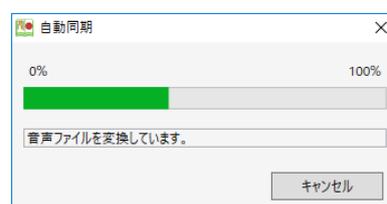


4 音声を取り込む先を設定し、[開始] をクリックします。

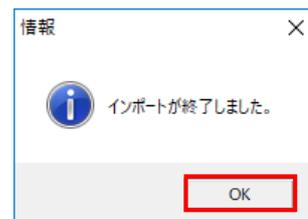


選択項目	説明
選択中のセクションにインポートする	表示しているセクションの全フレーズに音声を取り込みます。
選択中のフレーズにインポートする	選択しているフレーズに音声を取り込みます。 [フレーズ一覧] で複数のフレーズを選択して、音声インポートをすることができます。

5 インポート処理が開始します。



6 終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



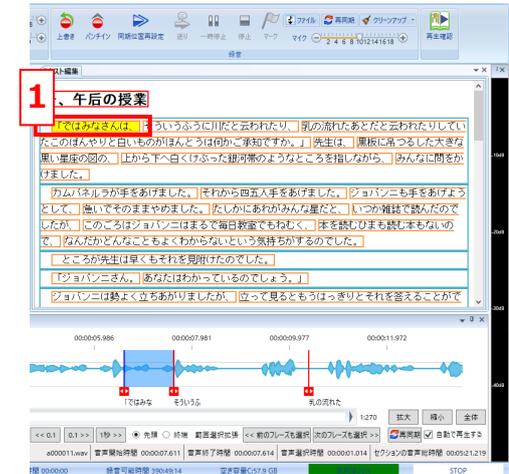
<ポイント>

- 音声ファイルを本ソフトウェアのメイン画面へドラッグ&ドロップすることで、[音声ファイルをインポート] 画面が開きます。

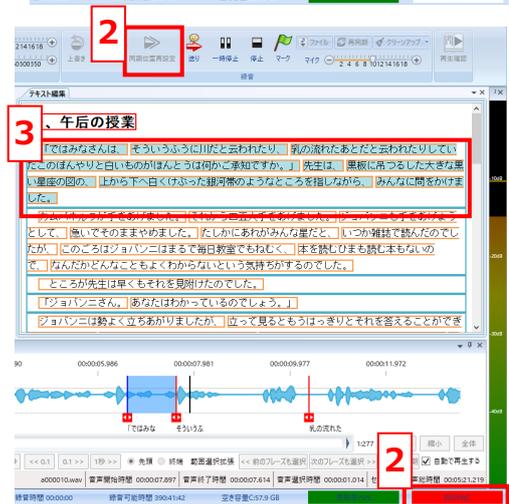
11章7 再生しながら同期位置を再設定する

録音や、音声インポートで取り込んだ音声を連続再生しながら同期位置を再設定することができます。

1 [テキスト編集] で再設定を開始するフレーズをクリックします。



2 リボン [再生・録音] の [同期位置再設定] をクリックすると選択したフレーズから連続再生を開始します。

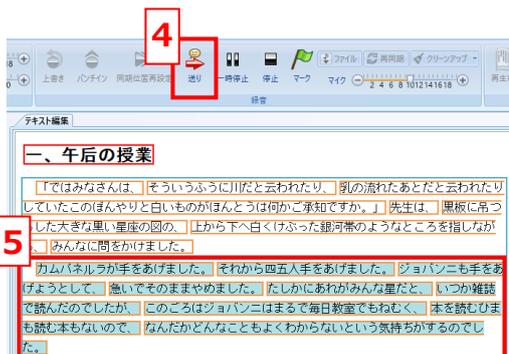


3 水色でハイライトされたフレーズが再同期される範囲となります。

<ポイント>

- 水色のハイライト範囲は [録音] 設定の [手動送り範囲] で変更できます。
【16.1.5 録音の設定をする 参照】

4 水色でハイライトされたフレーズの再生が終わったら、リボン [再生・録音] の [録音] [送り] をクリックして現在位置を同期位置に設定します。



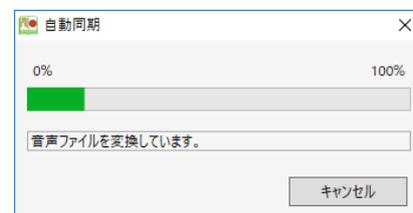
5 次に再同期する範囲が水色でハイライトされます。

6 同様の手順を繰り返し、同期位置の設定を続けます。

7 リボン [再生・録音] の [録音] [停止] をクリックして同期位置再設定を終了します。



8 水色でハイライトした範囲の同期処理が行われます。



<ポイント>

- 同期位置の再設定はセクションの終端で終了します。
- 再設定中に [マーク] をクリックすると、同期範囲の先頭フレーズにマークを設定することができます。



12章 クリーンアップ

この章では、プロジェクト内に含まれている不要なファイルを削除し、音声ファイルを再構築しハードディスクの容量を確保する方法について説明します。

<ポイント>

- クリーンアップ時には編集内容のチェックが行われ、不適切な箇所が発見された場合は自動修復を試みます。

ここでは選択しているセクションをクリーンアップする方法を例に説明します。

- 1 リボン [再生・録音] の [録音] [クリーンアップ] の [▼] をクリックし、設定内から選択しているセクションのみを選択します。



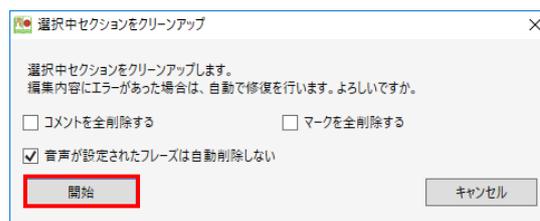
選択項目	説明	初期値
プロジェクト全体	プロジェクト全体をクリーンアップします。	選択している
選択しているセクションのみ	選択しているセクションをクリーンアップします。 [セクション一覧] で複数のセクションを選択してクリーンアップすることができます。	セクションのみ

- 2 [セクション一覧] でクリーンアップするセクションを選択します。



- 3 リボン [再生・録音] の [録音] [クリーンアップ] をクリックします。

- 4 [選択中セクションをクリーンアップ] が表示されますので、削除する項目を設定し、[開始] をクリックします。



選択項目	説明	初期値
コメントを全削除する	プロジェクト全体、または、選択中セクションのコメントを全て削除します。	チェックなし
マークを全削除する	プロジェクト全体、または、選択中セクションのマークを全て削除します。	チェックなし
音声を設定されたフレーズは自動修復しない	編集内容のチェックで不適切な箇所が発見された場合でも、音声を設定されているフレーズは自動修復をしません。	チェックあり

- 5 クリーンアップが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<ポイント>

- プロジェクト全体も同様の手順でクリーンアップすることができます。

<注意>

- 編集内容のチェックで不適切な箇所が発見された場合はメッセージが表示されるので、メッセージの内容に沿って修正を行ってください。また、自動修復を試みたフレーズには、フレーズ一覧のマークにチェックが入りますので、コメント欄を確認してください。

13章 書誌情報

この章では、書誌情報の設定方法について説明します。

- 1 リボン [ファイル] の [書誌情報] をクリックします。
- 2 [書誌情報を設定] が表示されますので、[書誌情報] 内の各情報を設定します。



記入項目	説明
識別子	<p>ルビ有り(全て)</p> <p>ビルドブック時に [ルビ有り(全て)] を選択して出力する場合の識別子を入力します。 自動的にルビ有り (全て) の識別子が入ります。</p>
	<p>ルビ有り(原本にあるルビ)</p> <p>ビルドブック時に [ルビ有り(原本にあるルビ)] を選択して出力する場合の識別子を入力します。 自動的にルビ有り (原本にあるルビ) の識別子が入ります。</p>
	<p>ルビ無し</p> <p>ビルドブック時に [ルビ無し] を選択して出力する場合の識別子を入力します。 自動的にルビ無しの識別子が入ります。</p>
タイトル (必須)	<p>原本書名を入力します。(全角可) 自動的にプロジェクト名が入ります。</p>
著者名 (必須)	<p>原本著者名を入力します。(全角可) 改行することで複数入力可能です。</p>
原本発行者	<p>原本発行者を入力します。(全角可)</p>
原本発行年月日	<p>原本発行年月日を入力します。(半角) 年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁</p>

ISBN/ISSN	原本 ISBN、ISSN を入力します。(半角)
言語	使用言語を選択します。
DAISY 発行者 (必須)	DAISY 図書の製作施設・団体名を入力します。(全角可)
DAISY 発行年月日 (必須)	DAISY 図書の発行年月日を入力します。(半角) 年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁

<ポイント>

- [デフォルト設定] に設定された情報は、[デフォルト反映] をクリックすることで書誌情報に反映できます。また、プロジェクト作成時に書誌情報に反映されます。

<注意>

- 必須項目および ISBN/ISSN が未設定、もしくは原本発行年月日で [年] [年月] を指定した場合は、ビルドブック時に警告が表示されます。

14章 ビルドブック

この章では、編集が終了したプロジェクトから DAISY、EPUB 形式に出力する方法について説明します。

DAISY 出力形式		説明
DAISY2.02	音声(audioNcc)	音声のみの DAISY2.02 を出力します。
	マルチメディア (audioFullText,textPartAudio)	テキストと音声の DAISY2.02 を出力します。 textPartAudio は、テキストと一部音声を設定されているマルチメディア DAISY です。 【通常】フレーズの音声合成設定が【なし】に設定されている場合にこの形式で出力します。 本文は再生環境の音声合成で読み上げ、図など詳細な説明が必要な箇所にのみ音声を割り当てたい場合に利用します。
DAISY3	テキスト(textNCX)	テキストのみの DAISY3 を出力します。
	マルチメディア (audioFullText,textPartAudio)	テキストと音声の DAISY3 を出力します。
EPUB3	テキスト	テキストのみの EPUB3 を出力します。
	マルチメディア (Media Overlays)	テキストと音声の EPUB3 を出力します。

<ポイント>

- 音声録音されていないプロジェクトは、音声 DAISY またはマルチメディア DAISY で出力する際に音声合成により音声生成されます。
【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】
- ビルドブック前にクリーンアップ処理を実行します。
【12章 クリーンアップ 参照】

<注意>

- DAISY3 と EPUB3 出力時はバリデータにより妥当性のチェックが行われます。不適切な箇所が発見された場合はメッセージが表示されるので、メッセージの内容に沿って修正を行ってください。

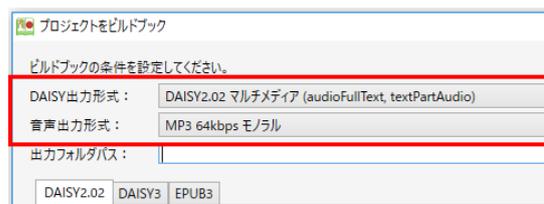
14章1 DAISY2.02 形式で出力する

DAISY2.02 形式のビルドブックは、音声 DAISY とマルチメディア DAISY の 2 つの出力に対応しています。

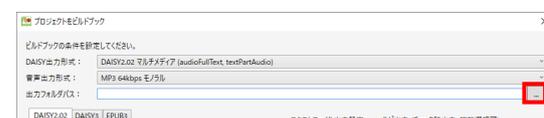
1 リボン [ファイル] の [ビルドブック] をクリックします。



2 [プロジェクトをビルドブック] が表示されますので、出力形式を選択します。



3 [出力フォルダパス] の [...] をクリックしてビルドブック先のフォルダを選択します。



<注意>

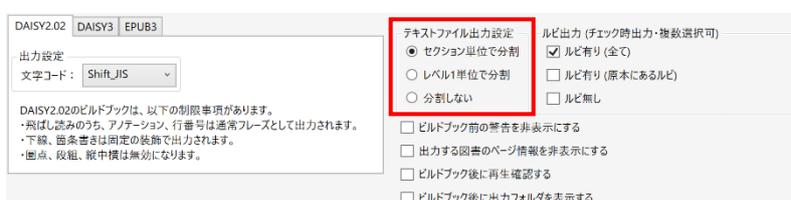
- ビルドブック先のフォルダ名は、必ず半角英数字で指定します。
- ビルドブック先のフォルダに既にファイルが存在する場合はすべて削除されます。

4 [DAISY2.02] タブの設定をします。



設定項目	説明	
文字コード	ビルドブック時の文字コードを設定します。	
	Shift_JIS	日本語を表す文字コードです。DAISY2.02 の図書で広く使用されています。
	UTF-8	日本語以外の文字も含めた文字コードです。多くの文字がサポートされています。

5 テキストファイルの出力設定を選択します。



設定項目		説明
テキストファイル出力設定	セクション単位で分割	セクション単位で分割してテキストファイルを出力します。
	レベル1単位で分割	レベル1単位で分割してテキストファイルを出力します。
	分割しない	ひとつのテキストファイルで出力します。

6 ルビの出力形式を選択します。

設定項目		説明
ルビ出力(チェック時出力・複数選択可)	ルビ有り(全て)	設定した全てのルビを出力します。
	ルビ有り(原本にあるルビ)	原本にあるルビのみを出力します。
	ルビ無し	設定したルビは出力されません。

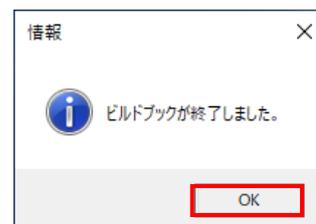
<ポイント>

- ルビ出力設定で複数選択されている場合は、出力フォルダパス内にフォルダ分けして出力されます。

7 他の設定を行い、[開始] をクリックします。

設定項目	説明
ビルドブック前の警告メッセージを非表示にする	ビルドブック前に表示される警告メッセージを非表示にします。
出力する図書のページ情報を非表示にする	出力された図書のページ情報を非表示にします。 再生環境によっては表示される場合があります。
ビルドブック後に再生確認する	ビルドブック後に、PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェアを起動して、再生を確認します。
ビルドブック後に出力フォルダを表示する	ビルドブック後に、出力したフォルダを表示します。

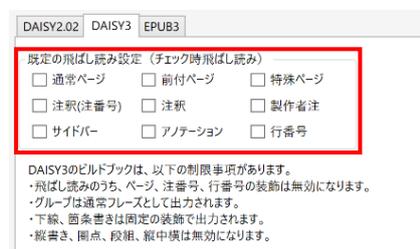
- 8 ビルドブックが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



14章2 DAISY3 形式で出力する

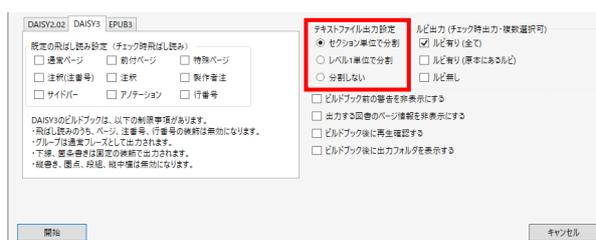
DAISY3 形式のビルドブックは、テキスト DAISY とマルチメディア DAISY の 2 つの出力に対応しています。

- 1 [DAISY2.02 形式で出力する] 同様に出力先までを設定します。
- 2 [DAISY3] タブの設定をします。

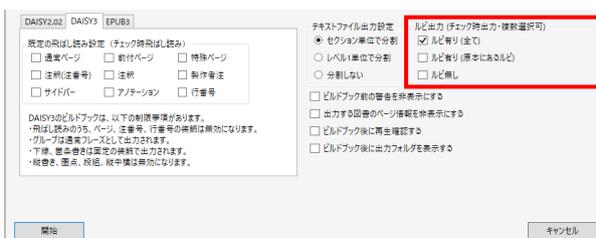


設定項目	説明
既定の飛ばし読み設定	飛ばし読み設定されているフレーズの読み上げの有無を設定します。チェックを入れた項目は、再生機や再生ソフトでの再生時に、飛ばし読みされます。再生機や再生ソフトに飛ばし読みの設定がある場合には、その設定に従います。

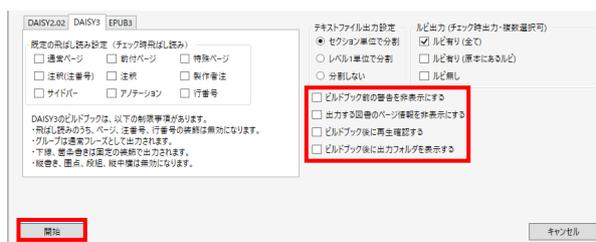
- 3 テキストファイルの出力設定を選択します。



- 4 ルビの出力形式を選択します。



- 5 他の設定を行い、[開始] をクリックします。



- 6 ビルドブックが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



14章3 EPUB3 形式で出力する

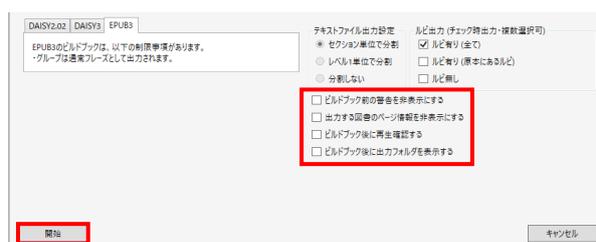
EPUB3 形式でのビルドブックは、テキストのみの EPUB3 とテキストと音声の EPUB3 Media Overlays の 2 つの出力に対応しています。

- 1 [DAISY2.02 形式で出力する] 同様に出力先までを設定します。

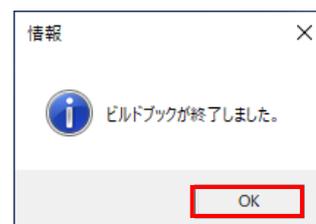
- 2 ルビの出力形式を選択します。



- 3 他の設定を行い、[開始] をクリックします。



- 4 ビルドブックが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



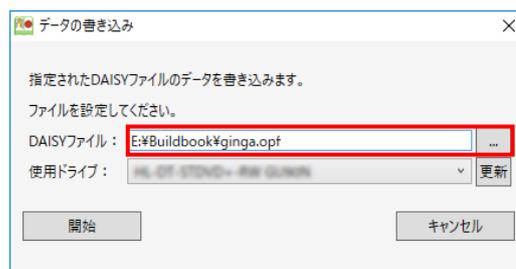
15章 CD 書き込み

この章では、DAISY 図書を CD に書き込む方法について説明します。

- 1 リボン [ファイル] の [CD 書き込み] をクリック
します。



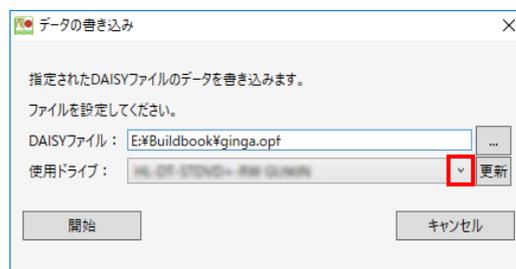
- 2 [データの書き込み] が表示されますので、[...] をクリックして書き込みを行う DAISY 図書を選択します。



<注意>

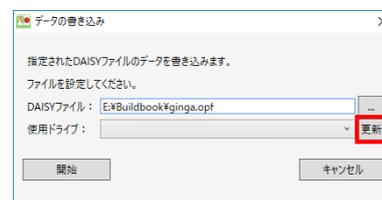
- CD 書き込みでサポートしている DAISY 図書は本ソフトウェアで製作された図書のみとなります。

- 3 使用ドライブの [▼] をクリックして、書き込みに使用するドライブを選択します。

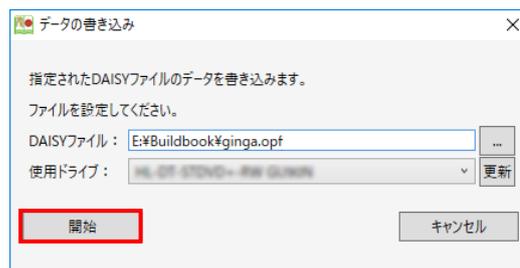


<ポイント>

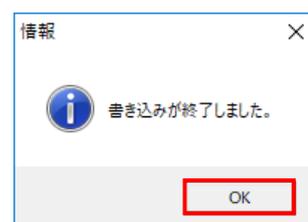
- ドライブが表示されない場合は、[更新] をクリックすると更新されます。



- 4 [開始] をクリックします。



- 5 書き込みが完了すると終了メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



項目	設定値
対応ディスク	CD-R/RW ※ 空のディスクのみとなります。
書き込みフォーマット	Joliet
書き込み速度	最高速度
書き込み方式	セッションアットワンス ※ 追記書き込みは行えません。

<ポイント>

- DAISY2.02 および DAISY3 はフォルダ内に書き込まれ、discinfo.html および distinfo.dinf がルートに自動で生成されます。

16章 各種設定

この章では、様々な機能を利用する際に必要な設定方法を説明します。

16章1 機能設定

リボン [設定] の [機能] グループは、様々な機能に関する設定をします。



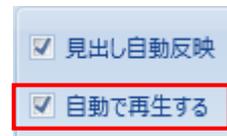
16.1.1 見出しを自動で反映する

[テキスト編集] で見出しとなる文字列を変更した時に、セクションの見出しに反映します。



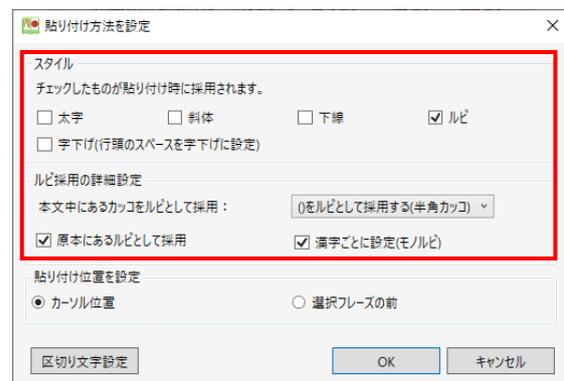
16.1.2 選択したフレーズを自動で再生する

フレーズを選択した際に、自動でフレーズを再生します。

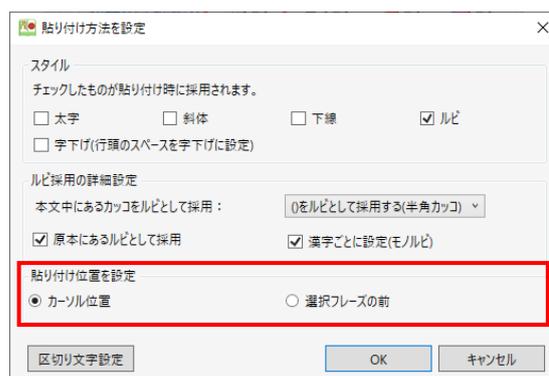


16.1.3 貼り付けの設定をする

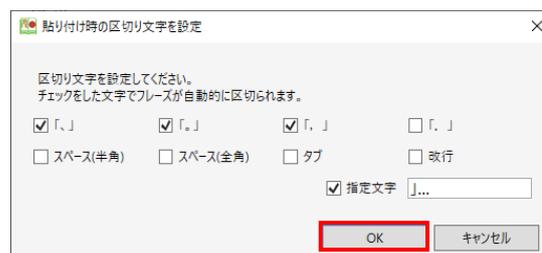
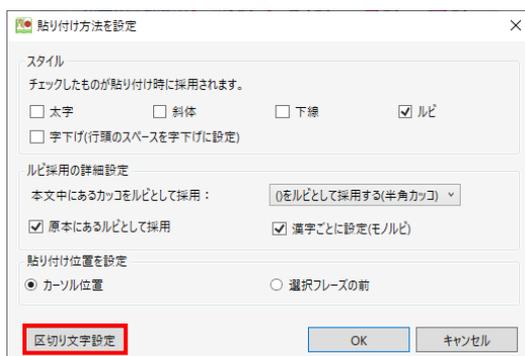
他のアプリケーションからテキストを貼り付けた時に、スタイル、ルビを反映するかを設定します。



「貼り付け位置を設定」でテキストなどを貼り付ける位置を設定します。



「区切り文字設定」で貼り付けた時に、フレーズに区切る文字を設定します。



<ポイント>

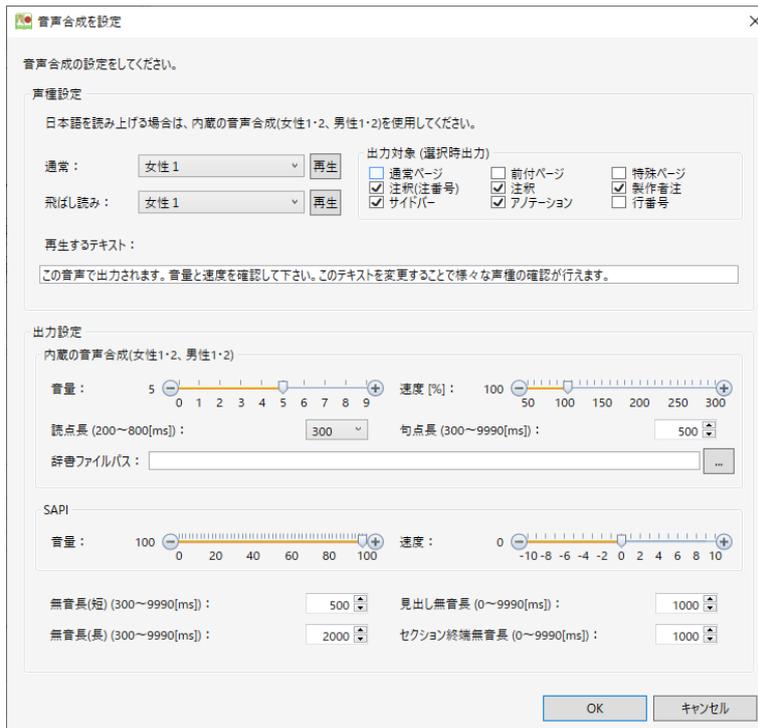
- 貼り付け時とテキストインポート時の「区切り文字設定」「ルビ設定」は、個別に設定できます。

【8章 1 テキストを取り込む（テキストファイルから取り込む）参照】

16.1.4 音声合成の設定をする

音声合成の設定をします。間の調整や声種、出力対象などを設定します。





設定項目	説明	初期値
通常	通常のフレーズを読み上げる声種をリストから選択します。 [再生]で読み上げる声種の音声を確認できます。	女性 1
飛ばし読み	飛ばし読みが設定されているフレーズを読み上げる声種をリストから選択します。 [再生]で読み上げる声種の音声を確認できます。	女性 1
出力対象	飛ばし読みが設定されているフレーズの読み上げやビルドブック時に、種別に応じて音声出力を無効に設定します。	通常ページ：なし 前付ページ：なし 特殊ページ：なし 注釈(注番号)：あり 注釈：あり 製作者注：あり サイドバー：あり アノテーション：あり 行番号：なし
再生するテキスト	通常、飛ばし読みの声種確認で再生するテキストを設定します。	—
辞書ファイルパス	ユーザー辞書ファイルを設定します。辞書ファイルを複数作成し、製作対象によって辞書ファイルを使い分けて利用することができます。 【18章 ユーザー辞書ツール 参照】	—

<ポイント>

- 個別のフレーズで読み上げる声種を変更したい場合は、[フレーズ一覧] で音声合成の声種を設定します。
- [フレーズ一覧] で複数のフレーズを選択することで、まとめて音声合成の声種の設定が行えます。
- 「音声ファイル > フレーズの声種 > 音声合成設定の声種」の優先順位で再生および音声出力が行われます。

設定項目	説明	初期値
音量	音声合成の音量を設定します。	5
速度	音声合成の速度を設定します。	100%
読点長	読点 (、) での間の長さを設定します。	300ms
句点長	句点 (。) での間の長さを設定します。	500ms
無音長(短)	無音 (短) の長さを設定します。	500ms
無音長(長)	無音 (長) の長さを設定します。	2000ms
見出し無音長	見出しの間の長さを設定します。	1000ms
セクション終端音長	セクション終端の間の長さを設定します。	1000ms

<ポイント>

- 再生時の音量や速度は、音声合成設定の各値を基準に設定されます。音声合成設定の速度が 200% とし、再生速度を 200% とすると、実際には 400% の速度で再生されます。
- 読点長と句点長の無音長は音声合成設定の速度で変化します。
- 内蔵音声合成と SAPI の音量、速度設定は、個別に設定できます。

<注意>

- SAPI の音量、速度の設定は、Windows で設定している音声合成設定の値が設定されます。
- 句点長設定は読点長設定より短く設定できません。

16.1.5 録音の設定をする

録音や音声インポートに関する設定をします。



設定項目	説明	初期値
録音開始タイミング	録音を開始するタイミングを設定します。	音声検知時
	音声検知時 音声を検出した時に録音を開始します。	
	録音操作時 録音を操作した時点ですぐに録音を開始します。	
DC オフセットカット	直流 (DC) 電源ノイズがのる場合に設定します。	あり
録音ソース再生ミュート	録音時に録音ソースの再生をミュートにします。	なし
自動同期	音声とテキストを自動同期します。	あり
フレーズ検知	自動同期位置の検出時間を設定します。	0.2 秒
手動送り範囲	録音時の手動で送る範囲、同期位置再設定時の再同期範囲を設定します。	標準(句点)
自動録音停止	音声の入力が無い場合に、自動で録音が停止する時間の設定をします。	なし
ノイズレベル	バックグラウンドノイズの大きさを設定します。	(-28dB)標準
サウンドブースト	録音音量をブーストの設定をします。	なし
録音対象	音声の割り当てを行うか設定します。 チェックをなしに設定すると、録音や音声イン	通常ページ：なし 前付ページ：なし

	ポート時に音声割り当てられません。	特殊ページ：なし 注釈(注番号)：あり 注釈：あり 製作者注：あり サイドバー：あり アノテーション：あり 行番号：なし
録音プロパティ	Windows の [録音プロパティ] を表示します。	—

<ポイント>

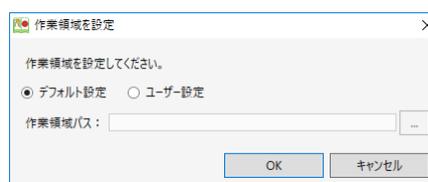
- 自動同期で区切り位置が検出できない場合は、DC オフセットカット、ノイズレベル、フレーズ検知を調整してください。
- 録音時にノイズがのる場合は、録音ソース再生ミュートを [なし] に設定してください。

<注意>

- 自動同期を [なし] に設定すると、フレーズ検知、手動送り範囲の設定が無効となります。なお、その際に手動送り範囲は [短い (フレーズ)] 固定となります。

16.1.6 作業領域の設定をする

作業領域に関する設定をします。



設定項目	説明	初期値
デフォルト設定	作業領域をデフォルトに設定します。	チェックあり
ユーザー設定	作業領域をユーザーが任意に設定します。	チェックなし
作業領域パス	作業領域をユーザー設定にした時は、任意のパスを設定します。	—

16章2 表示設定

リボン [設定] の [表示] グループは、テキスト編集時の表示に関する設定をします。

<注意>

- 表示設定は本ソフトウェアを使用する際の設定となります。ビルドブックした図書には反映されません。



設定項目	説明	初期値
大きく	表示されているテキストを大きく表示します。	—
小さく	表示されているテキストを小さく表示します。	—
フレーズ・段落 枠表示	フレーズおよび段落ごとに枠で囲み表示します。	チェックあり
発音表示	フレーズに設定されている発音を表示します。	チェックあり
ルビ表示	フレーズに設定されているルビを表示します。	チェックあり
原本にあるルビ を判別	原本にあるルビで設定されているルビの背景をピンク色に表示します。	チェックあり
フォント	表示するフォントを選択します。	—
見出し枠色	見出しに該当するフレーズの枠色を設定します。	赤
飛ばし読み枠色	飛ばし読みに該当するフレーズの枠色を設定します。	青
グループ枠色	グループに該当するフレーズの枠色を設定します。	緑
フレーズ枠色	フレーズに該当するフレーズの枠色を設定します。	オレンジ
段落枠色	段落の枠色を設定します。	水色

16.2.1 各種別の枠色を設定する

- 1 [設定] の [見出し] [▼] をクリックします。



- 2 カラーパレットが表示されますので、色を選択します。また、カラーパレットの [▼] をクリックすると、別のパレットを選択できます。



- 3 [飛ばし読み]、[グループ]、[フレーズ]、[段落] も同様の操作で変更が可能です。

16章3 画面設定

リボン [設定] の [画面] グループは、画面やメニューに関する設定をします。



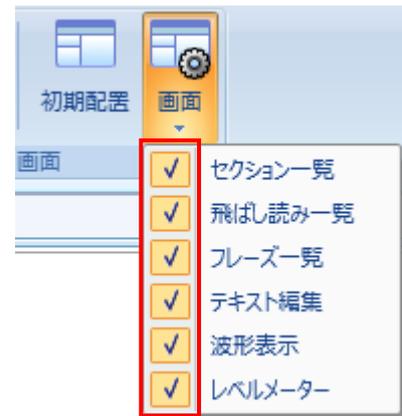
設定項目	説明	初期値
DAISY2.02	DAISY2.02 で有効な機能のみ操作可能とします。 【20章1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】	チェックあり
DAISY3	DAISY3 で有効な機能のみ操作可能とします。 【20章1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】	チェックあり
EPUB3	EPUB3 で有効な機能のみ操作可能とします。 【20章1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】	チェックあり
初期配置	各画面をインストール時の状態に戻します。	—
画面	各画面の表示・非表示を切り替えます。	チェックあり

16.3.1 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする

- 1 画面をインストール時の状態に戻す時は、[初期配置] をクリックします。



- 2 メニュー [設定] の [画面] をクリックします。
- 3 画面の一覧が表示されますので、表示する画面にチェックを入れます。また、非表示にする場合は、画面のチェックを外します。



17章 PLEXTALKProducer

再生確認用ソフトウェア

この章では、PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェアの機能について説明します。

17章1 起動と終了

17.1.1 起動する

- 1 スタートメニューから [すべてのプログラム]、[PLEXTALKProducer 再生] をクリックするか、デスクトップ上のショートカット [PLEXTALKProducer 再生] をダブルクリックすると再生確認用ソフトウェアが起動します。



17.1.2 PLEXTALKProducer から起動する

- 1 PLEXTALKProducer のリボン [再生・録音] の [再生確認] をクリックします。



- 2 [プロジェクトをビルドブック] が表示されますので、[開始] をクリックしま

す。
【14章 ビルドブック 参照】



- 3 ビルドブックが終了すると、PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェアが起動します。



<ポイント>

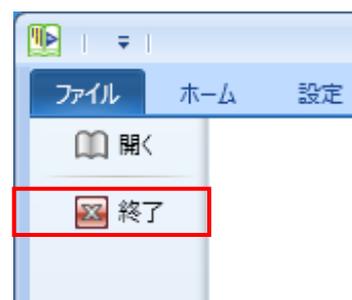
- 製作中の図書を DAISY 図書としての動作確認ができます。

<注意>

- 再生確認時にビルドブックされた図書は一時的なもので保存されません。

17.1.3 終了する

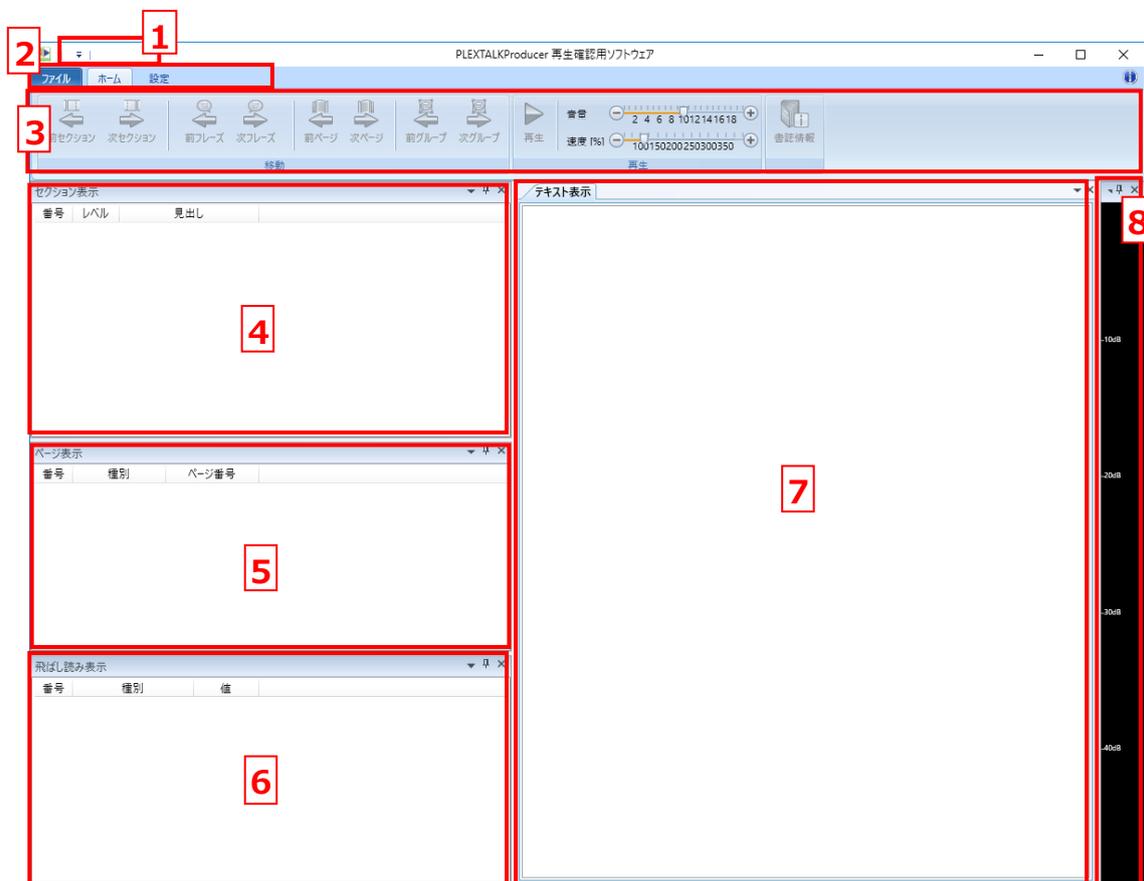
- 1 リボン [ファイル] の [終了] をクリックします。



17章2 各部名称と働きについて

本ソフトウェアのメイン画面は、リボンで構成されるメニューと、セクション・ページ・飛ばし読み・テキスト表示・レベルメーターで構成されます。

17.2.1 メイン画面について



項目	説明
1	クイックアクセスツールバー よく使用する機能を表示する小さくてカスタマイズ可能なツールバーです。
2	タブ [ファイル] [ホーム] [設定] の3つのタブから構成されます。
3	リボン タブで選択したメニュー項目が表示されます。
4	セクション表示 図書に含まれるセクションの一覧を表示します。選択したセクションに移動ができます。
5	ページ表示 図書に含まれるページの一覧を表示します。選択したページに移動ができます。
6	飛ばし読み表示 図書に含まれる飛ばし読みの一覧で表示します。選択した飛ばし読みに移動ができます。
7	テキスト表示 図書のテキストを表示します。再生位置をハイライトします。選択したテキストに移動ができます。
8	レベルメーター 現在再生している音声レベルを表示します。

<ポイント>

- 各画面は、個別の移動や配置の変更が自由にできます。例えばテキスト表示を別画面で確認することができます。
- 機能の一部には、ショートカットキーが設定されています。
【20章2 ショートカットキー一覧 参照】

17.2.2 ファイルタブについて

図書やアプリケーションの操作に関する機能で構成されています。

【17.3.1 図書を開く 参照】

【17.1.3 終了する 参照】



17.2.3 ホームタブについて



移動や再生に関する機能で構成されています。

【17章3 再生 参照】

17.2.4 設定タブについて



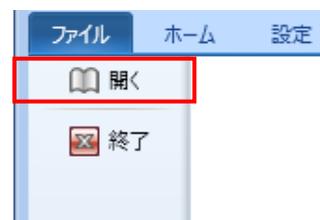
各種機能の設定や画面構成に関する機能で構成されています。

【17章4 各種設定 参照】

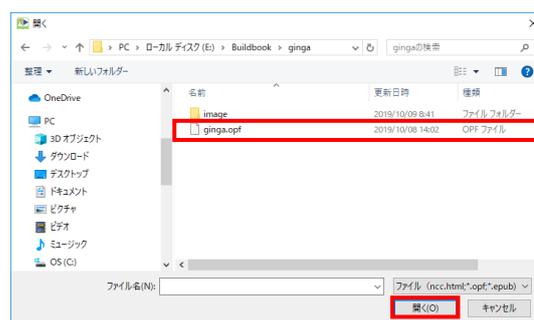
17章3 再生

17.3.1 図書を開く

1 リボン [ファイル] の [開く] をクリックします。



2 再生する図書を選択します。

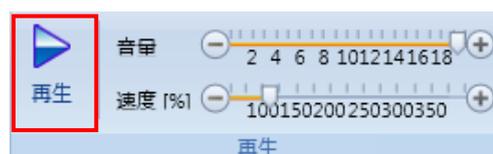


<ポイント>

- 開くことができる DAISY 図書は本ソフトウェアで製作された図書のみとなります。

17.3.2 再生する／停止する

1 リボン [ホーム] の [再生] をクリックするとハイライトされているフレーズから再生します。



2 リボン [ホーム] の [一時停止] をクリックすると再生が停止します。



<ポイント>

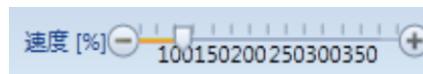
- [再生] をクリックすると [一時停止] に切り替わります。

<注意>

- 連続再生中はフレーズ間に間（ま）が発生します。

17.3.3 再生音量や速度を変更する

- 1 リボン [再生・録音] の [再生] 音量を調整すると、再生音量が調整されます。
- 2 リボン [再生・録音] の [再生] 速度を調整すると、再生速度が調整されます。



17.3.4 再生位置を移動する

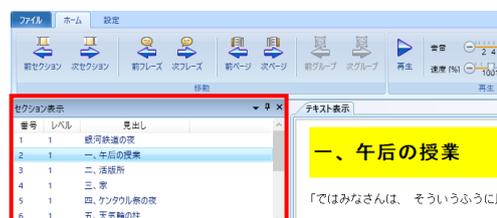
- 1 次のセクションに移動する場合は、リボン [ホーム] の [次セクション] をクリックします。
- 2 前のセクションに移動する場合は、リボン [ホーム] の [前セクション] をクリックします。



<ポイント>

- フレーズ・ページ・グループも同様に移動することができます。

- 3 任意のセクションに移動する場合は、[セクション表示] から移動したいセクションをクリックします。



<ポイント>

- [ページ表示]、[飛ばし読み表示]、[テキスト表示] から同様に任意の位置に移動することができます。

17.3.5 書誌情報を確認する

図書の書誌情報を確認します。

- 1 リボン [ホーム] の [書誌情報] をクリックします。



- 2 [書誌情報確認] が表示されますので、書誌情報を確認して [OK] をクリックします。



17章4 各種設定

17.4.1 音声合成を変更する

<注意>

- テキスト DAISY を再生するときのみ、この設定が反映されます。

音声合成による読み上げは、本ソフトウェア内蔵の声種と SAPI に登録されている声種から選択します。

設定項目	説明
内蔵音声合成	読み上げは、本ソフトウェア内蔵の声種を利用します。
SAPI	読み上げは、SAPI に登録されている声種を利用します。

17.4.1.1 内蔵の声種を使用する

- 1 リボン [設定] の [内蔵音声合成] を選択し、[音声合成] をクリックします。



- 2 [音声合成設定] が表示されますので、音声合成の設定をし、[OK] をクリックします。



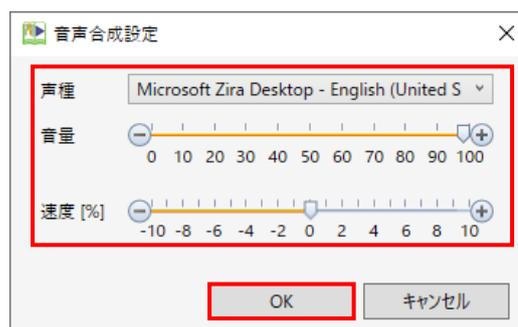
設定項目	説明
出力	声種、音量、速度を変更します。
ポーズ長	読点長、句点長を変更します。
辞書	辞書ファイルを設定します。

17.4.1.2 SAPI に登録されている声種を使用する

- 1 リボン [設定] の [SAPI] を選択し、[音声合成] をクリックします。



- 2 [音声合成設定] が表示されますので、音声合成の設定をし、[OK] をクリックします。



設定項目	説明
声種	SAPI に登録されている声種から設定します。
音量	音量を変更します。
速度	速度を変更します。

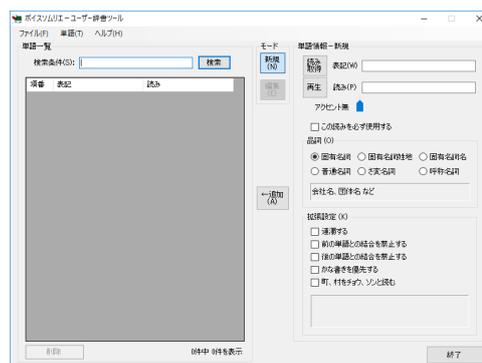
17.4.2 音声合成の読み辞書を設定する

ボイスソムリエ用のユーザー辞書ツールを編集できます。

- 1 リボン [設定] の [辞書] をクリックします。



- 2 [ボイスソムリエ-ユーザー辞書ツール]
が表示されます。
【18章 ユーザー辞書ツール 参照】



17.4.3 飛ばし読みの設定をする

飛ばし読みを設定すると、再生時に設定した項目を飛ばして読みます。

- 1 リボン [設定] の [飛ばし読み] をクリックします。



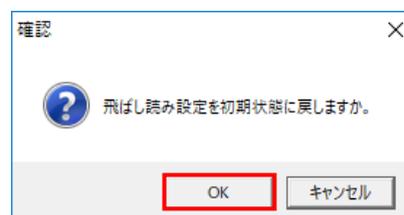
- 2 飛ばし読みの項目が表示されますので、飛ばして読む項目を
チェックします。



- 3 飛ばし読み設定を図書の設定に戻す場合は、リボン [設定]
の [図書設定] をクリックします。



- 4 確認メッセージが表示されますので、[OK] を
クリックします。



<注意>

- DAISY の形式により飛ばし読み可能な項目が異なります。
【20章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】

17.4.4 テキストのスタイルを設定する

リボン [設定] の [スタイル] グループでは、テキスト表示エリアの文字の拡大／縮小、ルビの表示／非表示、画像の表示／非表示、文字色、背景色、ハイライト色の設定ができます。

文字色、背景色、ハイライト色の設定方法に関しては、【16.2.1 各種別の枠色を設定する】を参照してください。



設定項目	説明	初期値
大きく	表示されているテキストのフォントを大きくします。	
小さく	表示されているテキストのフォントを小さくします。	
ルビ非表示	ルビを非表示にします。	チェックなし
画像を非表示	画像を非表示にします。	チェックなし
文字色	文字色を設定します。	黒
背景色	背景色を設定します。	白
ハイライト色	ハイライト色を設定します。	黄色

17.4.5 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする

- 1 画面をインストール時の状態に戻す時は、[初期配置] をクリックします。



- 2 メニュー [設定] の [画面] をクリックします。

- 3 画面の一覧が表示されますので、表示する画面にチェックを入れます。また、非表示にする場合は画面のチェックを外します。



18章 ユーザー辞書ツール

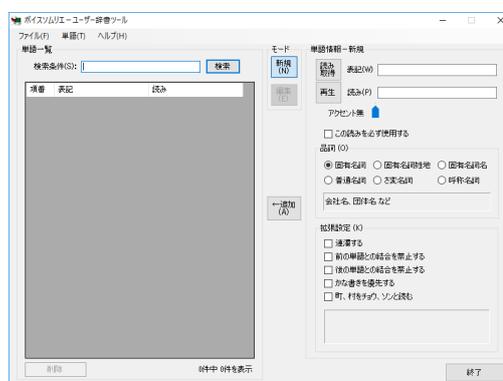
この章では、音声合成の読み辞書の編集方法について説明します。

18章1 起動する

- 1 リボン [再生・録音] の [再生] [読み辞書] をクリックします。



- 2 [ボイスソムリエユーザー辞書ツール] が表示されます。

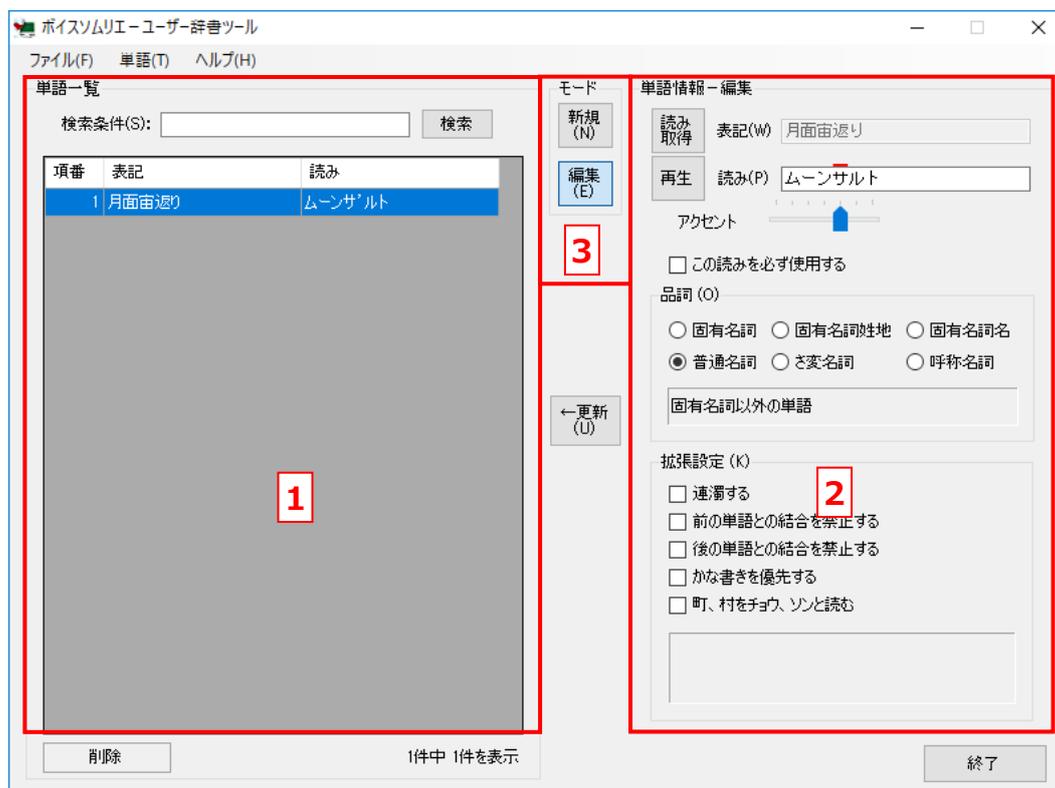


<ポイント>

- [音声合成] 設定で [辞書ファイルパス] が設定されている場合は、自動的に辞書ファイルが読み込まれます。
- [音声合成] 設定で [辞書ファイルパス] が設定されていない場合は、新規辞書が表示されます。

【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】

18章2 各部名称と働きについて



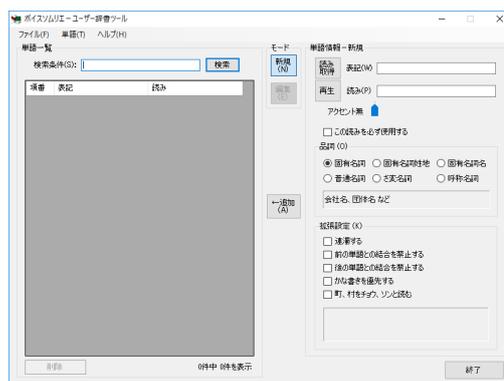
項目	説明	
1	単語一覧リスト	ユーザー辞書に登録されている単語が一覧表示されます。
2	単語情報欄	単語情報を入力・修正します。
3	新規モード	新規の単語を登録します。
	編集モード	登録した単語を参照・修正します。

18章3 新規に辞書を作成する

- 1 [ファイル] [新規辞書作成] をクリックします。

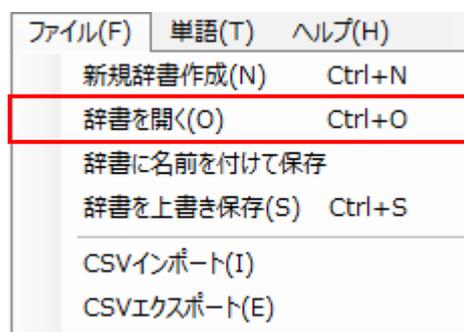
ファイル(F)	単語(T)	ヘルプ(H)
	新規辞書作成(N)	Ctrl+N
	辞書を開く(O)	Ctrl+O
	辞書に名前を付けて保存	
	辞書を上書き保存(S)	Ctrl+S
	CSVインポート(I)	
	CSVエクスポート(E)	

2 新規辞書が表示されます。

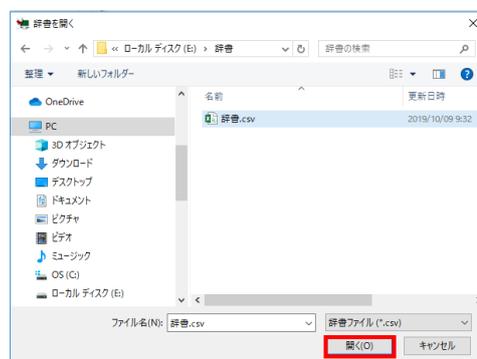


18章4 辞書を開く

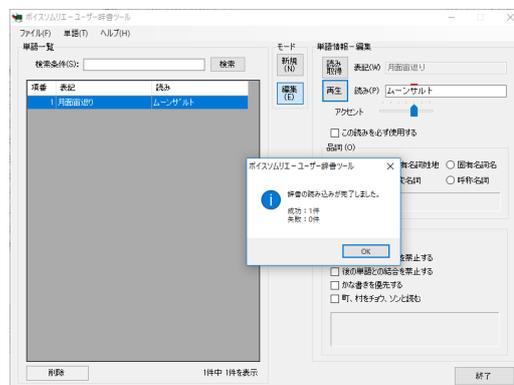
- 1 [ファイル] [辞書を開く] をクリックします。



- 2 辞書ファイル (.csv) を選択し、[開く] をクリックします。



- 3 辞書の内容が、単語一覧リストに反映されます。



18章5 辞書を編集する

18.5.1 単語を追加する

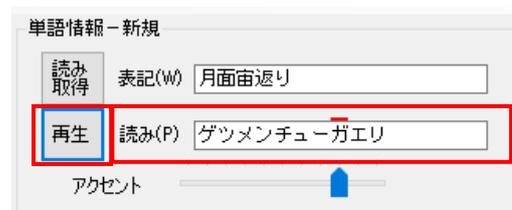
- 1 [新規] をクリックし新規モードにします。



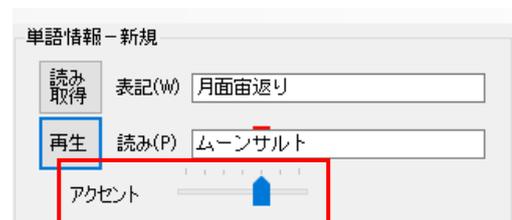
- 2 単語の表記を入力し、[読み取得] をクリックします。



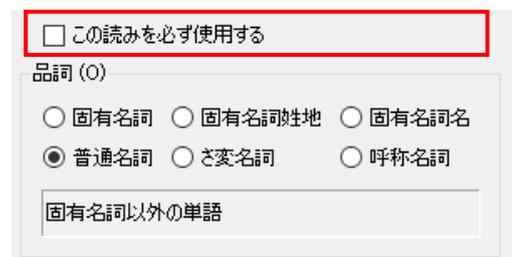
- 3 読み解析結果が表示されますので、[再生] をクリックし読み上げを確認します。



- 4 読み上げを確認しながら、アクセント位置を調整します。



- 5 必要に応じて [この読みを必ず使用する] を設定します。



<ポイント>

- [この読みを必ず使用する] にチェックすると、登録した品詞や前後の文章内容に関わらず、文中に対象表記が現れた箇所を、強制的に登録した読みにします。登録した読みが適用されない場合は、こちらを設定してください。

6 単語の品詞を選択します。

品詞 (0)

固有名詞 固有名詞姓地 固有名詞名
 普通名詞 さ変名詞 呼称名詞

会社名、団体名 など

品詞	説明
固有名詞	会社名、団体名などで使用します。
固有名詞姓地	人名（姓）、地名などで使用します。
固有名詞名	人名（下の名前）で使用します。
普通名詞	固有名詞以外の単語で使用します。
さ変名詞	「する」（さ変動詞）をつけて動詞化する単語で使用します。
呼称名詞	部長、課長などで使用します。

<ポイント>

- 名詞以外の単語を登録する場合は普通名詞として登録してください。

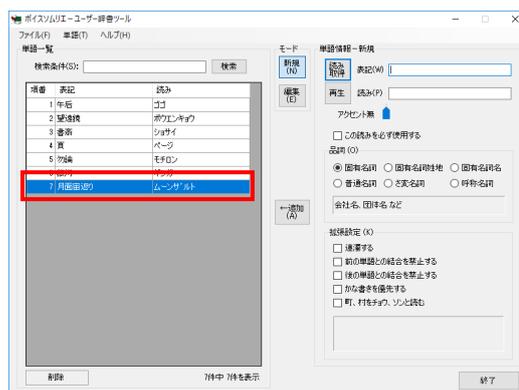
7 必要に応じて拡張設定を選択します。

拡張設定 (K)

連濁する
 前の単語との結合を禁止する
 後の単語との結合を禁止する
 かな書きを優先する
 町、村をチョウ、ソンと読む

設定	説明
連濁する	この単語が前の単語とアクセント結合（一繋がりのアクセントとなるように単語を接続）したときに濁音化するかどうか。 （例：会社【かいしゃ】→ 株式会社【かぶしきがいしゃ】）
前の単語との結合を禁止する	この単語が前の単語とアクセント結合しないかどうか。
後の単語との結合を禁止する	この単語が後の単語とアクセント結合しないかどうか。
かな書きを優先する	この単語が漢字・英字語だった場合に、読みで表記されても、この単語とマッチさせる。 （例：蠅螂【かまきり】のように仮名表記されやすい単語でチェック ON にすることで、文章中に「かまきり」と仮名表記があった場合に、辞書登録した発音で読み上げる。）
町、村をチョウ、ソンと読む	この単語に「町」「村」が結合した場合に、「～チョウ」「～ソン」と読む。

8 [追加] をクリックすると、[単語一覧] に追加されます。

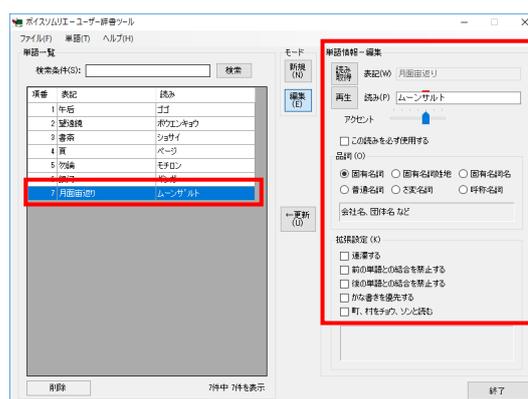


18.5.2 単語を修正する

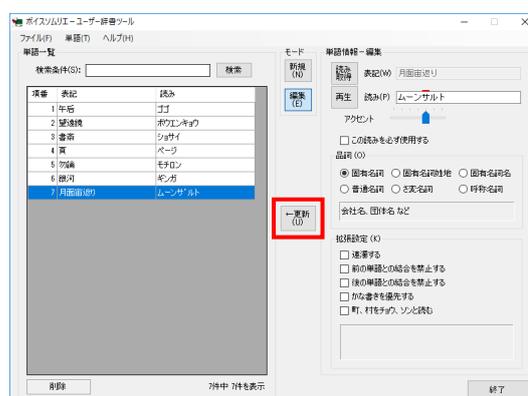
1 [編集] をクリックし編集モードにします。



2 [単語一覧] から修正する単語を選択すると、[単語情報] に内容が表示されます。



3 必要に応じて修正を行い、[更新] をクリックします。

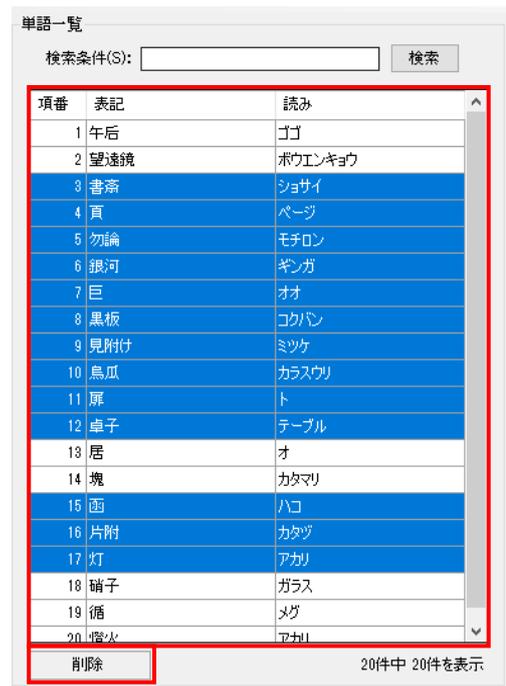


<注意>

- 表記は修正できません。

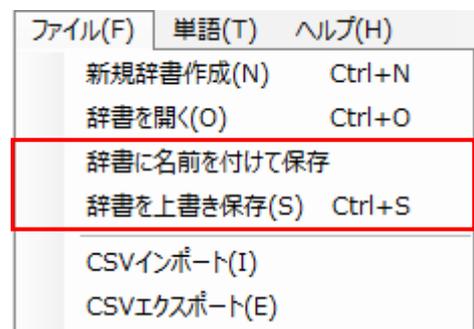
18.5.3 単語を削除する

- 1 [単語一覧] から、削除する単語を選択し、[削除] をクリックします。

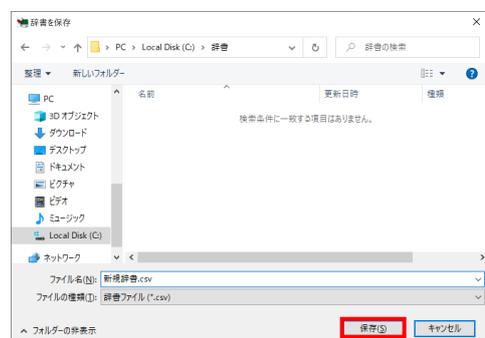


18章6 辞書を保存する

- 1 [ファイル] [辞書に名前を付けて保存] もしくは [辞書を上書き保存] をクリックします。



- 2 [辞書に名前を付けて保存] の場合は、辞書ファイル名を指定し、[保存] をクリックします。



<ポイント>

- 保存した辞書ファイルの本ソフトウェアで使用する場合は、設定が必要です。【16.1.4 音声合成の設定をする 参照】
- 2種類の辞書ファイル（.csv、.dic）が保存されます。CSV ファイルは [ユーザー辞書ツール] 用のファイルとなり、DIC ファイルは本ソフトウェア用のファイルとなります。

<注意>

- 辞書の保存には、最低 1 件のデータが必要となります。
- 辞書ファイルの出力先を、「C:¥Program Files (x86)¥PLEXTALKProducer¥」に設定すると、DIC ファイルが出力されない場合がありますので、出力先をデスクトップ上や「ドキュメント」内のフォルダなどに変更してください。

18章7 辞書のインポート、エクスポート

18.7.1 他の辞書を取り込む

辞書を開く操作と同様の手順で行えます。

【18章4 辞書を開く 参照】

18.7.2 辞書を取り出す

辞書を保存する操作と同様の手順で行えます。

【18章6 辞書を保存する 参照】

19章 簡単取り込みオプション

この章では、本オプションについて説明します。

19章1 概要

本オプションは、レイアウトツール、文字化ツールで構成されます。

レイアウトツールでは PDF や画像ファイルから、テキストや画像の位置を範囲指定し、取り込む順番を設定して、同時に取り込むことができます。スキャナでスキャンした PDF など、文字情報が含まれないファイルからテキストを取り込む場合は、文字化ツールが自動的に動作します。

<注意>

- 本オプションは別売です。
- PLEXTALKProducer とは別にライセンス認証が必要です。

19章2 セットアップ

19.2.1 ライセンスを認証する

本オプションをご利用いただくためには、PLEXTALKProducer とは別にライセンス認証を行う必要があります。ライセンス認証に必要なシリアル No.は、本オプションの「シリアル No.のご案内」に記載されています。

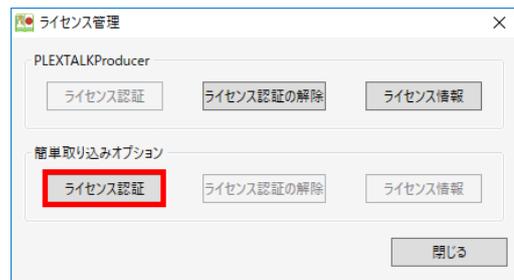
<注意>

- ライセンス認証にはインターネット回線が必要です。インターネットへの接続を行ってから認証をしてください。

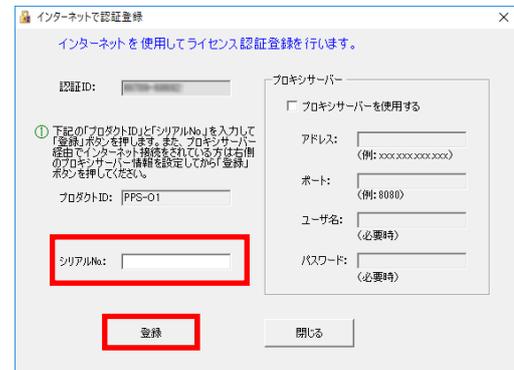
- 1 PLEXTALKProducer を起動します。
- 2 リボン右上の [ライセンス管理] をクリックして [ライセンス管理] を表示します。



- 3 [簡単取り込みオプション] の [ライセンス認証] をクリックします。



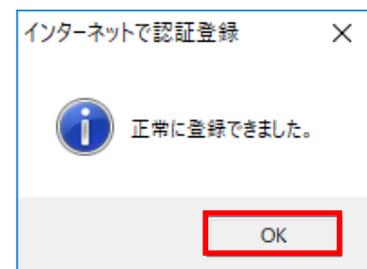
- 4 [インターネットで認証登録] が表示されますので、シリアル No.を入力し [登録] をクリックします。



<注意>

- プロキシサーバーを経由してインターネットへアクセスしている場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。プロキシサーバーの設定については、ネットワーク責任者にお問い合わせください。
- PLEXTALKProducer のライセンス認証がされている必要があります。

- 5 登録完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックして終了します。



19.2.2 ライセンス認証を解除する

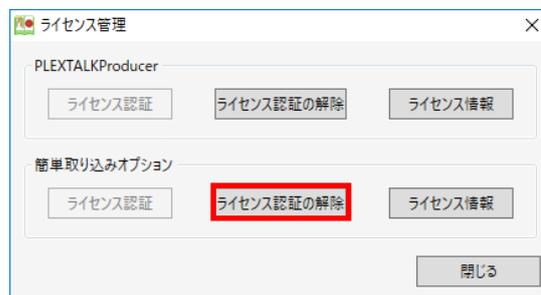
<注意>

- ライセンス認証の解除には認証同様インターネット回線が必要です。
- 簡単取り込みオプションのライセンスが認証状態で PLEXTALKProducer のライセンス認証を解除しようとした場合は、両方のライセンス解除を続けて行います。

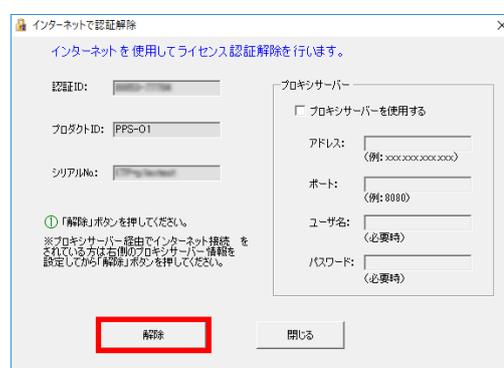
- 1 リボン右上の [ライセンス管理] をクリックして [ライセンス管理] を表示します。



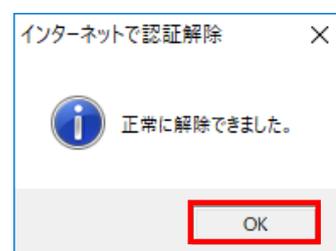
- 2 [簡単取り込みオプション] の [ライセンス認証の解除] をクリックします。



- 3 [インターネットで認証解除] が表示されますので、[解除] をクリックします。



- 4 解除完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



19章3 レイアウトツール

19.3.1 起動と終了

19.3.1.1 起動する

- 1 PLEXTALKProducerのリボン [ファイル] の [他のファイルから取り込む] をクリックします。



<ポイント>

- PLEXTALKProducerの画面へPDFや画像ファイルをドラッグ&ドロップすると、自動でレイアウトツールが起動します。

<注意>

- レイアウトツール起動中は全ての編集が行えません。

19.3.1.2 終了する

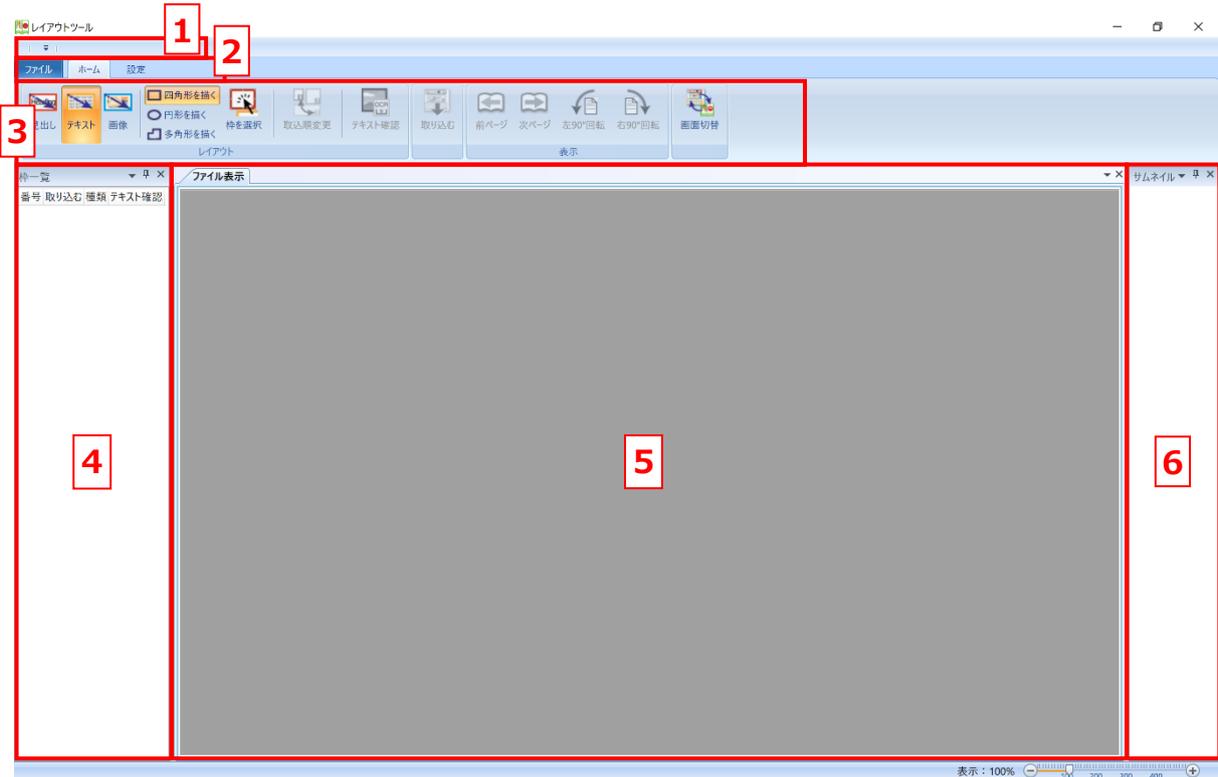
- 1 レイアウトツールのリボン [ファイル] の [終了] をクリックします。



19.3.2 各部名称と働きについて

レイアウトツールのメイン画面は、リボンで構成されるメニューと、枠一覧・ファイル表示・サムネイルの各画面で構成されます。

19.3.2.1 メイン画面について



項目	説明	
1	クイックアクセス ツールバー	よく使用する機能を表示する小さくてカスタマイズ可能なツールバーです。
2	タブ	[ファイル] [ホーム] [設定] の3つのタブから構成されます。
3	リボン	タブで選択したメニュー項目が表示されます。
4	枠一覧	ファイル上に設定した枠の一覧を表示します。
5	ファイル表示	取り込むファイルの内容を表示します。取り込みたい枠の種類と形状、取り込み順番の設定をしてからプロジェクトに取り込みます。
6	サムネイル	取り込むファイルのサムネイル（縮小見本）を表示します。

<ポイント>

- 各画面は、個別の移動や配置の変更が自由にできます。例えば枠一覧を別画面で確認することができます。
- 枠一覧画面とファイル表示画面には、右クリックで表示されるメニュー（コンテキストメニュー）が設定されています。
- 機能の一部には、ショートカットキーが設定されています。
【20.2.3 簡単取り込みオプションショートカットキー一覧 参照】

19.3.2.2 ファイルタブについて

ファイルを開く、データの取り込みなど、ファイルに関する機能で構成されています。



19.3.2.3 ホームタブについて



レイアウト設定でよく利用される枠の設定などの機能で構成されています。

19.3.2.4 設定タブについて



ファイル表示設定や画面構成に関する機能で構成されています。

19.3.3 ファイルを開く

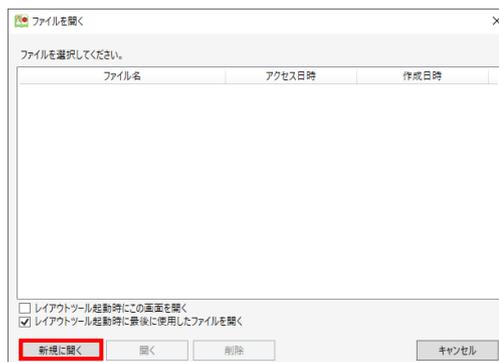
レイアウトツールでは PDF や画像ファイルから、テキストや画像の位置を範囲指定し、取り込む順番を設定して、同時に取り込むことができます。

19.3.3.1 新規にファイルを開く

- 1 リボン [ファイル] の [開く] をクリックします。



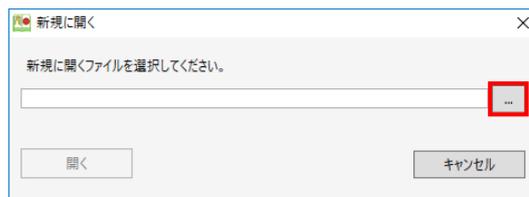
- 2 [ファイルを開く] が表示されますので、
[新規に開く] をクリックします。



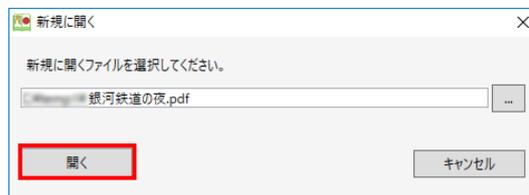
<ポイント>

- [レイアウトツール起動時にこの画面を開く] にチェックを入れると、レイアウトツール起動時に [ファイルを開く] 画面が開きます。
- [レイアウトツール起動時に最後に使用したファイルを開く] にチェックを入れると、次回レイアウトツールを起動した際に最後に使用したファイルが開きます。

- 3 [新規に開く] が表示されますので、取り込むファイルを選択します。



- 4 [開く] をクリックします。

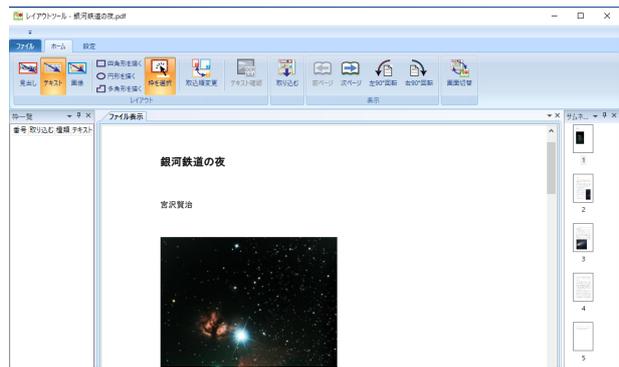


<ポイント>

- レイアウトツールで開くことができるファイルは PDF、画像ファイルです。
- ファイルは作業領域にコピーされ、コピーされたファイルを開きます。
- レイアウトツールで Excel、Word、一太郎ファイルを選択した場合は、作業領域にコピーされ、コピーされたファイルをそれぞれ関連付けされたアプリケーションで開き、レイアウトツールは自動で閉じます。

【20章6 レイアウトツールで取り込み可能なフォーマット一覧 参照】

- 5 選択したファイルが [ファイル表示] に表示されます。



<ポイント>

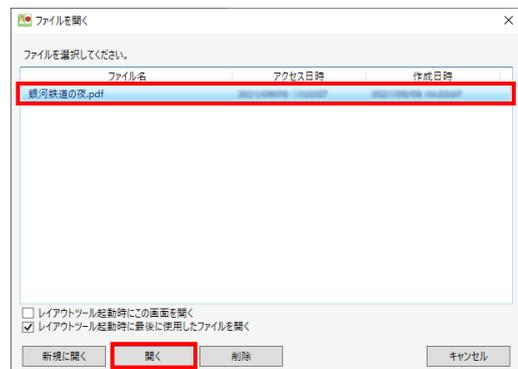
- PDF や画像ファイルをレイアウトツール画面へドラッグ&ドロップすることで、[ファイル表示] に表示されます。

19.3.3.2 過去に開いたファイルを開く

- 1 リボン [ファイル] の [開く] をクリックします。



- 2 [ファイルを開く] が表示されますので、ファイルのリストから取り込むファイルを選択し [開く] をクリックします。

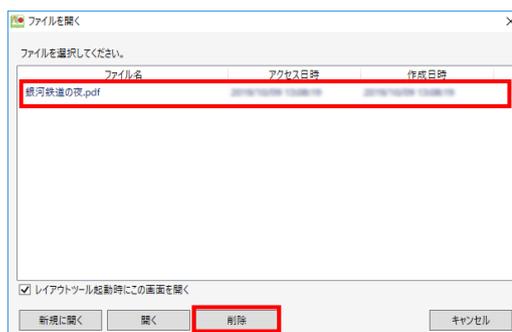


19.3.3.3 過去に開いたファイルを削除する

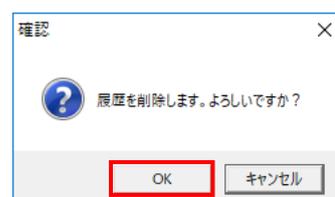
- 1 リボン [ファイル] の [開く] をクリックします。



- 2 [ファイルを開く] で削除するファイルを選択し、[削除] をクリックします。



- 3 履歴削除の確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



<注意>

- 作業領域にコピーされたファイルが削除され、元のファイルは削除されません。

19.3.4 表示を拡大・縮小する

- 1 レイアウトツール画面右下の[表示]を調整すると、表示が拡大・縮小し、表示の倍率が表示されます。



19.3.5 ページを移動する

- 1 次のページに移動する場合は、リボン [ホーム] の [次ページ] をクリックします



- 2 前のページに移動する場合は、リボン [ホーム] の [前ページ] をクリックします。



- 3 任意のページに移動する場合は、[サムネイル] の画像をクリックします。



<ポイント>

- 見開き表示の場合は、見開き単位でページを移動します。

19.3.6 表示を回転する

- 1 選択中ページの表示を左回りで 90°回転する場合は、リボン [ホーム] の [左 90°回転] をクリックします。



- 2 選択中ページの表示を右回りで 90°回転する場合は、リボン [ホーム] の [右 90°回転] をクリックします。



<ポイント>

- 見開き表示の場合は、選択中のページのみ回転します。
選択中のページは、レイアウトツール画面左下の [ページ] にページ番号が表示されます。



<注意>

- 結合枠のある見開き表示の場合は、結合枠は解除されます。

19.3.7 画面を切り替える

レイアウトツール画面から PLEXTALKProducer 画面へ切り替えます。

- 1 リボン [ホーム] の [画面切替] をクリックすると、PLEXTALKProducer 画面に切り替わります。



<ポイント>

- PLEXTALKProducer 画面から、レイアウトツール画面に切り替える場合は、PLEXTALKProducer のリボン [ファイル] の [他のファイルから取り込む] をクリックします。

19.3.8 枠を設定

取り込みたいテキストや画像の位置に枠を設定します。

- 1 リボン [ホーム] の [レイアウト] から、枠の種類を選択します。



枠の種類	説明	初期値
見出し	見出しフレーズとして取り込みます。 プロジェクトに取り込むとき、見出しの枠の位置で新規のセクションを挿入します。見出し枠内に文字情報が無い場合は、文字化ツールでテキストを抽出します。	
テキスト	通常フレーズとして取り込みます。 テキスト枠内に文字情報が無い場合は、文字化ツールでテキストを抽出します。	○
画像	画像として取り込みます。枠の形で画像をトリミングします。	

- 2 リボン [ホーム] の [レイアウト] から、枠の形を選択します。



枠の形	説明	初期値
四角形を描く	マウス操作で四角形の枠を設定します。	
円形を描く	マウス操作で円形（楕円を含む）の枠を設定します。	

多角形を描く	角にしたいポイントをマウスで選び、最後にダブルクリックで枠を閉じます。文字列の回り込みがある場合や、四角形では画像が含まれてしまう場合などで利用します。	
--------	--	--

- 3 [ファイル表示] で、取り込む部分をドラッグして枠を設定します。



- 4 同様の手順を繰り返し、「見出し」「テキスト」「画像」として取り込む部分を設定します。



<ポイント>

- 枠はページごとに設定します。ページにまたがって枠を設定することはできません。
- 枠の種類や位置、大きさは、後から変更することができます。
【19.3.9 枠を編集する参照】
- 枠の設定後、[枠の選択] が自動的に選択されますが、四角形の枠は続けて設定することができます。

<注意>

- [枠の選択] が選択されている場合、重ねて枠を設定することができません。予め枠の形を選択してから枠を設定してください。

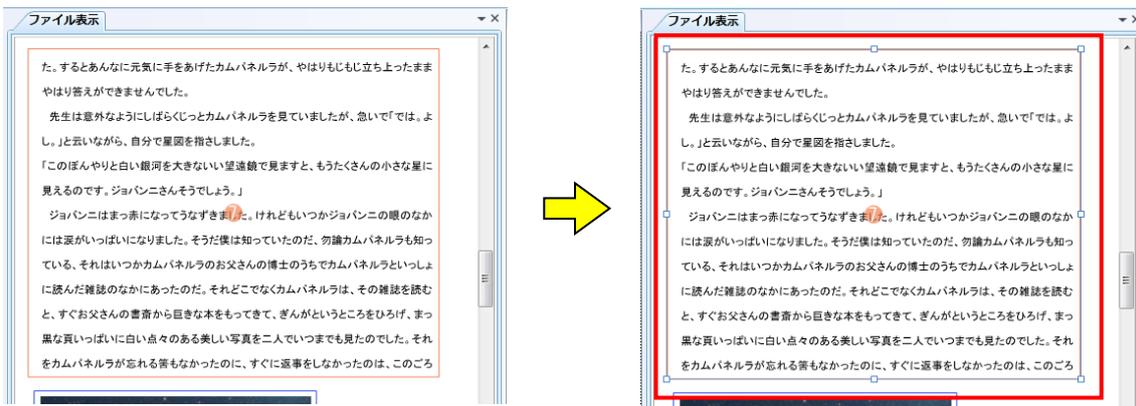
19.3.9 枠を編集する

19.3.9.1 位置やサイズを変更する

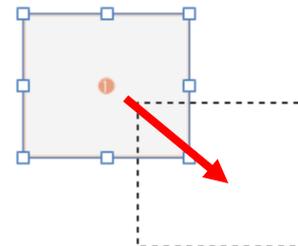
- 1 リボン [ホーム] の [レイアウト] [枠を選択] をクリックします。



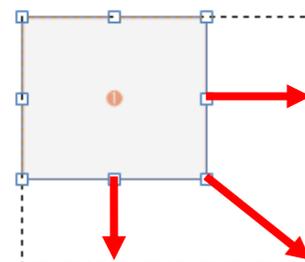
- 2 [ファイル表示] で、位置を移動する枠をクリックします。頂点や間に□が表示され、選択された状態になります。



- 3 枠の範囲内をドラッグして枠を移動します。



- 4 頂点や間の□をドラッグして枠の大きさを変更します。



19.3.9.2 枠の種類を変更する

- 1 リボン [ホーム] の [レイアウト] [枠を選択] をクリックします。



- 2 [ファイル表示] で、種類を変更する枠をクリックします。



- 3 右クリックで表示されるメニューを開き、[枠の種類変更] をクリックし、設定内から変更したい種類を選択します。



<ポイント>

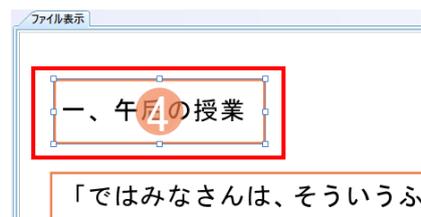
- [枠一覧] から同様に右クリックで表示されるメニューから枠の種類を変更することができます。

19.3.9.3 枠を削除する

- 1 リボン [ホーム] の [レイアウト] [枠を選択] をクリックします。



- 2 [ファイル表示] で、削除する枠をクリックします。



- 3 右クリックで表示されるメニューを開き、[枠を削除] をクリックします。



<ポイント>

- [枠一覧] から同様に右クリックで表示されるメニューから枠の削除をすることができます。

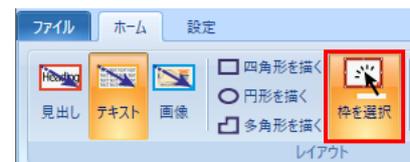
19.3.9.4 枠を結合する

見開き表示で左右のページにまたがったテキストや画像は、それぞれのページの枠を結合して取り込むことができます。

- 1 リボン [設定] の [見開き表示] にチェックを入れます。



- 2 リボン [ホーム] の [レイアウト] [枠を選択] をクリックします。



- 3 [ファイル表示] で、結合する枠をクリックします。



- 4 右クリックで表示されるメニューを開き、[結合枠の選択] をクリックします。



- 5 [ファイル表示] で、結合したい枠をクリックします。



- 6 枠内に結合先の枠の番号が表示されます。



<ポイント>

- [枠一覧] から同様に右クリックで表示されるメニューから枠を結合することができます。
- 結合先の枠を選択した時には、左右の枠を同じ高さに自動で調整します。

<注意>

- 同一ページ内では、枠の結合はできません。
- ページの表示を回転する等して、左右ページの高さが異なる場合は、枠の結合はできません。

19.3.9.5 枠の結合を解除する

- 1 リボン [ホーム] の [レイアウト] [枠を選択] をクリックします。



- 2 [ファイル表示] で結合を解除する枠をクリックします。



- 3 右クリックで表示されるメニューを開き、[結合枠の解除] をクリックします。



- 4 結合先の枠の番号設定がなくなります。



<ポイント>

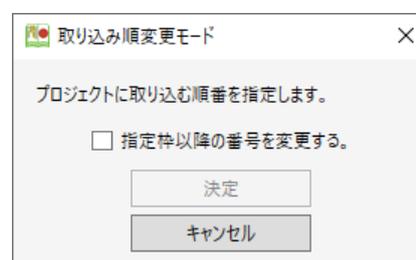
- [枠一覧] から同様に右クリックで表示されるメニューから枠の結合を解除することができます。

19.3.9.6 取り込む順番を変更する

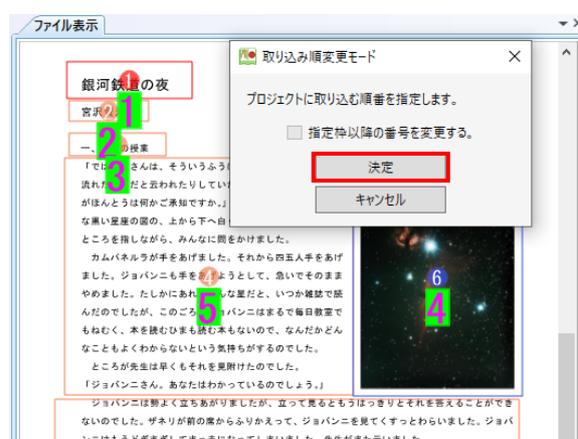
- 1 リボン [ホーム] の [取込順変更] をクリックします。



- 2 [取り込み順変更モード] が表示されますので、[ファイル表示] で取り込みたい順番に枠をクリックします。



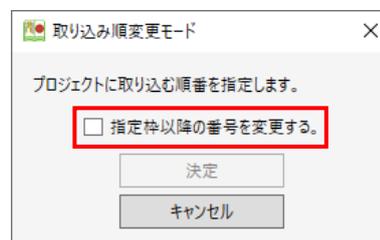
- 3 枠内に変更中の順番が表示されます。



- 4 [決定] をクリックします。

<ポイント>

- 取り込み順を変更中に順番を設定し直す場合は、[取り込み順変更モード] の [キャンセル] をクリックします。変更中の順番がキャンセルできます。
- [指定枠以降の番号を変更する] にチェックを入れると、最初に選択した枠番号を開始番号として設定することができます。



- [枠一覧] から枠をドラッグして順番を変更することができます。



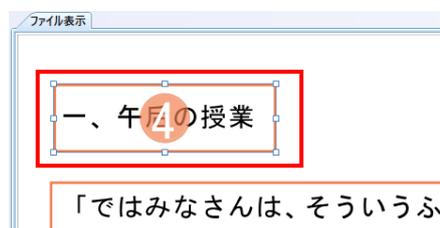
19.3.10 取り込むテキストを確認する

プロジェクトに取り込む前にテキスト枠や見出し枠で設定した部分の文字情報を確認します。

- 1 リボン [ホーム] の [レイアウト] [枠を選択] をクリックします。



- 2 [ファイル表示] で、テキストを確認するテキスト枠または見出し枠をクリックします。頂点や間に□が表示され、選択された状態になります。



- 3 リボン [ホーム] の [テキスト確認] をクリックします。



4 [テキスト確認] に、文字化前の画像と、テキストが表示されます。



<ポイント>

- 文字情報が含まれたテキスト枠や見出し枠の場合は、文字情報をそのまま表示します。また、文字情報が含まれないテキスト枠や見出し枠の場合は、文字化ツールで抽出したテキストを表示します。

【19章4 文字化ツール 参照】

- テキスト確認したテキスト枠や見出し枠は、[枠一覧] の [テキスト確認] に自動で [済] が設定されます。

番号	取り込む	種類	テキスト確認
1	<input checked="" type="checkbox"/>	見出し	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	テキスト	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	画像	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	テキスト	済
5	<input checked="" type="checkbox"/>	テキスト	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	テキスト	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	テキスト	

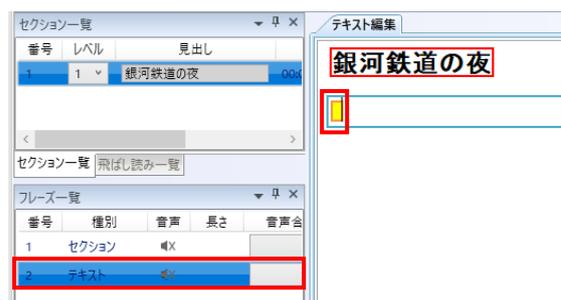
- テキストを確認せずに取り込む場合、文字情報が含まれない見出し枠やテキスト枠は、文字化ツールが自動で動作しテキストを抽出します。

19.3.11 取り込む

枠を設定した部分をプロジェクトに取り込みます。テキスト枠や見出し枠に文字の情報が含まれない場合、文字化ツールが動作します。

19.3.11.1 取り込みの位置を設定する

- 1 取り込みの前に、PLEXTALKProducer の [テキスト編集] で、取り込みたい箇所の次のフレーズを選択します。



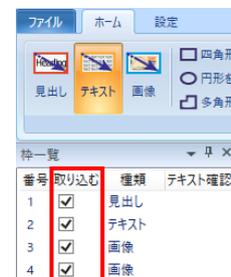
<ポイント>

- [テキスト編集] で見出しを選択して取り込む時は、取り込む範囲の先頭の枠を見出し枠に設定してください。



19.3.11.2 取り込む枠を選択する

[枠一覧] の [取り込む] にチェックを入れます。チェックされている枠だけが取り込まれます。



<ポイント>

- 枠を設定した時に、自動でチェックをありに設定します。
- 一度取り込むと、自動でチェックをなしに設定します。
- 再度取り込みたい場合は、チェックを設定してから取り込んでください。
- 右クリックで表示されるメニュー [すべての枠にチェックを入れる] により、すべての枠のチェックをありにできます。
- 右クリックで表示されるメニュー [すべての枠のチェックを外す] により、すべての枠のチェックをなしにできます。
- 右クリックで表示されるメニュー [すべての枠を削除] により、すべての枠を削除することができます。

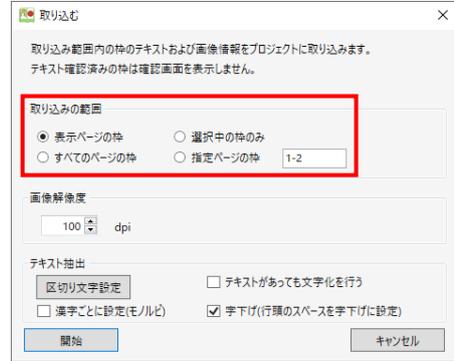


19.3.11.3 取り込みを開始する

- 1 リボン [ホーム] の [取り込む] をクリックします。



- 2 [取り込む] が表示されますので、取り込みの範囲を選択します。



取り込みの範囲	説明	初期値
表示ページの枠	[ファイル表示] に表示されているページの枠を取り込みます。 見開き表示の場合は、2 ページ分の枠を取り込みます。	○
すべてのページの枠	すべてのページに設定した枠を取り込みます。	
選択中の枠のみ	選択している 1 つの枠のみを取り込みます。ステータスバーに枠の番号が表示されています。	
指定ページの枠	指定した範囲のページにある枠を取り込みます。 ページの範囲は、[開始ページ] — [終了ページ] で指定します。	

<ポイント>

- 取り込む範囲に見出し枠がある場合は、その枠のテキストを見出しとして新たにセクションを作成します。

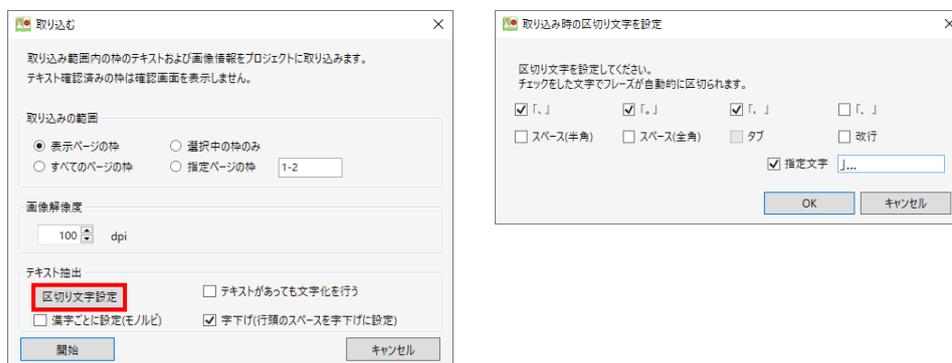
- 3 画像解像度で、画像を取り込む際の解像度を指定します。



<ポイント>

- 解像度が低いと画像が不鮮明になる場合があります。
- 解像度が高すぎると製作した DAISY のファイルサイズが大きくなり、表示上はみ出す場合があります。
- 画像のファイルサイズが 3MB を超える場合は、3MB 以下になるように自動で調整します。

- 4 [区切り文字設定] をクリックして、本文をフレーズに区切る文字を設定します。



<ポイント>

- [指定文字] は任意の区切り文字、記号を 1 文字ごと複数指定が可能です。
- 指定した区切り文字が連続する場合は、最後の区切り文字で区切られます。

<注意>

- 貼り付け時、テキストインポート時、レイアウトツールからの取り込み時の [区切り文字設定] は、それぞれ個別に設定できます。
【8章 1 テキストを取り込む (テキストファイルから取り込む) 参照】
【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】

5 [漢字ごとに設定(モノルビ)] にチェックを入れたら、ルビは漢字ごとに設定されます。



6 [テキストがあっても文字化を行う] にチェックを入れたら、すべてのテキスト枠または見出し枠で文字化ツールが動作し、テキストを抽出します。



7 [字下げ (行頭のスペースを字下げに設定)] にチェックを入れたら、段落の行頭のスペース (半角、全角) を字下げとして設定します。



<ポイント>

- 字下げは段落の先頭に設定されます。
- 取り込む枠の単位で段落として区切られます。

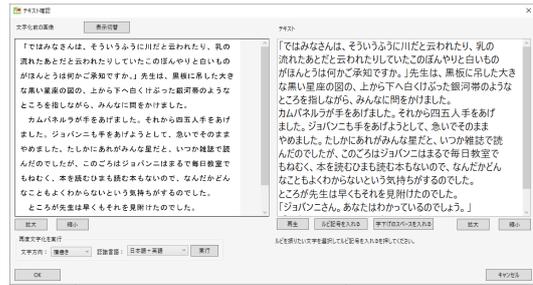
8 [開始] をクリックします。



9 テキストを確認せずに取り込む場合、文字情報が含まれない見出し枠やテキスト枠は、文字化ツールが自動で動作しテキストを抽出します。

[文字化ツールの結果] が表示されますので、直接テキストを編集してください。

[19章 4 文字化ツール 参照]



<ポイント>

文字化の精度が悪い場合は以下の方法で改善する場合があります。

- 文字化時の画像解像度を変更して実施します。

【19.3.12.3 文字化時の画像解像度を設定する 参照】

- 余白を多く含むように枠を設定します。

一、午後の授業

「ではみなさんは、そういうふう川だあとだと云われたりしていたこのぼんやは何かご承知ですか。」先生は、黒板にの、上から下へ白くけぶった銀河帯のよみんなに間をかけました。

カムパネルラが手をあげました。それがジョバンニも手をあげようとして、急い



一、午後の授業

「ではみなさんは、そういうふう川だあとだと云われたりしていたこのぼんやは何かご承知ですか。」先生は、黒板にの、上から下へ白くけぶった銀河帯のよみんなに間をかけました。

カムパネルラが手をあげました。それがジョバンニも手をあげようとして、急い

19.3.11.4 レイアウトツールの情報

プロジェクトを取り出す際に、レイアウトツールで表示したファイル、枠の情報、取り込み順番の情報を含めることができます。また、プロジェクトを取り込む際に、レイアウトツールの情報を取り込むことができます。

<ポイント>

- 設定した枠や取り込み順番の情報は自動で保存されます。

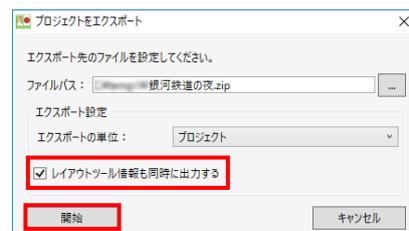
19.3.11.5 レイアウトツールの情報を取り出す

プロジェクトを取り出す際に、レイアウトツールの情報を含めることができます。

- 1 PLEXTALKProducer 画面で、リボン [ファイル] の [プロジェクトを取り出す] をクリックします。
【6章 2 編集集中のプロジェクトを取り出す 参照】



- 2 [プロジェクトをエクスポート] が表示されますので、[レイアウトツール情報も同時に出力する] にチェックを入れ [開始] をクリックします。



19.3.11.6 レイアウトツールの情報を取り込む

プロジェクトを取り込む際に、レイアウトツールの情報が含まれている場合は自動で取り込まれます。

【6章 1 編集したプロジェクトを取り込む 参照】

19.3.12 各種設定

19.3.12.1 ページ表示の設定をする

リボン [設定] の [表示] グループは、ページ表示に関する設定をします。



表示設定項目	説明	初期値
見開き表示	連続するページを見開きとして表示します。	チェックなし
先頭ページ別表示	見開き表示と合わせてチェックした場合、1 ページ目を独立して表示し、2-3 ページを一度に表示します。	チェックなし
右から左	見開き表示と合わせてチェックした場合、縦書きなどの右ページから左ページに進むように表示します。	チェックなし
枠を表示	[ファイル表示] に描いた枠を表示します。	チェックあり
テキストをハイライト	文字情報を含んだ形式の PDF の場合、チェックするとテキスト部分をハイライトします。文字情報の有無を確かめる場合に使用します。	チェックあり

19.3.12.2 文字化時の認識言語の設定をする

リボン [設定] の [文字化] [認識言語] は、文字化ツールが、画像からテキストに変換をする時の、認識言語を設定します。



表示設定項目	説明	初期値
日本語 + 英語	日本語と英語それぞれを認識し、テキスト変換します。	日本語 + 英語
日本語	日本語を認識し、テキスト変換します。[日本語 + 英語] よりも日本語の認識率が上がります。	
英語	英語を認識し、テキスト変換します。[日本語 + 英語] よりも英語の認識率が上がります。	

19.3.12.3 文字化時の画像解像度を設定する

リボン [設定] の [文字化] [文字化画像の解像度] は、文字化ツールが、画像からテキストに変換をする時の、画像解像度を設定します。



19.3.12.4 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする

リボン [設定] の [画面] グループは、画面に関する設定をします。



設定項目	説明	初期値
初期配置	各画面をインストール時の状態に戻します。	—
画面	各画面の表示・非表示を切り替えます。	チェックあり

- 1 画面をインストール時の状態に戻す時は、[初期配置] をクリックします。



- 2 画面の表示・非表示を切り替えるときは、[画面] をクリックします。

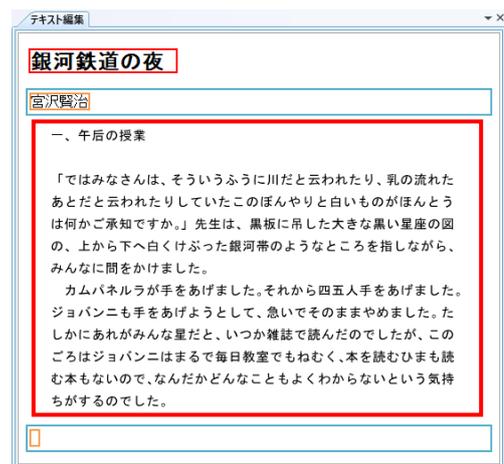
- 3 画面の一覧が表示されますので、表示する画面にチェックを入れます。また、非表示にする場合は画面のチェックを外します。



19章4 文字化ツール

文字化ツールは、画像内の文字をテキストに変換することができます。

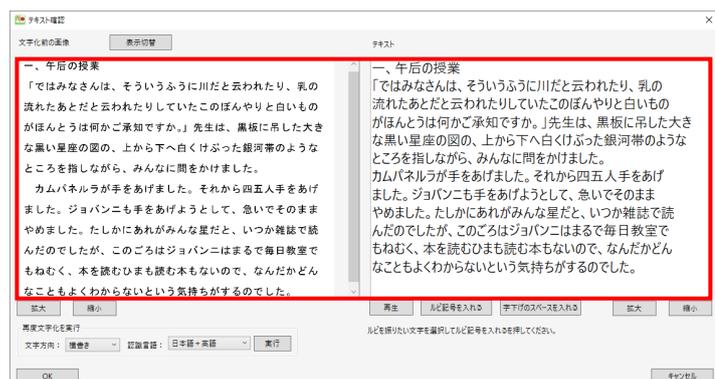
- 1 [テキスト編集] で、文字化する画像をクリックします。



- 2 リボン [ホーム] の [図表] [文字化] をクリックします。



- 3 [テキスト確認] に、文字化する画像と、文字化したテキストが表示されます。

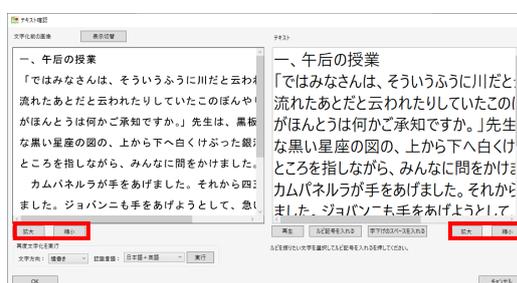


<ポイント>

- [表示切替] で、文字化する画像と、文字化したテキストの縦横表示を切り替えることができます。



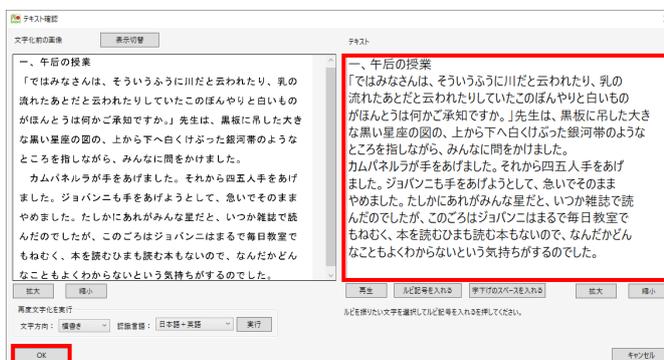
- それぞれの [拡大] [縮小] で、文字化する画像と、文字化したテキストの表示を、拡大・縮小することができます。



- [再生] で、文字化したテキストを音声で確認することができます。
- [文字方向] または [認識言語] を変更して、文字化を再実行することができます。



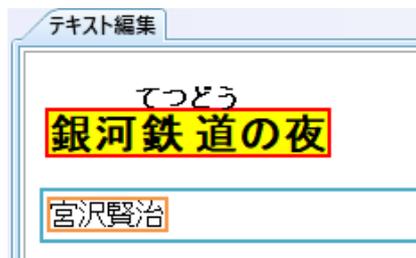
- ## 4 文字化したテキストに修正が必要な場合は、直接テキストを編集し、[OK] をクリックします。



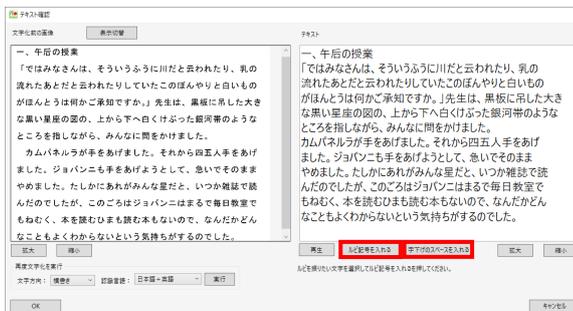
<ポイント>

- 文字化したテキストに、全角の|と《》でルビを設定することができます。

例) 銀河 | 鉄道 《てつどう》 の夜



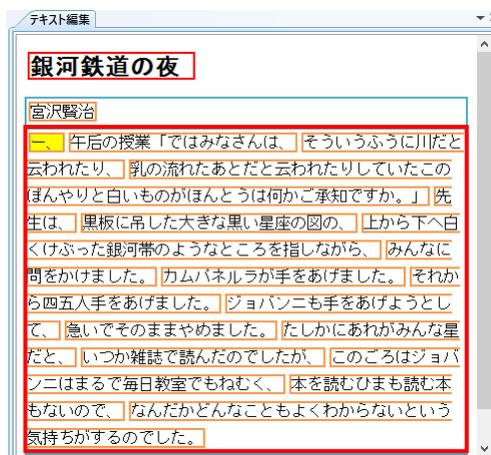
- ルビを設定したい文字列を選択し、[ルビ記号を入れる] をクリックすると、対象の文字列にルビ記号（全角の|と《》）を設定することができます。
- [字下げのスペースを入れる] をクリックすると、文字化したテキストの先頭に字下げのためのスペースを挿入します。



<注意>

- 文字化する画像からルビ情報が自動で取得できない場合は、その情報は破棄されて表示されます。

- 5 選択した画像が、文字化したテキストに置き換わります。



<ポイント>

- リボン [ホーム] の [図表] [文字化] からプロジェクトに取り込みをした場合は、貼り付け時の区切り文字設定に従います。
【16.1.3 貼り付けの設定をする 参照】
- レイアウトツールで文字化ツールが動作した場合は、レイアウトツールからの取り込み時の区切り文字設定に従います。
【19.3.11.3 取り込みを開始する 参照】

20章 付録

20章1 DAISY 出力対応機能一覧

ビルドブック時に有効・無効になる編集は次のとおりです。

機能		DAISY2.02	DAISY3	EPUB3	
編集	セクション	○	○	○	
	飛ばし読み	通常ページ	○	○※1	○
		前付ページ	○	○※1	○
		特殊ページ	○	○※1	○
		注釈（注番号）	○	○※1	○
		注釈	○	○	○
		製作者注	○	○	○
		サイドバー	○	○	○
		アノテーション	無効	○	○
		行番号	無効	○※1	○
	グループ	○	無効	無効	
フレーズ	○	○	○		
文字の方向	○	横書きのみ	○		
フォント	太字	○	○	○	
	下線	黒実線のみ	黒実線のみ	○	
	斜体	○	○	○	
	圏点	無効	無効	○	
	上付き	○	○	○	
	下付き	○	○	○	
	文字色	○	○	○	
	縦中横	無効	無効	○	
	ルビ	○	○	○	
段落	箇条書き	黒丸のみ	黒丸のみ	○	
	段組	無効	無効	○	
	配置	左・中・右	○	○	○
		上・中・下	○	左・中・右	○
	字下げ	○	○	○	
図表	画像	○	○	○	
	表	○	○	○	
	枠	○	○	○	
	区切り線	○	○	○	

※1 スタイルやルビが設定されている場合は、破棄してビルドブックを行います。

20章2 ショートカットキー一覧

20.2.1 PLEXTALKProducer ショートカットキー一覧

機能		ショートカットキー
プロジェクト	新規プロジェクト作成	Ctrl+N
	既存プロジェクトを開く	Ctrl+O
	プロジェクトを閉じる	Ctrl+F4
インポート	他のプロジェクトを取り込む	Ctrl+F6
	テキストファイルから取り込む	Ctrl+F9
	他のファイルから取り込む	Ctrl+F3
エクスポート	プロジェクトを取り出す	Ctrl+F7
	CD 書き込み	Ctrl+W
バックアップ	バックアップ	Ctrl+Shift+B
	バックアップの選択	Ctrl+Alt+B
	バックアップの復元	Enter
	バックアップのキャンセル	Esc
ビルドブック	—	Ctrl+B
書誌情報	—	Ctrl+I
終了	—	Alt+F4
セクション	セクション結合	Ctrl+J
	セクション分割	Ctrl+Q
	セクション作成	Shift+Insert
	セクション削除	Delete
飛ばし読み	飛ばし読み設定	Ctrl+S
	飛ばし読み解除	Ctrl+Alt+S
フレーズ	フレーズ設定	Ctrl+P
	フレーズ結合	Ctrl+J
	フレーズ作成	Ctrl+Insert
	フレーズ削除	Delete
	フレーズの自動分割	Ctrl+Enter
グループ	グループ設定	Ctrl+G
	グループ解除	Ctrl+Alt+G
マーク	マーク設定	Ctrl+M
	マーク解除	Ctrl+M
		Ctrl+Alt+M

	前へ移動	Ctrl+←
	次へ移動	Ctrl+→
テキスト検索	—	Ctrl+F
縦書き	—	Ctrl+Shift+D
横書き	—	Ctrl+Shift+D
フォント	ルビ設定	Ctrl+Shift+R
	ルビ編集	Ctrl+Shift+Enter
	ルビ削除	Ctrl+Alt+R
	ルビ全設定	Ctrl+Shift+A
	ルビ全削除	Ctrl+Alt+A
	ルビ種別切替	F2
	ルビ置換	Ctrl+H
	太字	Ctrl+B
	斜体	Ctrl+I
	下線	Ctrl+U
	文字色	Ctrl+L
	圏点	Ctrl+K
	上付き	Ctrl+Shift++
	下付き	Ctrl+Shift+-
画像	画像の挿入	Ctrl+Shift+Insert
	画像の書式	Ctrl+Shift+Enter
	画像の削除	Ctrl+Alt+Insert Delete
	文字化（オプション）	Ctrl+Shift+E
表	表の挿入	Ctrl+Shift+T
	列の挿入	Ctrl+Shift+C
	行の挿入	Ctrl+Shift+L
	表の書式	Ctrl+Shift+Enter
	表の削除	Ctrl+Alt+T
	列の削除	Ctrl+Alt+C
	行の削除	Ctrl+Alt+L
	セルを結合	Ctrl+Shift+J
	セルの結合を解除	Ctrl+Alt+J
枠	枠の挿入	Ctrl+Shift+F
	枠の書式	Ctrl+Shift+Enter
	枠の削除	Ctrl+Alt+F
区切り線	区切り線の挿入	Ctrl+Shift+H
	区切り線の削除	Ctrl+Alt+H
箇条書き	箇条書き挿入	Ctrl+Shift+I

	箇条書き解除	Ctrl+Alt+I
段組	段組の挿入 2 段	Ctrl+Shift+2
	段組の挿入 3 段	Ctrl+Shift+3
	段組の挿入 4 段	Ctrl+Shift+4
	段組の解除	Ctrl+Shift+1
文字揃え（横書き）	左揃え	Ctrl+Shift+←
	中央揃え	Ctrl+Shift+N
	右揃え	Ctrl+Shift+→
文字揃え（縦書き）	上揃え	Ctrl+Shift+↑
	中央揃え	Ctrl+Shift+N
	下揃え	Ctrl+Shift+↓
字下げ	字下げの設定	Ctrl+Space
	字下げの解除	Ctrl+Space
縦中横	縦中横の設定	Ctrl+T
	縦中横の解除	Ctrl+T
履歴	元に戻す	Ctrl+Z
	やり直す	Ctrl+Y
発音	発音の設定	Ctrl+Shift+P
	発音の削除	Ctrl+Alt+P
	辞書	Ctrl+D
再生	フレーズ再生	Shift+F5
	連続再生	F5
	再生停止	F5
	再生音量を上げる	F3
	再生音量を下げる	Shift+F3
	再生速度を早くする	F6
	再生速度を遅くする	Shift+F6
録音	上書き	F8
	パンチイン	Shift+F8
	同期位置再設定	F9
	送り	Enter
	一時停止	Shift+Space
	停止	Space
	マーク	M
	音声ファイルインポート	Ctrl+F8
	再同期	F7
	クリーンアップ	Shift+F7
	マイク音量を上げる	F4
	マイク音量を下げる	Shift+F4

再生確認	—	Ctrl+F5
設定	貼り付け	Ctrl+Alt+V
	音声合成	Ctrl+Shift+S
	録音	Ctrl+R
	作業領域	Ctrl+Shift+W
	文字サイズ大きく	Ctrl+ ↑
	文字サイズ小さく	Ctrl+ ↓
	画面初期配置	F12
テキスト編集	切り取り	Ctrl+X
	コピー	Ctrl+C
	貼り付け	Ctrl+V
	貼り付け (値のみ)	Ctrl+Shift+V
	段落挿入	Shift+Enter
	文字列の回り込み解除	Ctrl+E
	選択範囲のスタイル解除	Shift+Delete
	次の段の先頭に設定	Ctrl+Alt+Enter
フレーズ一覧	フレーズの音声コピー	Ctrl+C
	フレーズに音声貼り付け	Ctrl+V
	フレーズ削除	Delete
	フレーズの音声削除	Ctrl+Delete
	再生順序の変更	Ctrl+Alt+O
	上へ移動	Ctrl+Alt+ ↑
	下へ移動	Ctrl+Alt+ ↓
セクション一覧	セクション削除	Delete
	セクションの音声削除	Ctrl+Delete
	上へ移動	Ctrl+Alt+ ↑
	下へ移動	Ctrl+Alt+ ↓
波形表示	現在位置からフレーズ再生	Shift+F5
	現在位置から連続再生	F5/Space
	範囲選択内を再生	Shift+F5
	音声の切り取り	Ctrl+X
	音声のコピー	Ctrl+C
	音声の貼り付け	Ctrl+V
	音声の削除	Delete
	拡大	Ctrl+ ↑
	縮小	Ctrl+ ↓
	全体表示	Ctrl+Shift+ ↓
	前のフレーズへ移動	Ctrl+Alt+←
	次のフレーズへ移動	Ctrl+Alt+→

	同期位置を 1 秒前へ移動	Ctrl+←
	同期位置を 0.1 秒前へ移動	Ctrl+Shift+←
	同期位置を 0.1 秒後へ移動	Ctrl+Shift+→
	同期位置を 1 秒後へ移動	Ctrl+→
	前のフレーズも範囲選択に含める	Shift+←
	次のフレーズも範囲選択に含める	Shift+→
	再同期	F7
ライセンス管理		F11
バージョン情報	—	F1

20.2.2 再生確認用ソフトウェアショートカットキー一覧

機能		ショートカットキー
ファイル	開く	Ctrl+O
	終了	Alt+F4
移動	前セクション	Ctrl+←
	次セクション	Ctrl+→
	前フレーズ	←
	次フレーズ	→
	前ページ	Ctrl+↑
	次ページ	Ctrl+↓
	前グループ	Shift+←
	次グループ	Shift+→
再生	連続再生	F5
	再生停止	F5
	再生音量を上げる	F3
	再生音量を下げる	Shift+F3
	再生音量をミュートにする	Ctrl+Shift+F3
	再生速度を早くする	F6
	再生速度を遅くする	Shift+F6
	再生速度を標準にする	Ctrl+Shift+F6
書誌情報	—	Ctrl+I
設定	内蔵音声合成・SAPI 切り替え	Ctrl+Shift+T
	音声合成	Ctrl+T
	辞書	Ctrl+D
	飛ばし読みを図書設定にする	Ctrl+Shift+S
	文字サイズ大きく	Ctrl+Shift++
	文字サイズ小さく	Ctrl+Shift+-

	ルビ非表示	Ctrl+Shift+R
	画像非表示	Ctrl+Shift+I
	画面初期配置	F12
バージョン情報	—	F1

20.2.3 簡単取り込みオプションショートカットキー一覧

機能		ショートカットキー
ファイル	開く	Ctrl+O
	閉じる	Ctrl+F4
	取り込む	Ctrl+I
	終了	Alt+F4
レイアウト	見出し選択	Ctrl+H (枠を未選択時)
	テキスト選択	Ctrl+T (枠を未選択時)
	画像選択	Ctrl+G (枠を未選択時)
	四角形を描く	Ctrl+R
	円形を描く	Ctrl+E
	多角形を描く	Ctrl+P
	枠を選択	F2
	取込順変更	F3
	テキスト確認	Ctrl+Shift+E
取り込む	—	Ctrl+I
表示	前ページ	PageUp
	次ページ	PageDown
	左 90°回転	Ctrl+Shift+Q
	右 90°回転	Ctrl+Q
画面切替	—	Ctrl+F3
設定	見開き表示	Ctrl+W
	先頭ページ別表示	Ctrl+D
	右から左	Ctrl+N
	枠を表示	F7
	テキストをハイライト	F8
	初期配置	F12
枠一覧 ファイル表示	見出し枠へ変更	Ctrl+H (枠を選択時)
	テキスト枠へ変更	Ctrl+T (枠を選択時)
	画像枠へ変更	Ctrl+G (枠を選択時)
	枠の削除	Del
	すべての枠を削除	Ctrl+Del
	結合枠の選択	Ctrl+L

	結合の解除	Ctrl+Alt+L
	すべての枠にチェックを入れる	Ctrl+M
	すべての枠のチェックを外す	Ctrl+Alt+M
文字化ツールの結果	テキストの再生	F5
	テキストの再生停止	F5

20章3 各音質の CD1 枚に記録できる時間の目安と主な用途

音質	74 分メディアの記録時間の目安 (80 分メディア)	主な用途
① PCM 44.1kHz ステレオ	60 分 (65 分)	マスター用データ (ステレオ) 音楽 CD と同じ音質
② PCM 44.1kHz モノラル	120 分 (130 分)	マスター用データ (モノラル)
③ PCM 22.05kHz モノラル	240 分 (260 分)	朗読音声等のマスター用データ (モノラル)
④ MP3 128kbps ステレオ (サンプリング周波数 : 44.1kHz)	10 時間 (11 時間)	標準音質の音楽データ (ステレオ) ①と音質劣化がわからないレベルで、約 10 倍のデータを記録可能。
⑤ MP3 64kbps モノラル (サンプリング周波数 : 44.1kHz)	20 時間 (22 時間)	高音質な朗読・会議録
⑥ MP3 32kbps モノラル (サンプリング周波数 : 22.05kHz)	40 時間 (45 時間)	一般的な朗読・会議録 (音質・中)

20章4 インポート可能な音声フォーマット一覧

種類	拡張子名	内容
MPEG1 LayerIII	mp3, wav	ビットレート : 32kbps~320kbps モノラル・ステレオ/ジョイントステレオ
MPEG2 LayerIII	mp3, wav	ビットレート : 8kbps~160kbps モノラル/ステレオ/ジョイントステレオ
PCM	wav	量子化ビット数 : 8bit/16bit モノラル/ステレオ サンプリング周波数 : 22.05kHz/44.1kHz

20章5 ユーザー辞書ツール CSV ファイル形式

	名称	型	規定値	説明
1	表記	全角文字列	—	15文字。空文字不可。同一表記は、先にあるものが優先。 句読点、!、?、『』は使用不可。
2	読み	発音表記全角	—	15文字。空文字不可。全角カナ。 アクセント位置に「(カンマ)」を付ける。
3	品詞	文字列	"固有名詞"	次の文字列のみ許可。"普通名詞"、"さ変名詞"、"呼称名詞"、"固有名詞"、"固有名詞姓地"、"固有名詞名"
4	連濁	全角文字列	0/false	【0：連濁しない／0以外：連濁する】 この単語が前の単語とアクセント結合したときに濁音化するかどうか。
5	複合禁止前	BOOL	0/false	前の単語との結合を【0：禁止しない／0以外：禁止する】。この単語が前の単語とアクセント結合しないかどうか。
6	複合禁止後	BOOL	0/false	後ろの単語との結合を【0：禁止しない／0以外：禁止する】。この単語が後の単語とアクセント結合しないかどうか。
7	かな書き優先	BOOL	0/false	かな書き優先【0：しない／0以外：する】「蠅螂」のように仮名表記されやすい単語で1とする。
8	チョウソン読み	BOOL	0/false	単語に「町」「村」が結合した場合に、「～ぢり」「～り」と【0：読まない／0以外：読む】。 通常は「～マチ」「～ムラ」
9	作成日時	BOOL	現在日時	ISO8601 日時文字列。 "2000-01-01T00:00:00Z", "2000-01-01T00:00:00+09:00" の形式。
10	修正日時	日付	現在日時	ISO8601 日時文字列。
11	修正者	日付	""	空文字許可。制限なし
12	コメント	文字列	""	空文字許可。制限なし
13	適用モード	文字列	0/1	この読みを必ず使用する。 【0：オフ／1：オン】

<注意>

- 各レコードは改行コード（CRLF）を区切りとし、行として配置します。
- 各レコードは、カンマで区切られた一つ以上のフィールドで構成します。同じファイル内の中では、それぞれの行が持つフィールド数を同じにします。

空白はフィールドの一部として扱われます。各レコードの最終フィールドの更に後にカンマをつけてはなりません。

- ダブルクォーテーションでそれぞれのフィールドを括弧でも括弧なくともよいです。但し、フィールドがダブルクォーテーションで括弧られていない場合はその値にダブルクォーテーションを含んではなりません。
- ダブルクォーテーション、カンマを含むフィールドはダブルクォーテーションで括弧ります。C R L Fは含めることはできません。
- フィールド内にダブルクォーテーションを含む場合は、ダブルクォーテーションでエスケープします。
- ナンバ「#」で始まるレコードはコメント行として無視されます。
- ファイルの文字コードは Shift_JIS とします。

20章6 レイアウトツールで取り込み可能なフォーマット一覧

レイアウトツールで取り込めるフォーマット一覧

種類	拡張子名	内容
PDF	pdf	PDF1.3~1.7仕様準拠の Adobe Acrobat で作成された PDF その他の製品で作成された、「ISO 32000-1:2008」に準拠した PDF (表示できない項目がある場合があります。) ファイルサイズは 2GB まで、ページ数制限はありません。 オーナーパスワードで保護された PDF は取り込めません。別のアプリケーションでオーナーパスワードを解除してから取り込んでください。 ユーザーパスワードで保護された PDF はレイアウトツール上でパスワードの解除をすることで取り込むことができます。
画像ファイル	jpg, jpeg, bmp, png	—

レイアウトツールで管理できるフォーマット一覧

種類	拡張子名	内容
Word	doc, docx	作業領域にコピーされ、コピーされたファイルをパソコンに関連付けされたアプリケーションで開きます。
Excel	xls,xlsx	
一太郎	jtd	

20章7 サードパーティー製ソフトウェアについて

ANSI/NISO Z39.86 デジタルトーキングブックに準拠したバリデータ ZedVal を使用しています。ZedVal は the GNU Lesser General Public License("LGPL") の元で配布されています。

Awesomium (c) 2013 Awesomium Technologies LLC. All rights reserved. Awesomium is a trademark of Awesomium Technologies LLC.

Copyright (c) 2013. The Chromium Authors. All rights reserved.

Copyright (c) 1995-2009 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified.

Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson.

Copyright (c) 2007 Adobe Systems Incorporated

Antenna House Viewer SDK Copyright (c) 2005- Antenna House, Inc.

Copyright (c) 2005-2007 empira Software GmbH, Cologne (Germany)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



This software includes the work that is distributed in the Apache License 2.0.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of

this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

21章 お問い合わせ先

本ソフトウェアに関しては、ホームページの専用フォームよりお問い合わせください。
なお、パソコンの操作や環境に関するお問い合わせはご遠慮ください。

URL : www.plextalk.com

〒386-0498

長野県上田市上丸子 1078

シナノケンシ株式会社

2022/02

© 2015 SHINANO KENSHI CO., Ltd.